

第69図 北区 (1999・2001年度) ST5001・ST5002・ST5003・ST5004・ST5005・ST5006平・断面図

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。3層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5007) (第70図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド T-3 に位置する。

規模と形状

検出長2.10m、最大幅0.70m、最大深度0.35m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5008) (第70図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド T-3 に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅1.15m、最大深度0.65m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～5層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5009) (第70図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド T-2 に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.80m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5010) (第70図)

位置

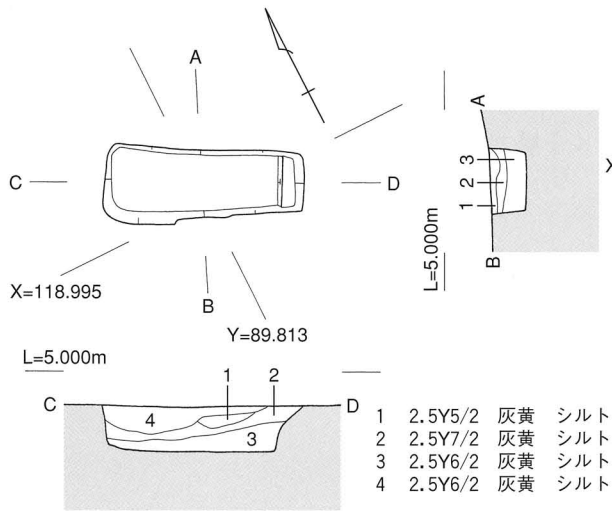
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-3 に位置する。

規模と形状

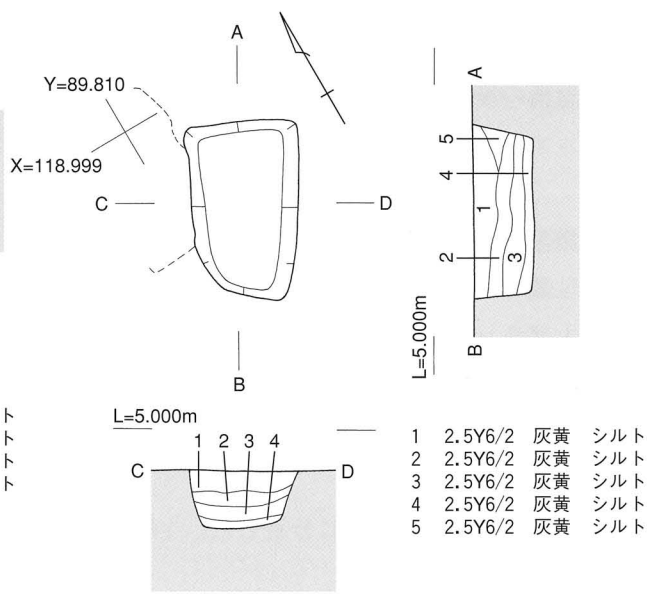
検出長1.20m、最大幅0.55m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

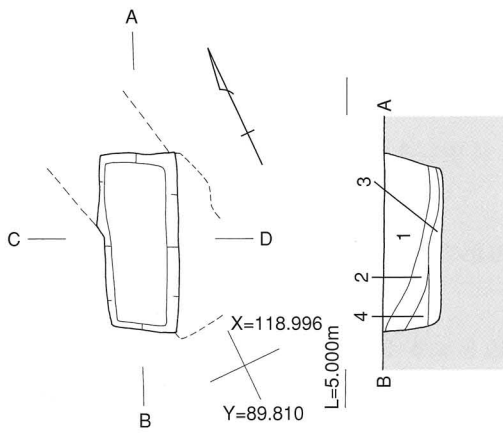
遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰黄色を呈するシルト層である。



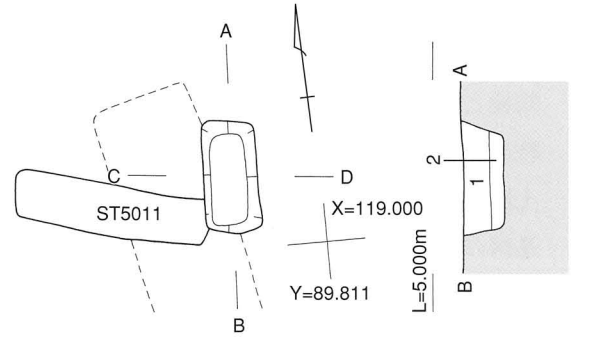
ST5007



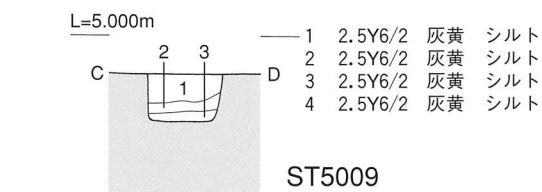
ST5008



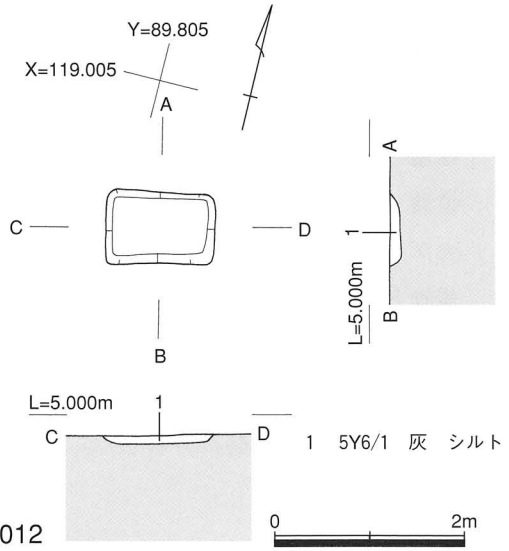
ST5009



ST5010



ST5011



ST5012

第70図 北区 (1999・2001年度) ST5007・ST5008・ST5009・ST5010・ST5011・ST5012平・断面図

土壌墓 (ST5011) (第70図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド A-2 に位置する。

規模と形状

検出長2.05m、最大幅0.55m、最大深度0.50m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5012) (第70図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド A-2 に位置する。

規模と形状

検出長1.15m、最大幅0.75m、最大深度0.10m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土壌墓 (ST5013) (第71図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド A-1 に位置する。

規模と形状

検出長2.30m、最大幅0.80m、最大深度0.75m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。4層、5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5014) (第71図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド A-1 に位置する。

規模と形状

検出長2.35m、最大幅0.75m、最大深度0.65m の長方形である。

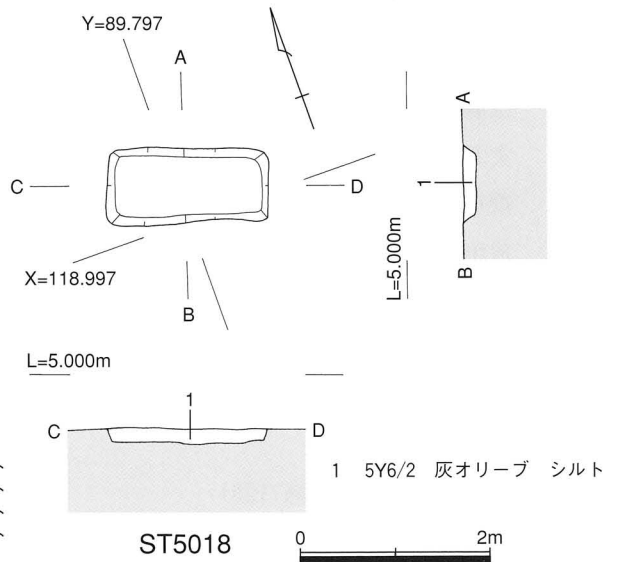
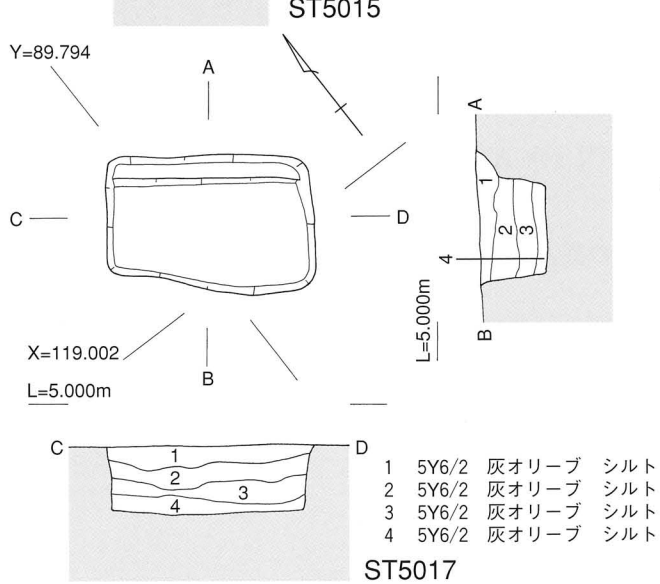
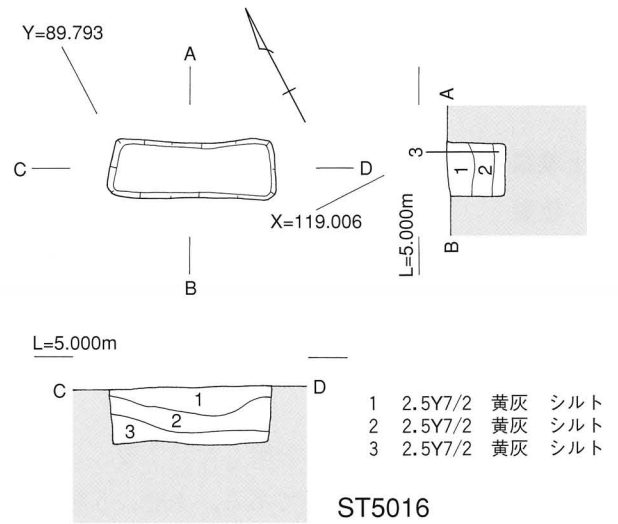
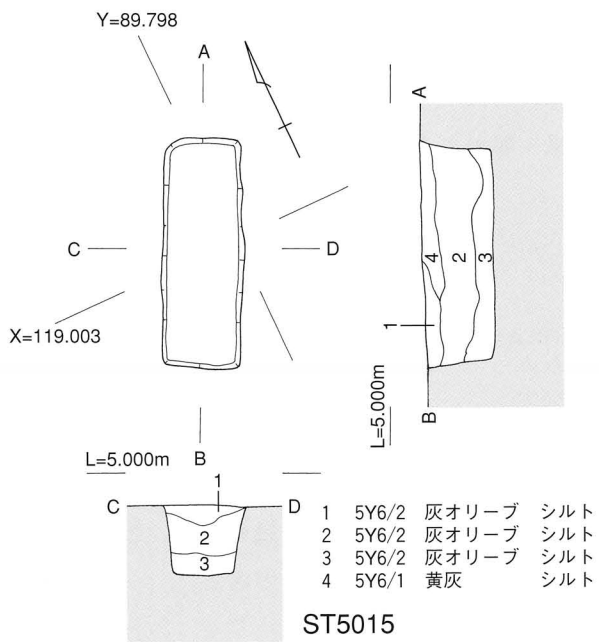
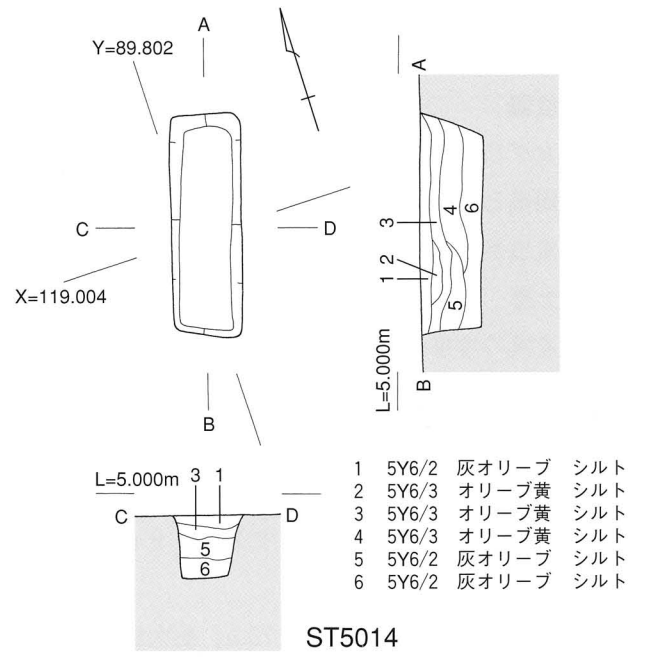
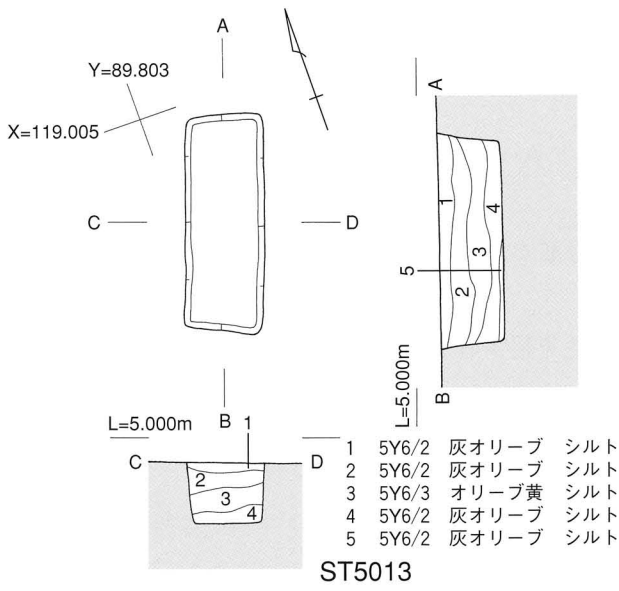
土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層～4層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。5層、6層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5015) (第71図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド A-20 に位置する。



第71図 北区 (1999・2001年度) ST5013・ST5014・ST5015・ST5016・ST5017・ST5018平・断面図

規模と形状

検出長2.45m、最大幅0.85m、最大深度0.75m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄灰色を呈するシルト層である。

土壙墓 (ST5016) (第71図)

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-19に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.60m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壙墓 (ST5017) (第71図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-19に位置する。

規模と形状

検出長2.20m、最大幅1.40m、最大深度0.70m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壙墓 (ST5018) (第71図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド T-20に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.80m、最大深度0.15m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土壙墓 (ST5019) (第72図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド T-19に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.65m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5020) (第72図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド S-20に位置する。

規模と形状

検出長2.30m、最大幅1.00m、最大深度0.70mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。4層は灰色を呈するシルト層である。5層、6層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5021) (第72図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド S-20に位置する。

規模と形状

検出長1.90m、最大幅0.85m、最大深度0.45mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。4層は、にぶい黄色を呈するシルト層である。5層は灰黄色を呈するシルト層である。

出土遺物・時期

94は須恵器の長頸壺である。外面上部は回転ナデ、下部は回転ヘラケズリが施されており、一部に自然釉が見られる。時期は古墳時代後期である。

土壌墓 (ST5022) (第72図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅳ、小グリッド R-1に位置する。

規模と形状

検出長2.25m、最大幅0.90m、最大深度0.50mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～5層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5023) (第72図)

位置

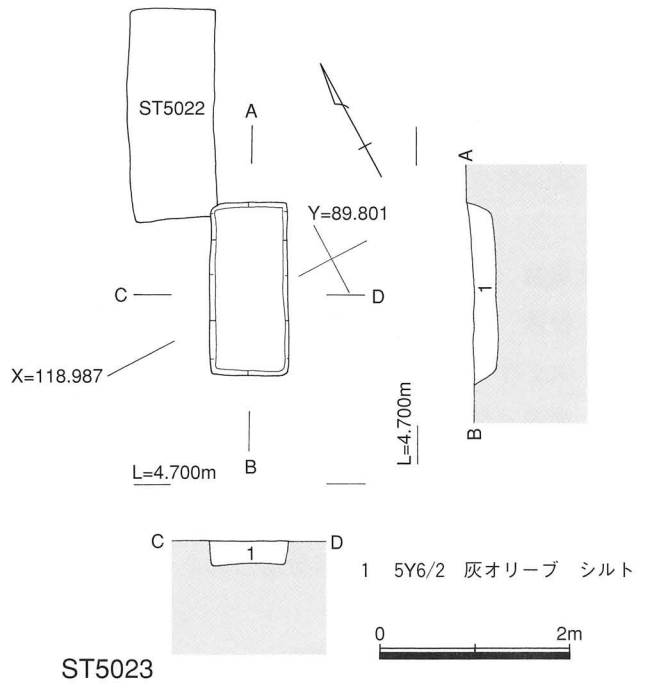
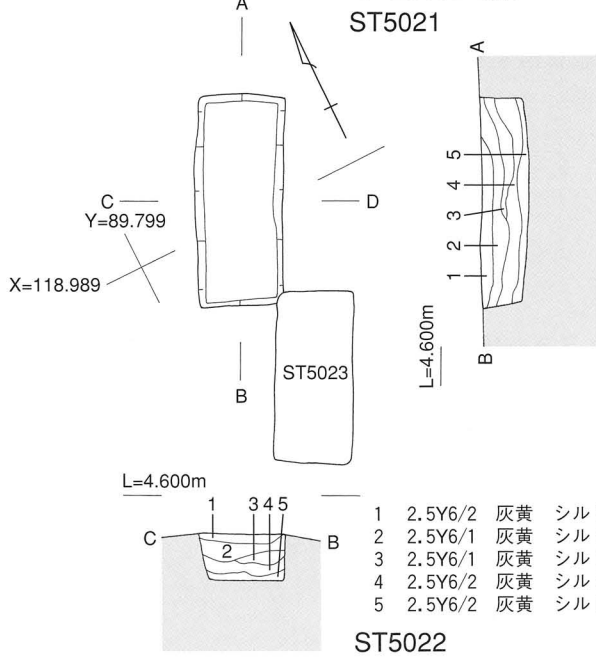
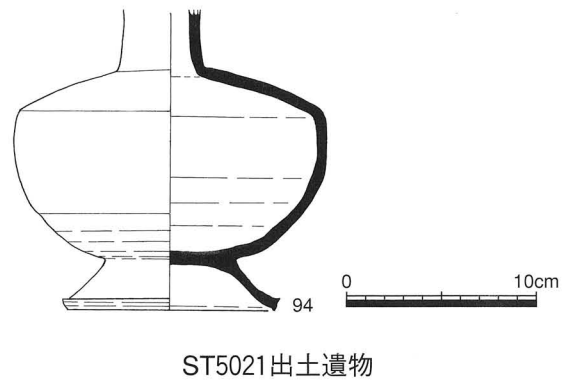
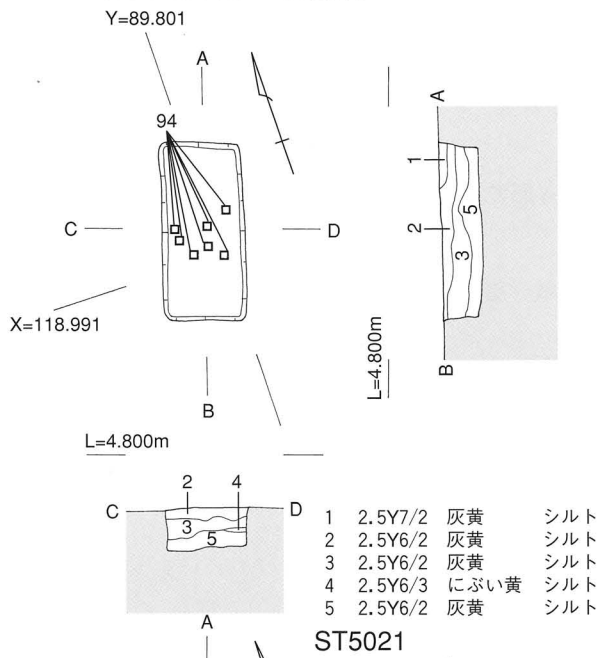
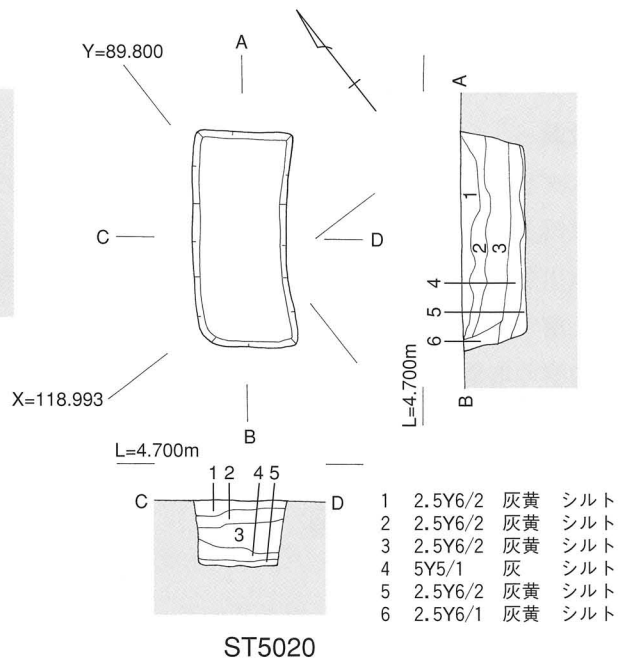
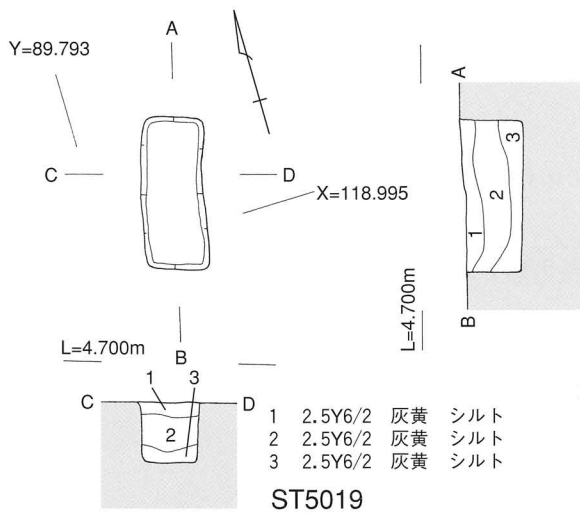
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅳ、小グリッド R-1に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.85m、最大深度0.25mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。



第72図 北区(1999・2001年度) ST5019・ST5020・ST5021・ST5022・ST5023
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5021出土遺物

土壌墓 (ST5024) (第73図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド R-1 に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.65m、最大深度0.35m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。3層、4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5025) (第73図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド S-2 に位置する。

規模と形状

検出長2.40m、最大幅0.90m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土壌墓 (ST5026) (第73図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド A-17 に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.75m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰黄色を呈するシルト層である。

出土遺物

95は弥生土器の甕である。

土壌墓 (ST5027) (第73図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド A-16 に位置する。

規模と形状

検出長1.25m、最大幅0.75m、最大深度0.45m の長方形である。

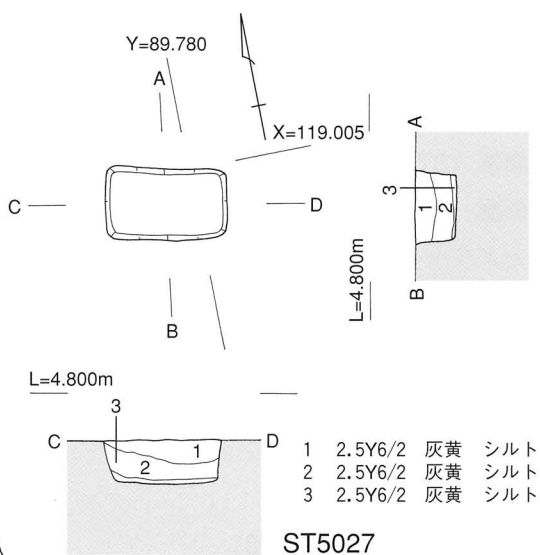
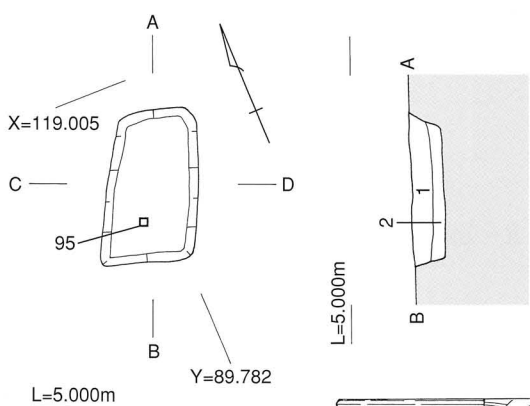
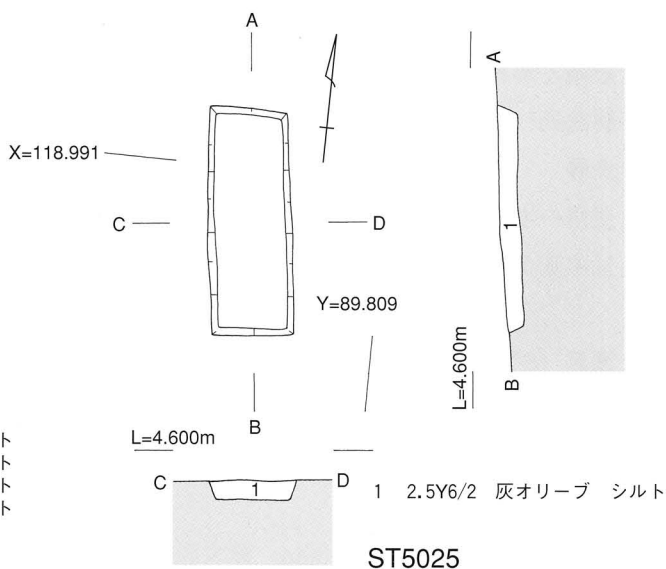
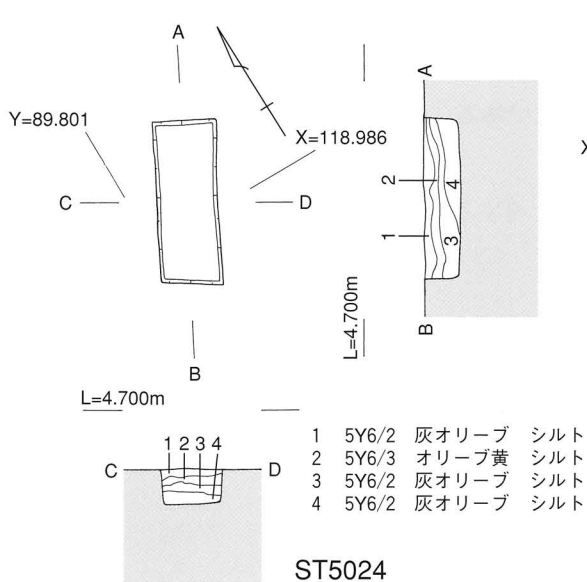
土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。

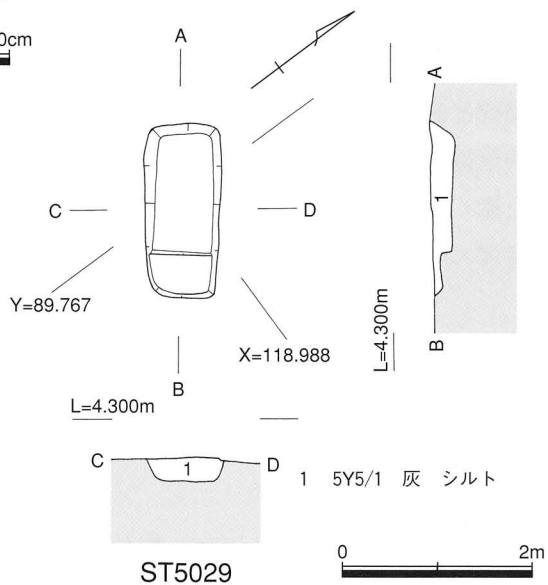
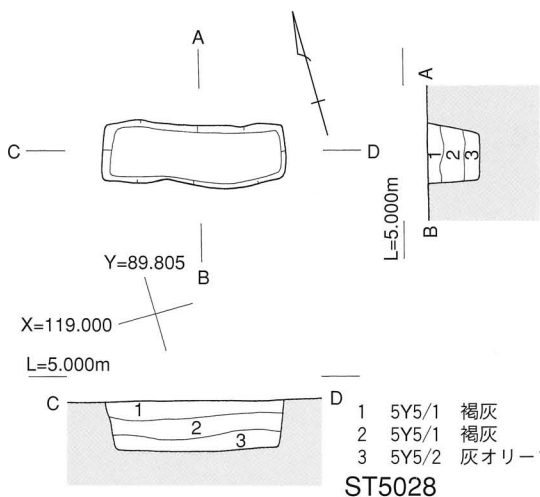
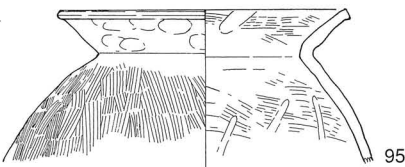
土壌墓 (ST5028) (第73図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-2 に位置する。



- | | | | |
|---|---------|----|-----|
| 1 | 2.5Y6/2 | 灰黄 | シルト |
| 2 | 2.5Y6/2 | 灰黄 | シルト |



第73図 北区(1999・2001年度) ST5024・ST5025・ST5026・ST5027・ST5028・ST5029
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5026出土遺物

規模と形状

検出長1.90m、最大幅0.65m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は褐灰色を呈するシルト層である。3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5029) (第73図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -Ⅲ、小グリッド R-14に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.80m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壌墓 (ST5030) (第74図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -Ⅲ、小グリッド R-14に位置する。

規模と形状

検出長2.05m、最大幅0.85m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は黄灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壌墓 (ST5031) (第74図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -Ⅲ、小グリッド S-13に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.80m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壌墓 (ST5032) (第74図)

位置

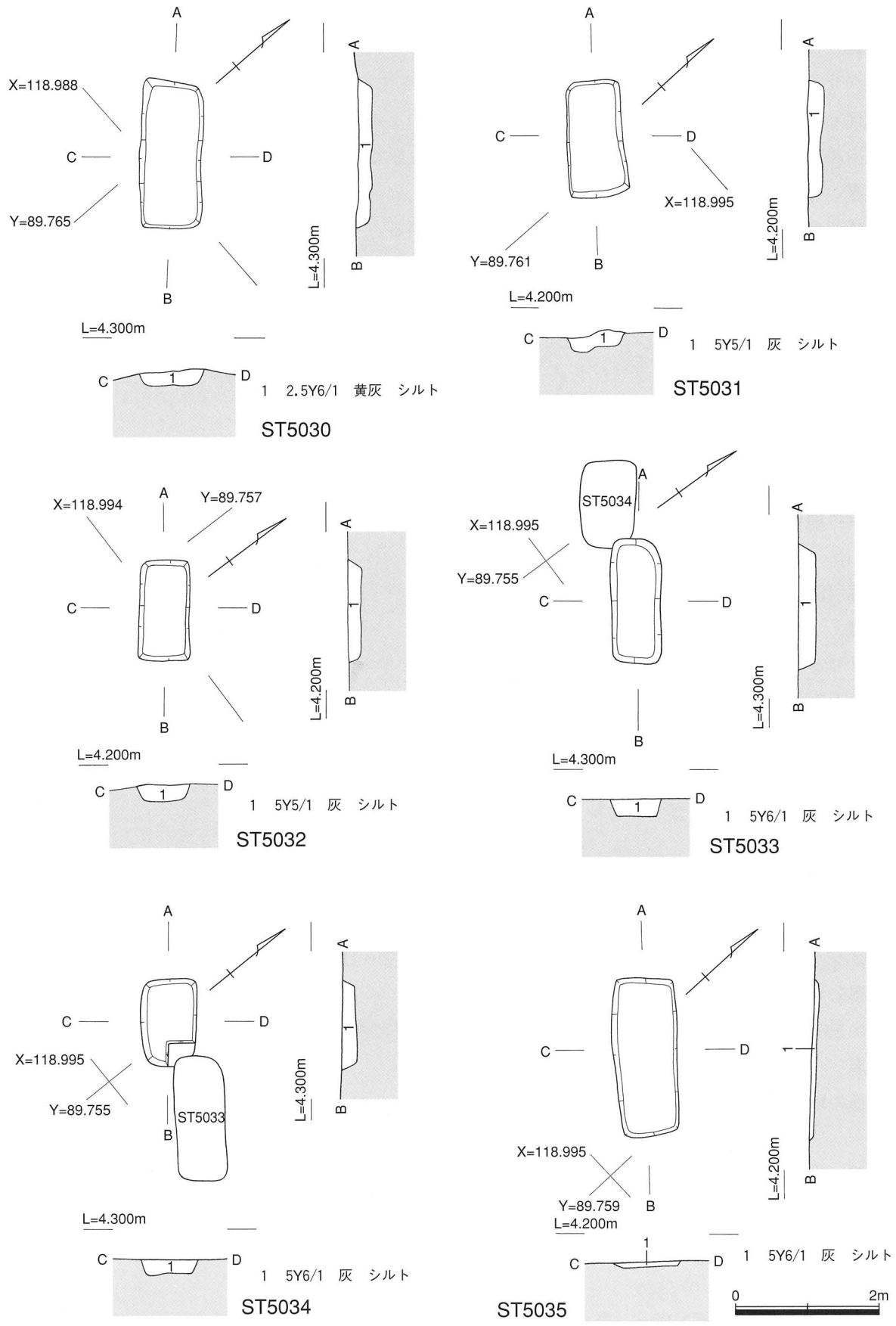
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -Ⅲ、小グリッド S-12に位置する。

規模と形状

検出長1.40m、最大幅0.70m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。



第74図 北区 (1999・2001年度) ST5030・ST5031・ST5032・ST5033・ST5034・ST5035平・断面図

土壙墓 (ST5033) (第74図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド T-12に位置する。

規模と形状

検出長1.75m、最大幅0.70m、最大深度0.25m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壙墓 (ST5034) (第74図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド T-11に位置する。

規模と形状

検出長1.25m、最大幅0.80m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壙墓 (ST5035) (第74図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド T-11に位置する。

規模と形状

検出長2.20m、最大幅0.90m、最大深度0.10m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壙墓 (ST5036) (第75図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド T-11に位置する。

規模と形状

検出長0.55m、最大幅0.20m、最大深度0.10m の半円形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

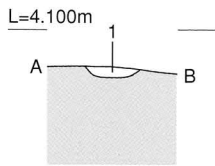
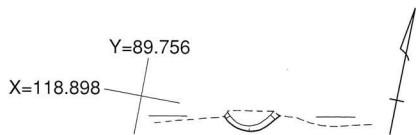
土壙墓 (ST5037) (第75図)

位置

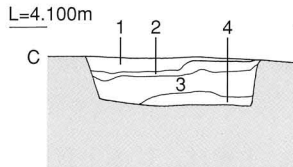
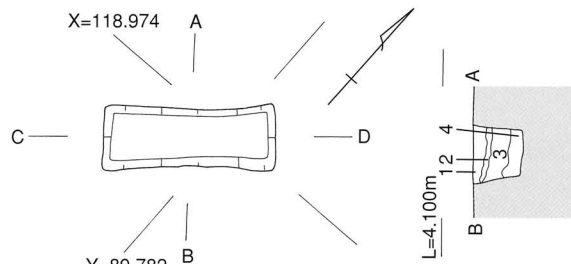
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド P-16に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅1.00m、最大深度0.25m の長方形である。

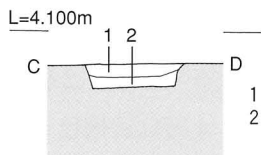
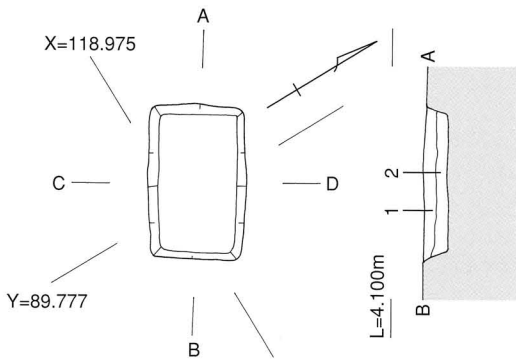


1 5Y6/1 灰シルト
ST5036



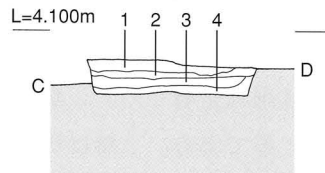
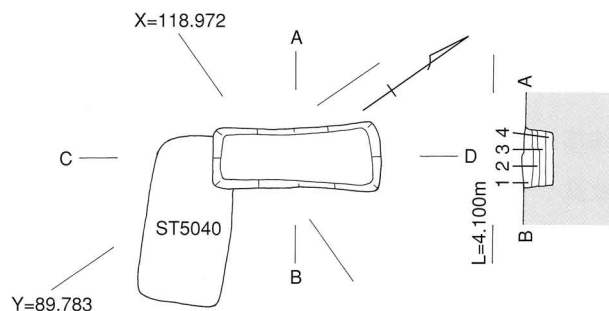
1	10YR5/3	にぶい黄褐	粘性砂質土
2	2.5Y5/6	黄褐	粘性砂質土
3	2.5Y5/2	暗灰黄	粘性砂質土
4	10YR5/2	灰黄褐	粘性砂質土

ST5038



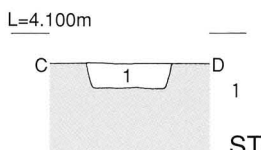
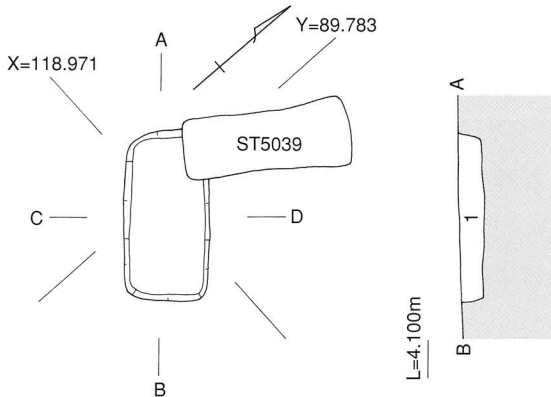
1	2.5Y5/3	黄褐	粘性砂質土
2	2.5Y5/4	黄褐	粘性砂質土

ST5037



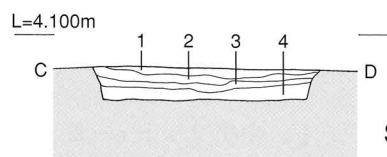
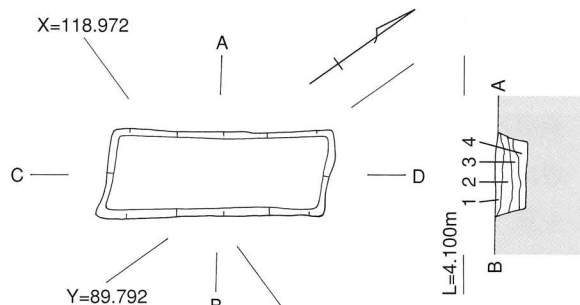
1	10YR5/3	にぶい黄褐	粘性砂質土
2	2.5Y5/6	黄褐	粘性砂質土
3	10YR5/2	灰黄褐	粘性砂質土
4	2.5Y5/6	黄褐	粘性砂質土

ST5039



1	10YR5/4	にぶい黄褐	粘性砂質土
---	---------	-------	-------

ST5040



1	10YR5/2	灰黄褐	粘性砂質土
2	10YR5/2	灰黄褐	粘性砂質土
3	2.5Y5/4	黄褐	粘性砂質土
4	2.5Y5/4	黄褐	粘性砂質土

ST5041



第75図 北区 (1999・2001年度) ST5036・ST5037・ST5038・ST5039・ST5040・ST5041平・断面図

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓 (ST5038) (第75図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド P-17に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.60m、最大深度0.50mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は暗灰黄色を呈する粘性砂質土層である。4層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓 (ST5039) (第75図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド O-17に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅0.60m、最大深度0.30mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓 (ST5040) (第75図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド O-17に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅0.90m、最大深度0.25mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土による単一層である。

土壙墓 (ST5041) (第75図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド O-19に位置する。

規模と形状

検出長2.35m、最大幅0.90m、最大深度0.30mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層、4層は

黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5042) (第76図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド N-18に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.70m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。5層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5043) (第76図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド N-17に位置する。

規模と形状

検出長2.05m、最大幅0.90m、最大深度0.30m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5044) (第76図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド N-1に位置する。

規模と形状

検出長2.10m、最大幅0.80m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層、3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5045) (第76図)

位置

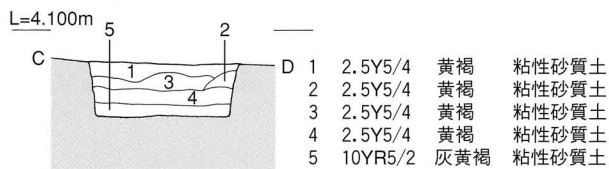
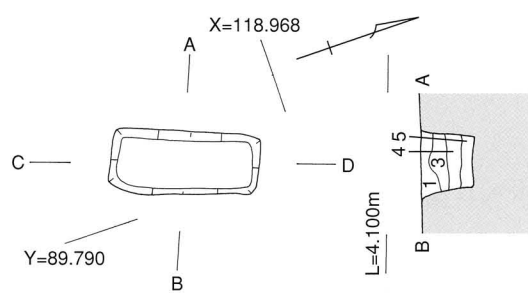
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド N-1に位置する。

規模と形状

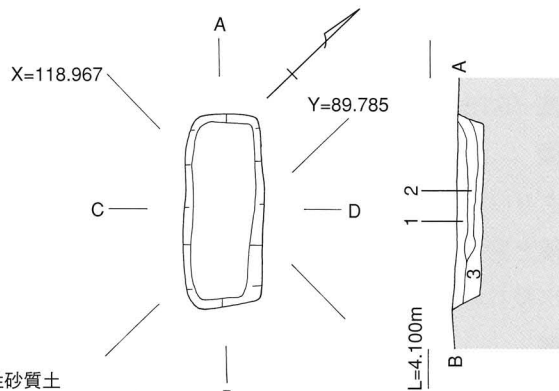
検出長0.75m、最大幅0.60m、最大深度0.30m の台形である。

土層

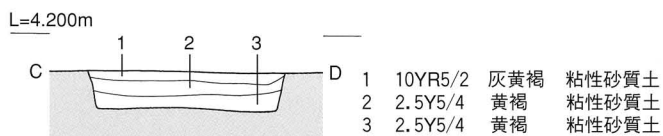
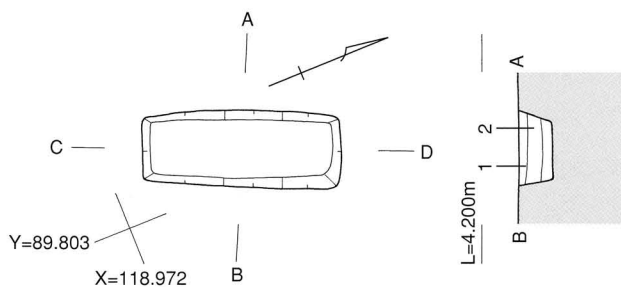
遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。



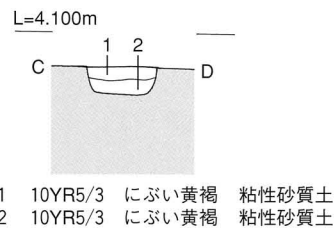
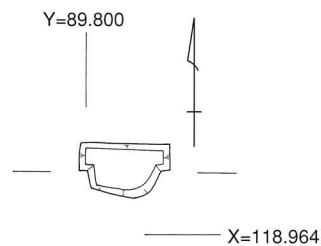
ST5042



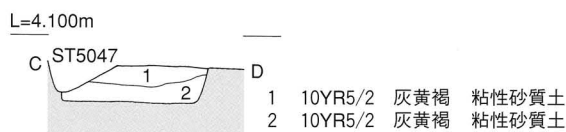
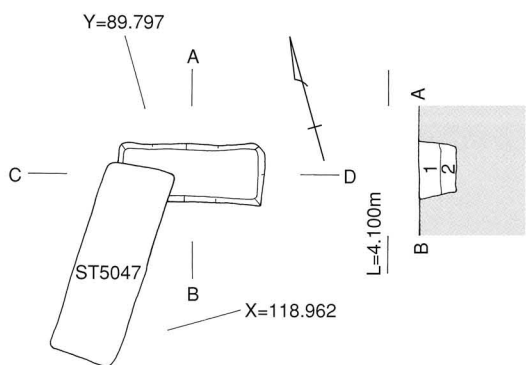
ST5043



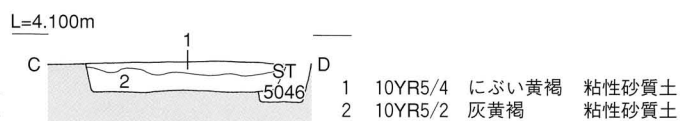
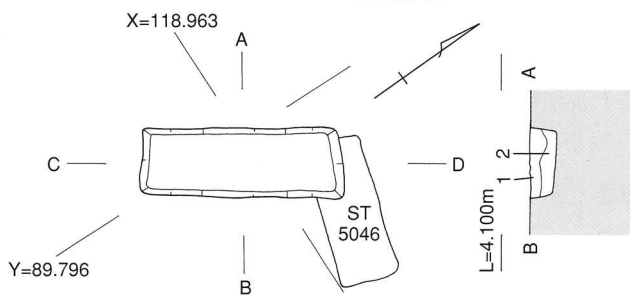
ST5044



ST5045



ST5046



ST5047



第76図 北区 (1999・2001年度) ST5042・ST5043・ST5044・ST5045・ST5046・ST5047平・断面図

土壌墓 (ST5046) (第76図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド M-19に位置する。

規模と形状

検出長1.55m、最大幅0.60m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5047) (第76図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド M-19に位置する。

規模と形状

検出長2.10m、最大幅0.75m、最大深度0.30m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5048) (第77図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド M-18に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.80m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰黄色を呈する粘性砂質土による単一層である。

土壌墓 (ST5049) (第77図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド M-19に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.70m、最大深度0.25m の長方形である。

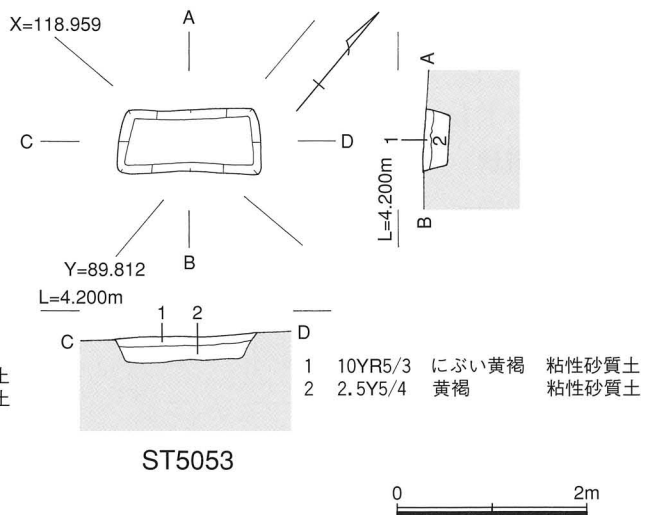
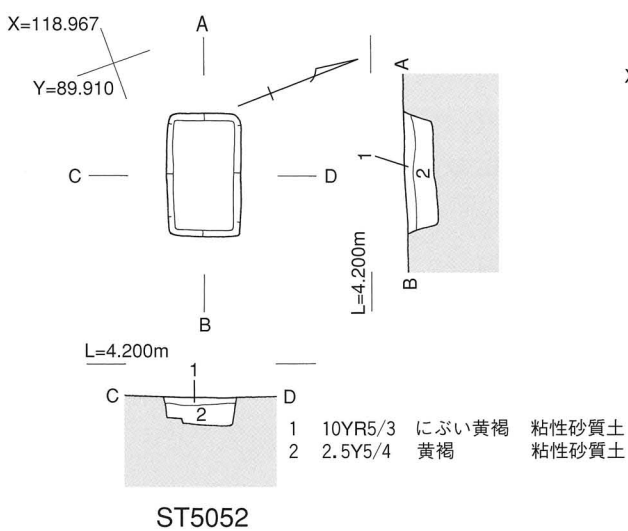
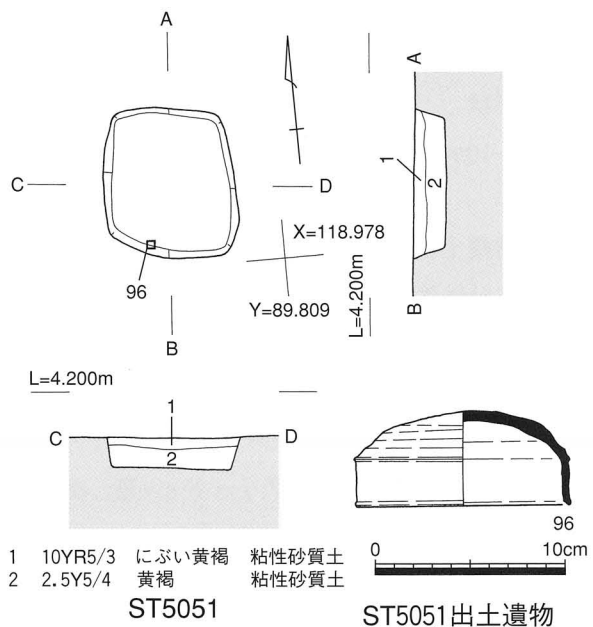
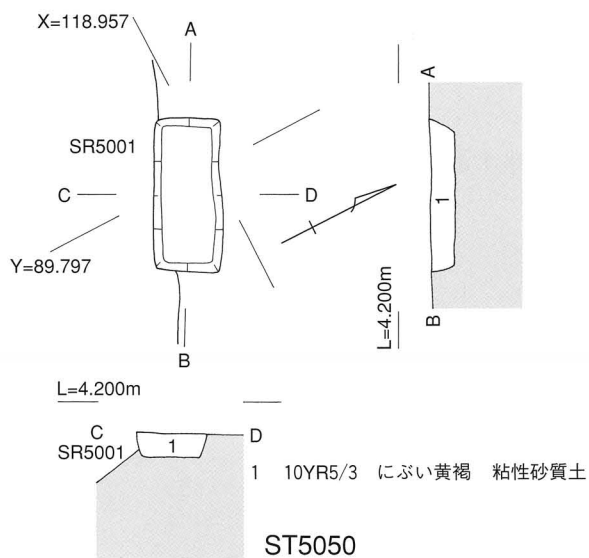
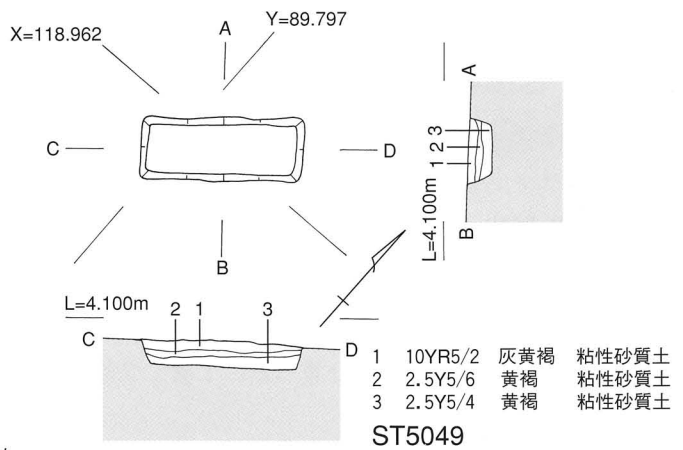
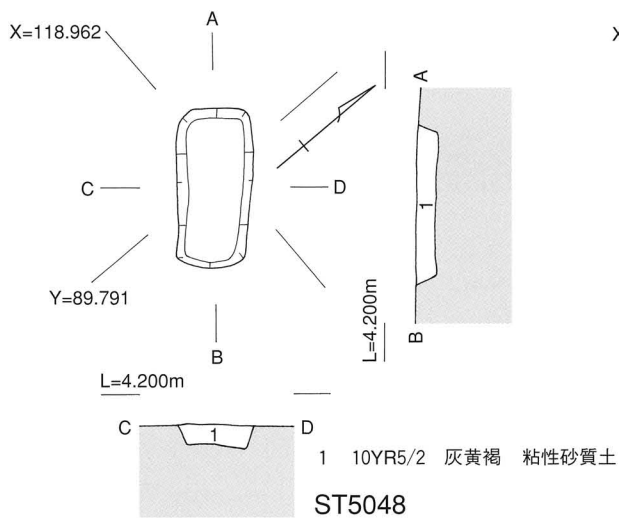
土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層、3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5050) (第77図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド L-19に位置する。



第77図 北区 (1999・2001年度) ST5048・ST5049・ST5050・ST5051・ST5052・ST5053
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5051出土遺物

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.75m、最大深度0.25m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土による単一層である。

土壌墓 (ST5051) (第77図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド M-2 に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅1.40m、最大深度0.35m の正方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

出土遺物・時期

96は須恵器の杯蓋である。時期は古墳時代後期である。

土壌墓 (ST5052) (第77図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド M-2 に位置する。

規模と形状

検出長1.30m、最大幅0.80m、最大深度0.35m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5053) (第77図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド L-3 に位置する。

規模と形状

検出長1.50m、最大幅0.65m、最大深度0.25m の長方形である。

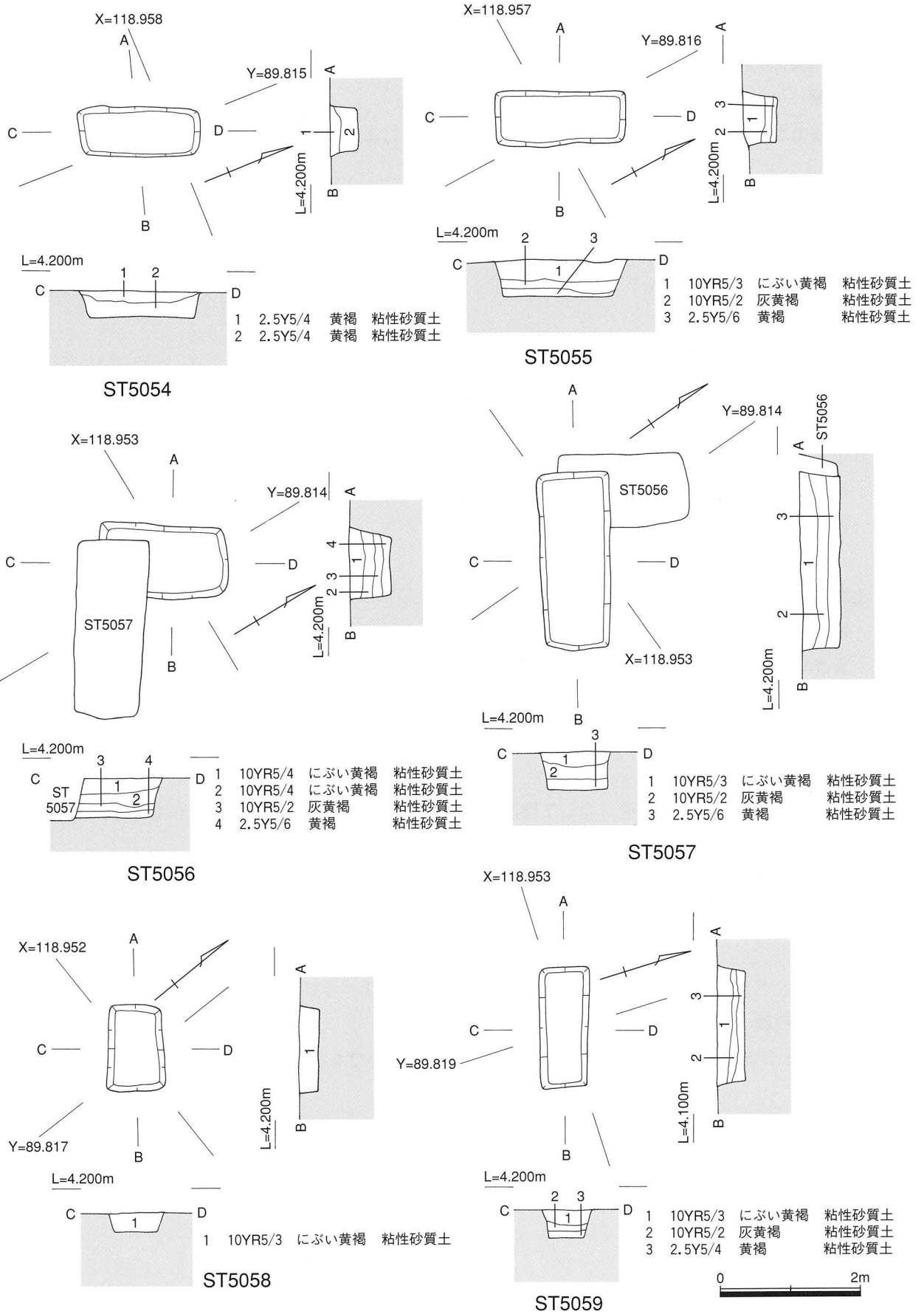
土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5054) (第78図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド L-3 に位置する。



第78図 北区 (1999・2001年度) ST5054・ST5055・ST5056・ST5057・ST5058・ST5059平・断面図

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.70m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5055) (第78図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド L-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.75m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5056) (第78図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド K-3 に位置する。

規模と形状

検出長1.05m、最大幅0.80m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5057) (第78図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド K-3 に位置する。

規模と形状

検出長2.55m、最大幅1.00m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5058) (第78図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド K-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.25m、最大幅0.80m、最大深度0.30m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土による単一層である。

土壙墓 (ST5059) (第78図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド K-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.70m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓 (ST5060) (第79図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド M-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.55m、最大幅0.75m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層～4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓 (ST5061) (第79図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド L-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.80m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓 (ST5062) (第79図)

位置

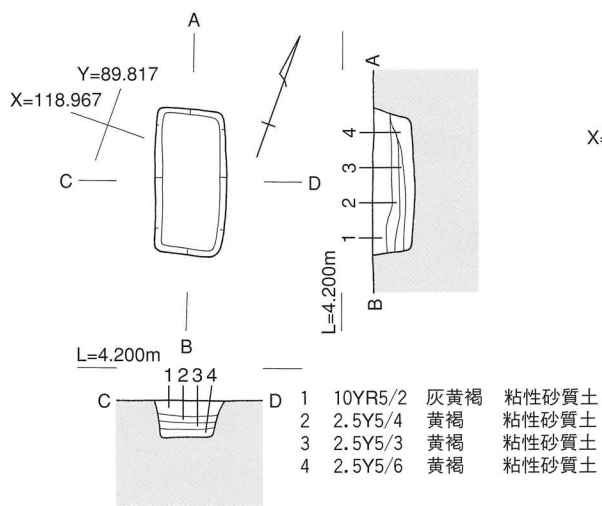
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド L-4 に位置する。

規模と形状

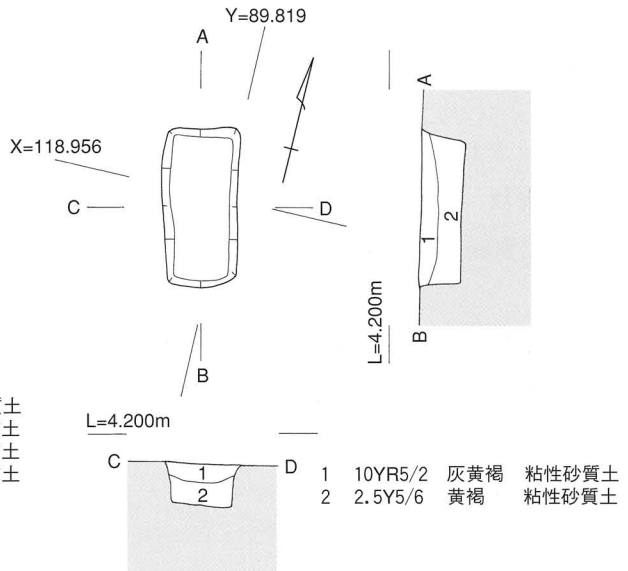
検出長1.55m、最大幅0.80m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

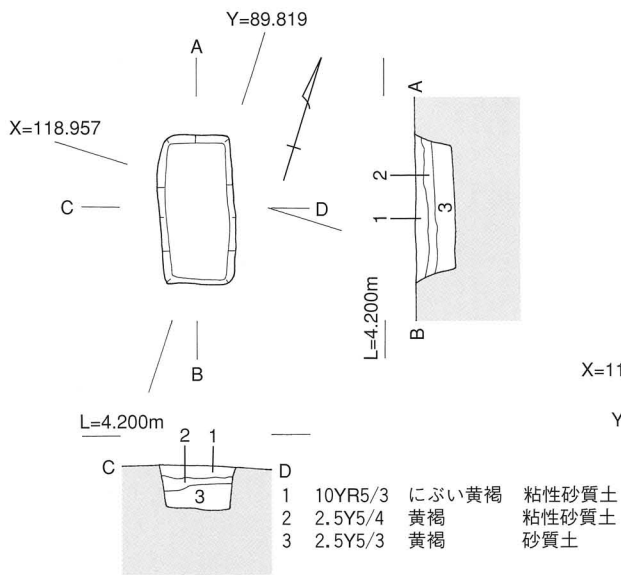
遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する砂質土層である。



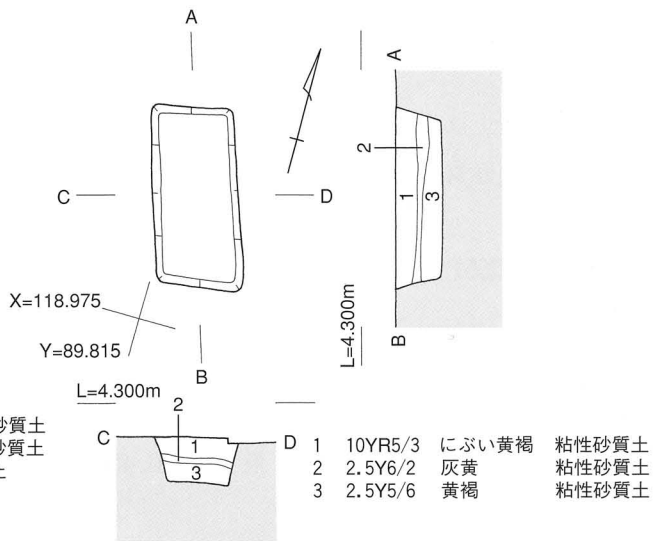
ST5060



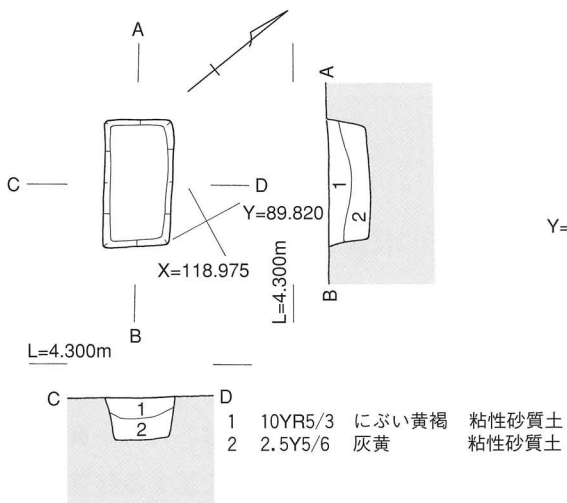
ST5061



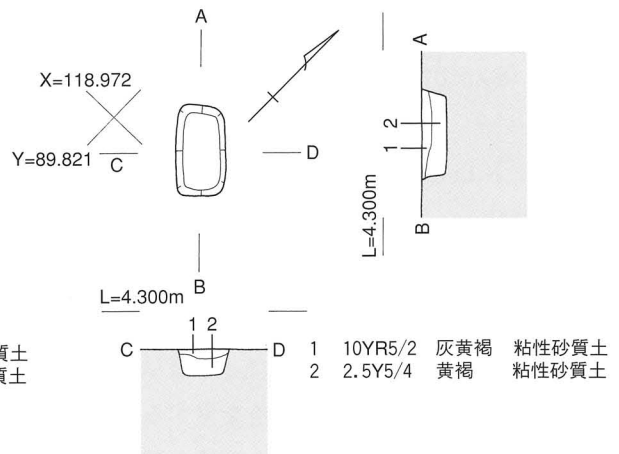
ST5062



ST5063



ST5064



ST5065



第79図 北区 (1999・2001年度) ST5060・ST5061・ST5062・ST5063・ST5064・ST5065平・断面図

土壌墓 (ST5063) (第79図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド P-3 に位置する。

規模と形状

検出長1.90m、最大幅0.90m、最大深度0.25m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5064) (第79図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド O-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.35m、最大幅0.70m、最大深度0.50m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄色を呈する粘性砂質土層である。

土壌墓 (ST5065) (第79図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド O-5 に位置する。

規模と形状

検出長0.95m、最大幅0.55m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は灰黄色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

不明遺構 (SX5001) (第80図)

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α-III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長4.00m、最大幅3.4m、最大深度0.64m の正方形である。東側1/3は階段状に浅くなっている。

土層

遺構の堆積土は10層に分層した。1層は黄褐色を呈する砂質土層である。2層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。3層は黄褐色を呈する砂質土層である。4層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。5層、6層は黄褐色を呈する砂質土層である。7層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。8層は黄褐色を呈する砂質土層である。9層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。10層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。

出土遺物

97は竈の支脚である。外面にユビオサエ、ナデが施されている。98は土師器の甕である。99は須恵器の杯蓋である。上部外面にヘラ記号がある。

時期

古墳時代後期である。

不明遺構内柱穴 (SX5001EP01) (第80図)

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α -III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長0.42m、最大幅0.38m、最大深度0.04mの円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

不明遺構内柱穴 (SX5001EP02) (第80図)

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α -III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長0.38m、最大幅0.34m、最大深度0.12mの円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

不明遺構内柱穴 (SX5001EP03) (第80図)

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α -III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長0.50m、最大幅0.46m、最大深度0.08mの円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

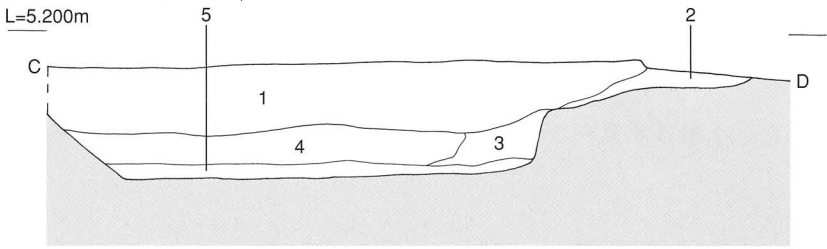
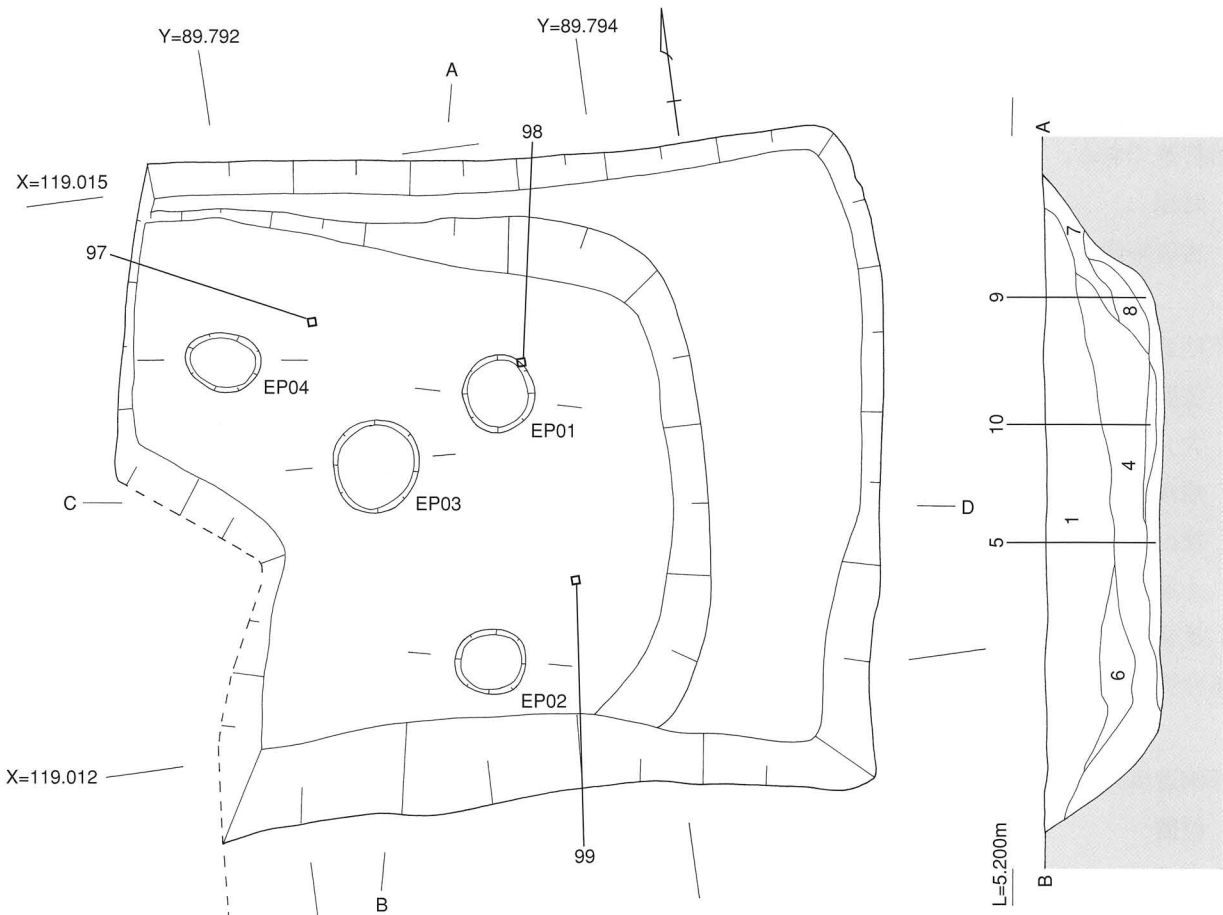
不明遺構内柱穴 (SX5001EP04) (第80図)

位置

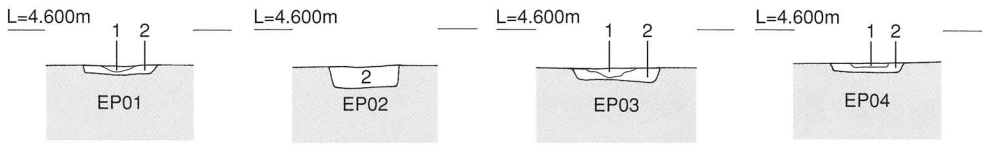
大グリッド Loc.G-1、中グリッド α -III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

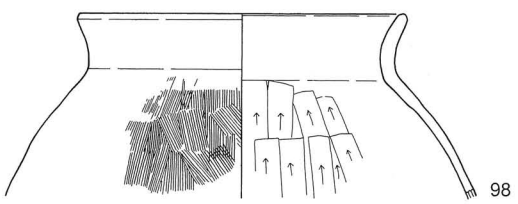
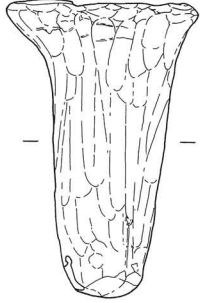
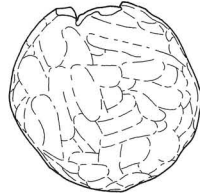
検出長0.40m、最大幅0.30m、最大深度0.04mの円形である。



- | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-------|-----|---|---------|-------|-----|----|---------|-------|-----|
| 1 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 砂質土 | 5 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 砂質土 | 8 | 2.5Y5/6 | 黄褐 | 砂質土 |
| 2 | 2.5Y6/4 | にぶい黄 | 砂質土 | 6 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 砂質土 | 9 | 2.5Y4/4 | オリーブ褐 | 砂質土 |
| 3 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 砂質土 | 7 | 2.5Y4/6 | オリーブ褐 | 砂質土 | 10 | 2.5Y6/4 | にぶい黄 | 砂質土 |
| 4 | 2.5Y4/4 | オリーブ褐 | 砂質土 | | | | | | | | |



- | | | | |
|---|---------|-------|-----|
| 1 | 2.5Y4/4 | オリーブ褐 | 砂質土 |
| 2 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 砂質土 |



第80図 北区 (1999・2001年度) SX5001平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

不明遺構 (SX5002) (第81図)

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α -IV、小グリッド E、F-4 に位置する。

規模と形状

検出長5.20m、最大幅1.00m、最大深度0.38m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈する砂質土層である。2層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

100、101は須恵器の杯である。102は土師器の甕である。時期は古墳時代後期である。

不明遺構 (SX5003) (第82、83図)

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α -III、小グリッド D-20に位置する。

規模と形状

検出長3.70m、最大幅1.80m、最大深度0.25m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

土器は15点を図化した。103は須恵器の杯蓋である。104～109は須恵器の杯身である。110～116は土師器の甕である。117は土師器の甗である。外面は丁寧にハケ目を入れ、内面はヘラケズリが施されている。時期は古墳時代後期である。

第5包含層出土遺物 (第84図)

土器は9点を図化した。118は須恵器の杯蓋である。119は須恵器の杯身である。120は須恵器の甕である。121は須恵器の横瓶である。外面はタタキのちカキメが施され、内面には多数の当て具痕が見られる。122は土師器の杯である。123は土師器の壺である。124は二重口縁部の壺である。125は平瓦である。126は土師器の甕である。

時期

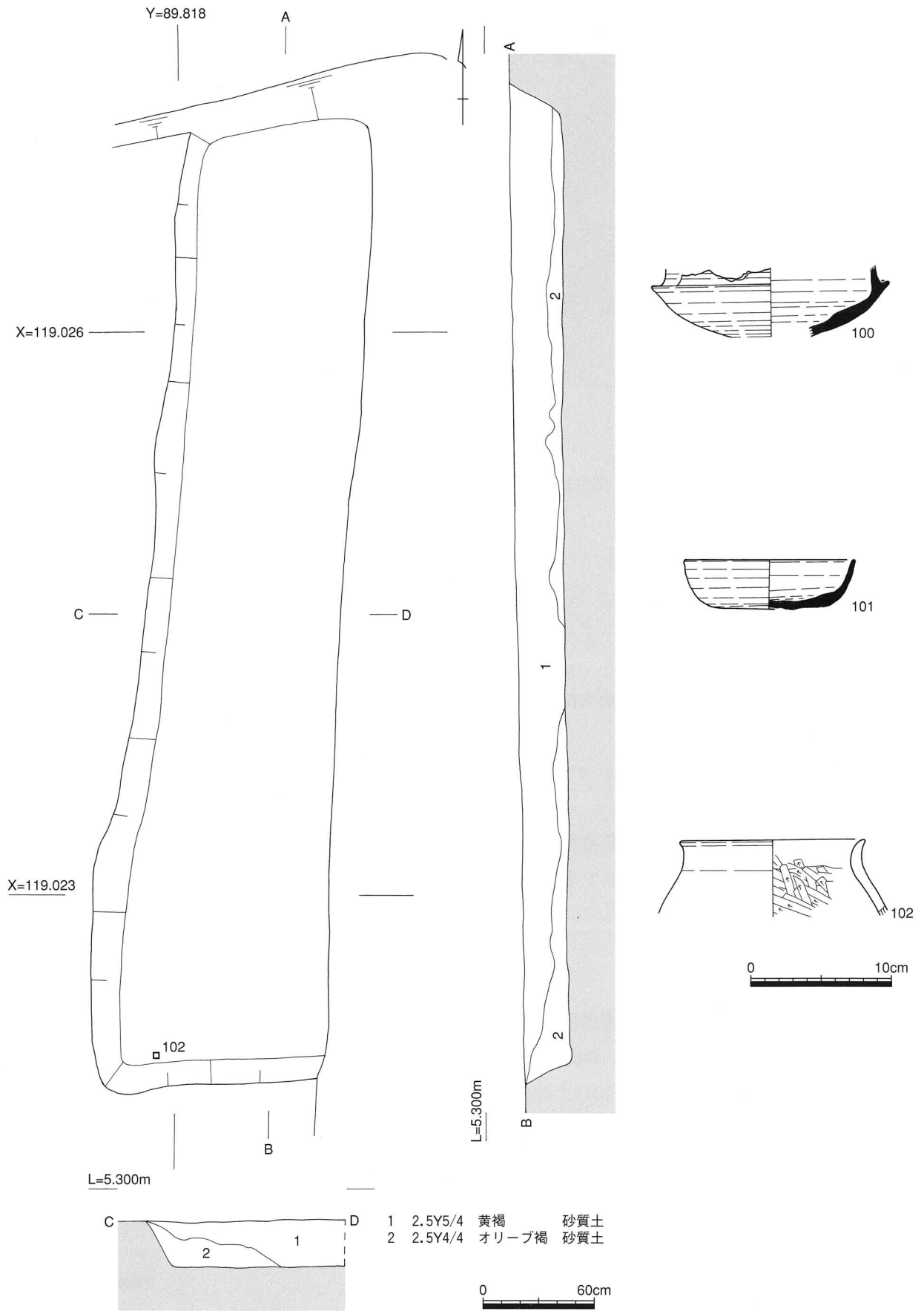
古墳時代後期～奈良時代である。



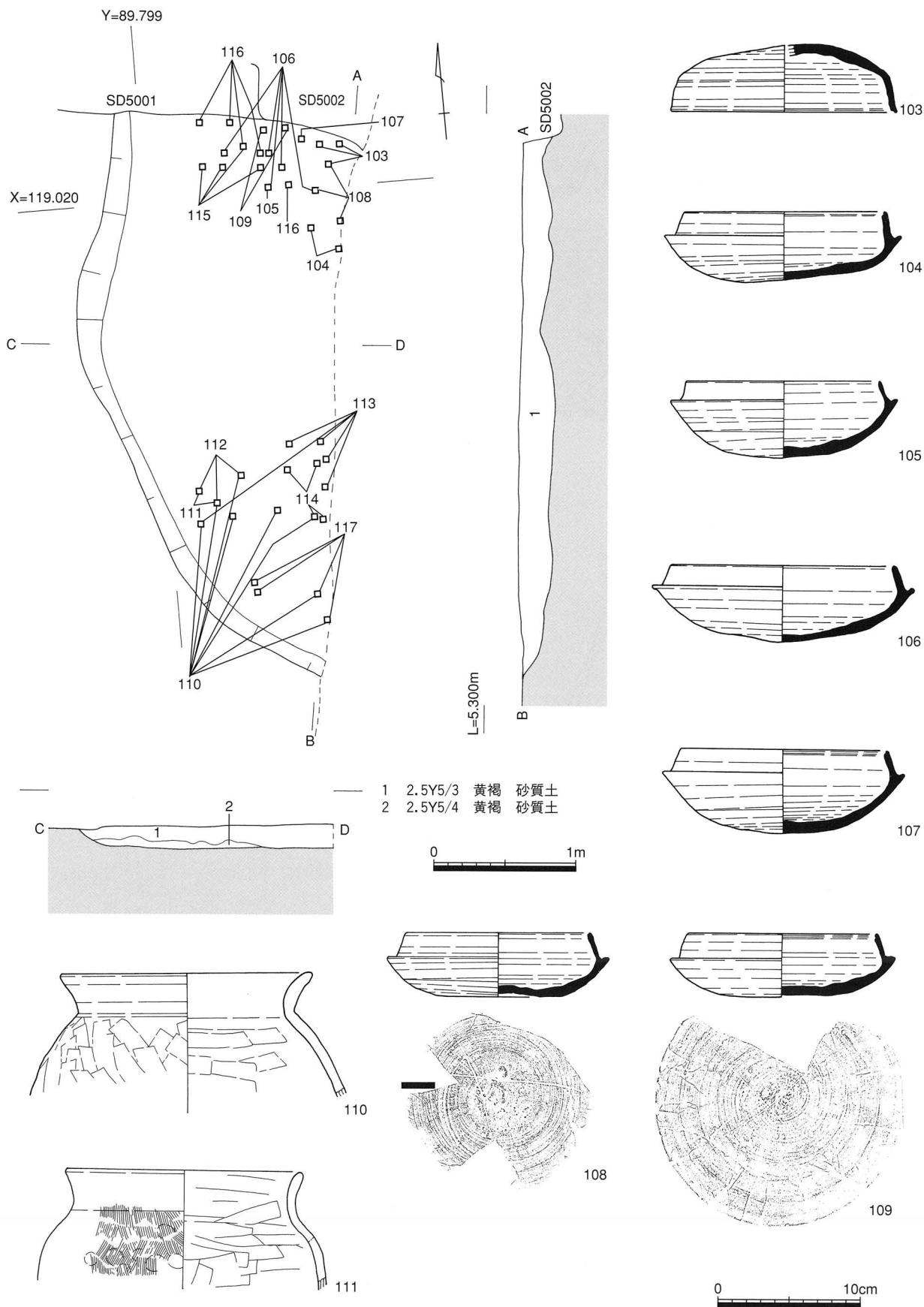
側溝出土遺物 (第85図)

127は須恵器の杯身である。

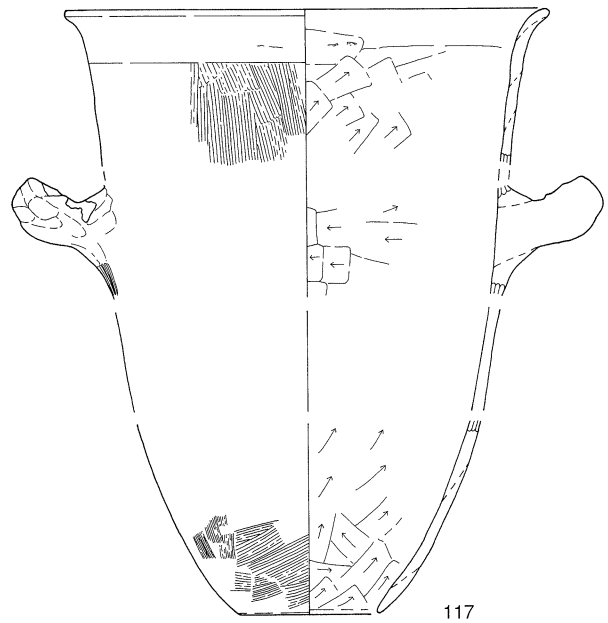
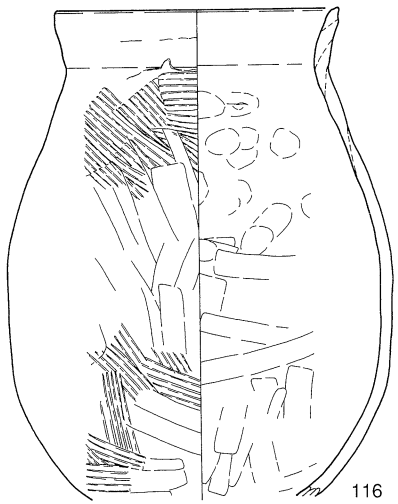
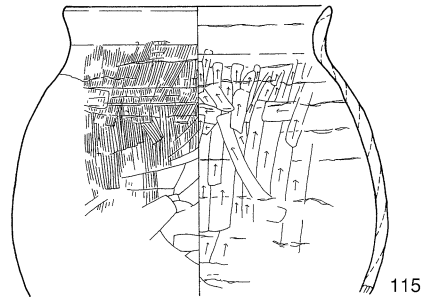
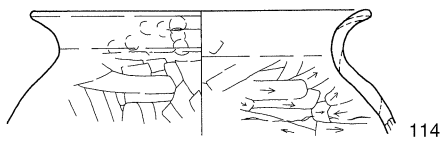
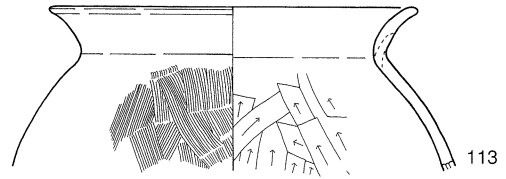
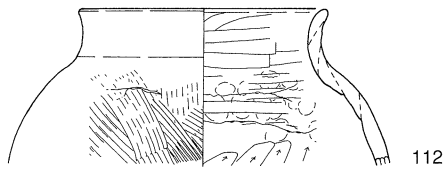
第85図 北区 (1999・2001年度)
側溝出土遺物



第81図 北区（1999・2001年度）SX5002平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物

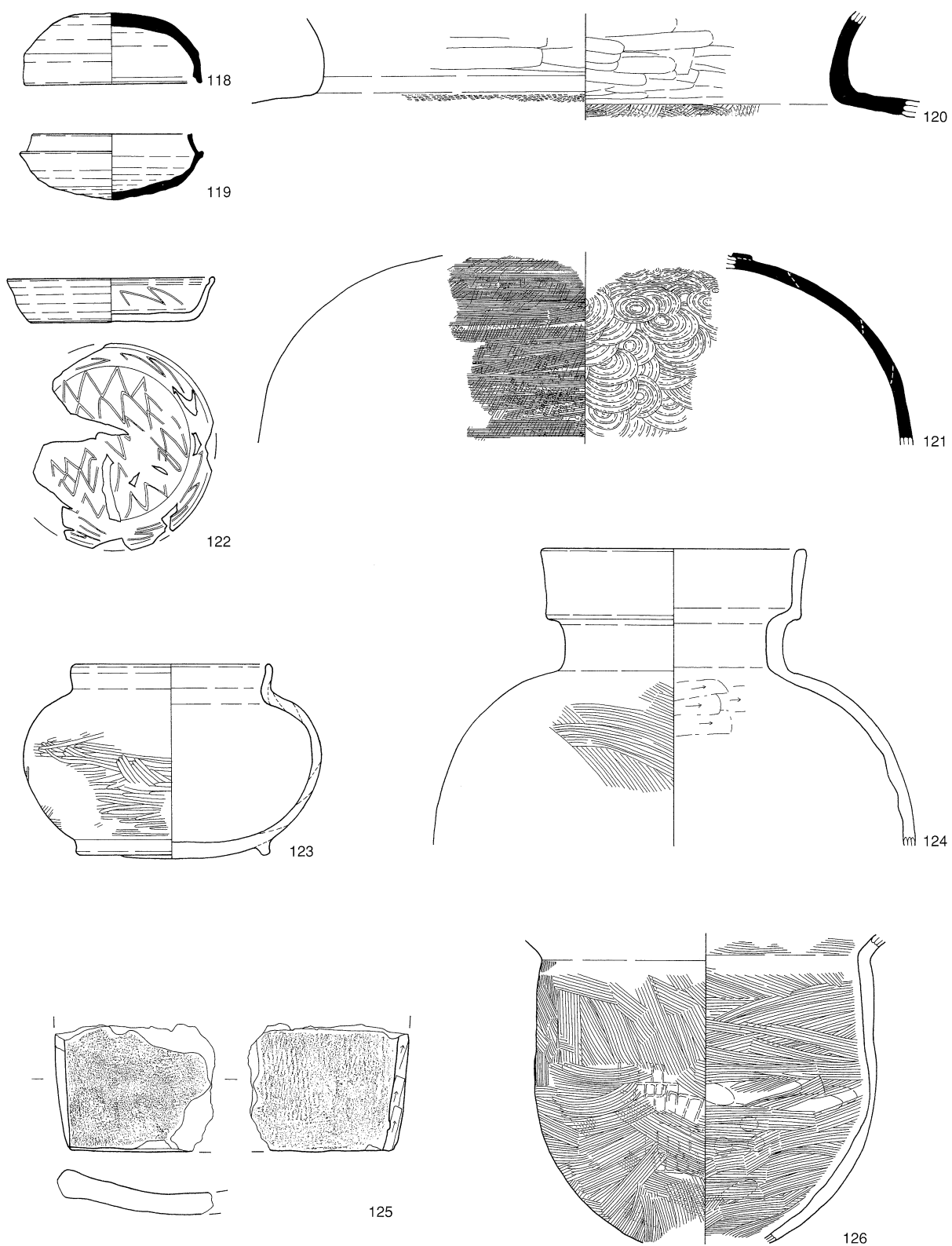


第82図 北区 (1999・2001年度) SX5003平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物 (1)



0 10cm

第83图 北区（1999・2001年度）SX5003出土遺物（2）



0 10cm

第84図 北区（1999・2001年度）第5包含層出土遺物

南 区

(1) 2000年度2区(第1遺構面)

溝 (SD1001) (第87図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A~H-5~7に位置する。

規模と形状

検出長41.70m、最大幅3.30m、最大深度0.40mの溝である。N-10°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは7層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黒褐色を呈する砂質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層はオリーブ黒色を呈するシルト層である。5層は、にぶい黄褐色を呈するシルト層である。6層、7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層はオリーブ黒色を呈するシルト層である。3層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。4層は暗灰黄色を呈するシルト層である。

E-Fは5層に分層した。1層~3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は暗灰黄色を呈するシルト層である。5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

G-Hは7層に分層した。1層~5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。6層は暗オリーブ色を呈するシルト層である。7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

I-Jは5層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層は暗灰黄色を呈するシルト層である。

溝 (SD1002) (第88図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-6に位置する。

規模と形状

検出長9.60m、最大幅0.40m、最大深度0.10mの溝である。N-11°-Wを軸に直線状を呈するが、北端は二股に分かれる。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

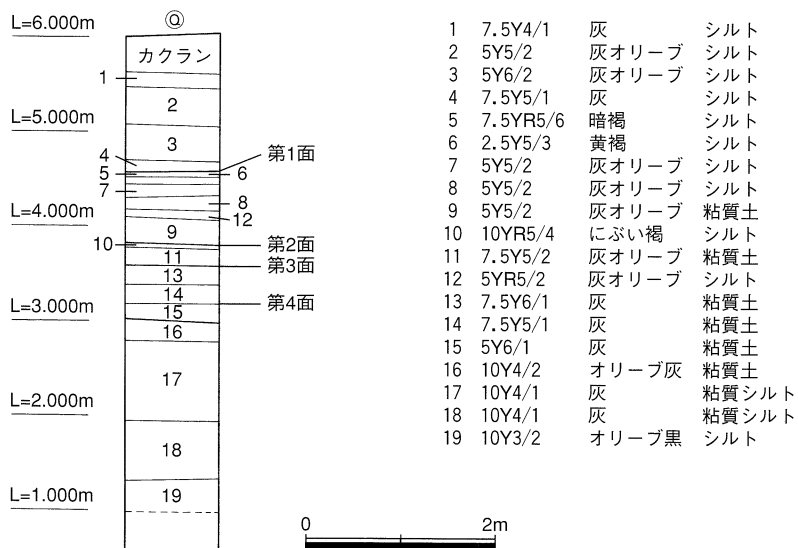
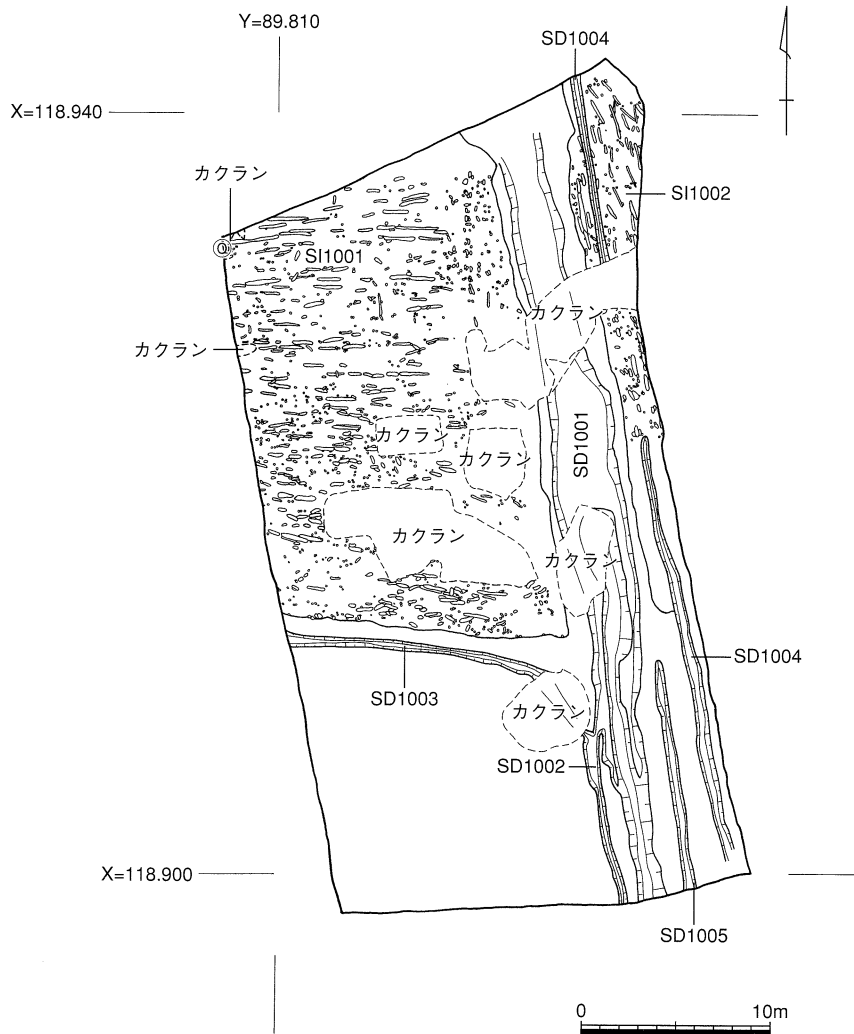
溝 (SD1003) (第89図)

位置

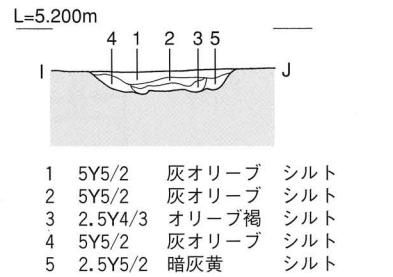
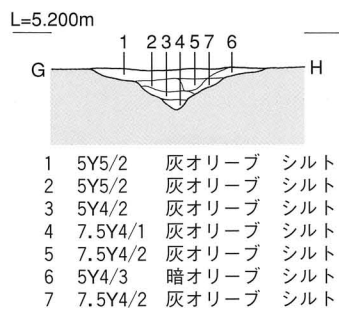
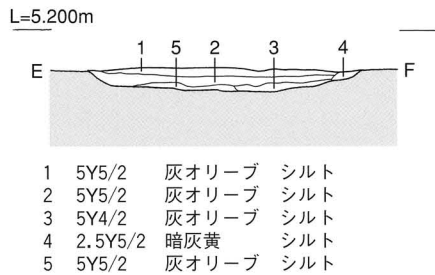
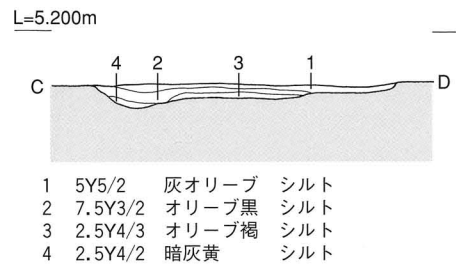
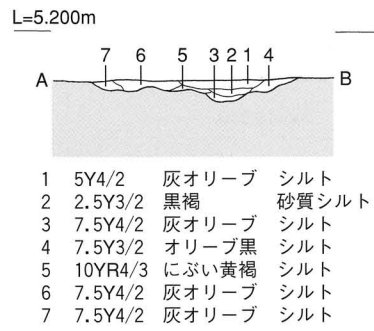
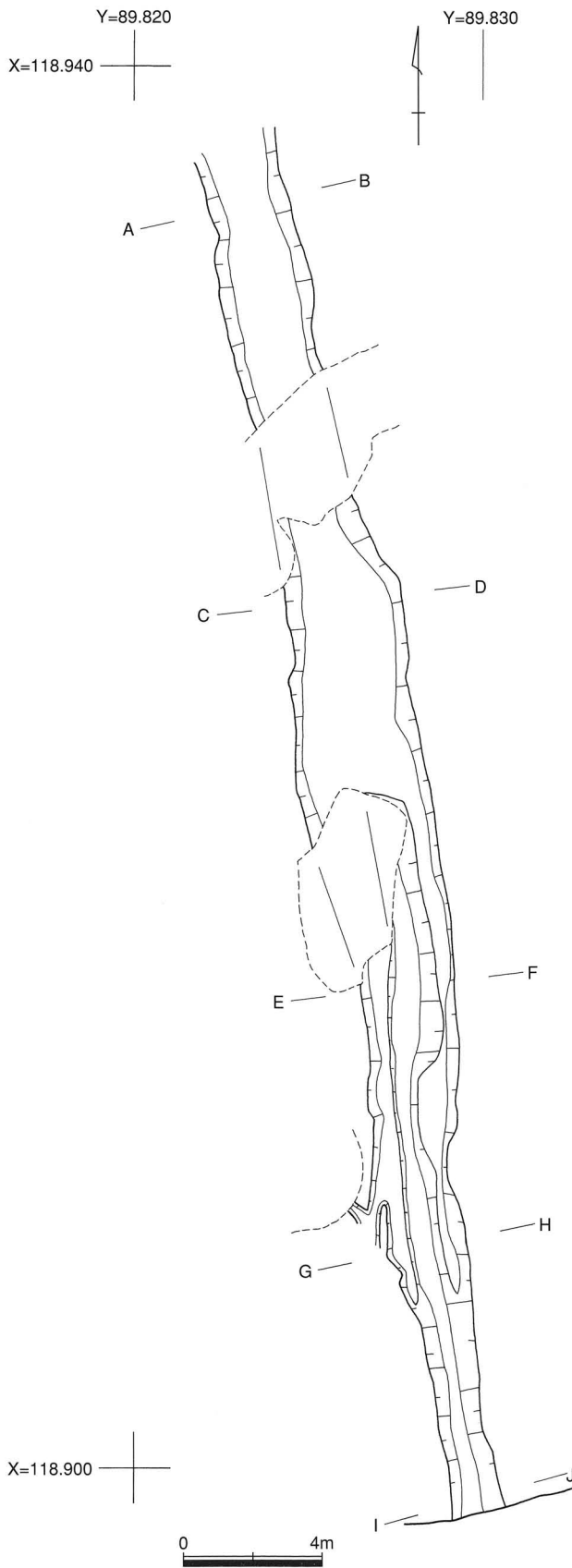
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B、C-3~6に位置する。

規模と形状

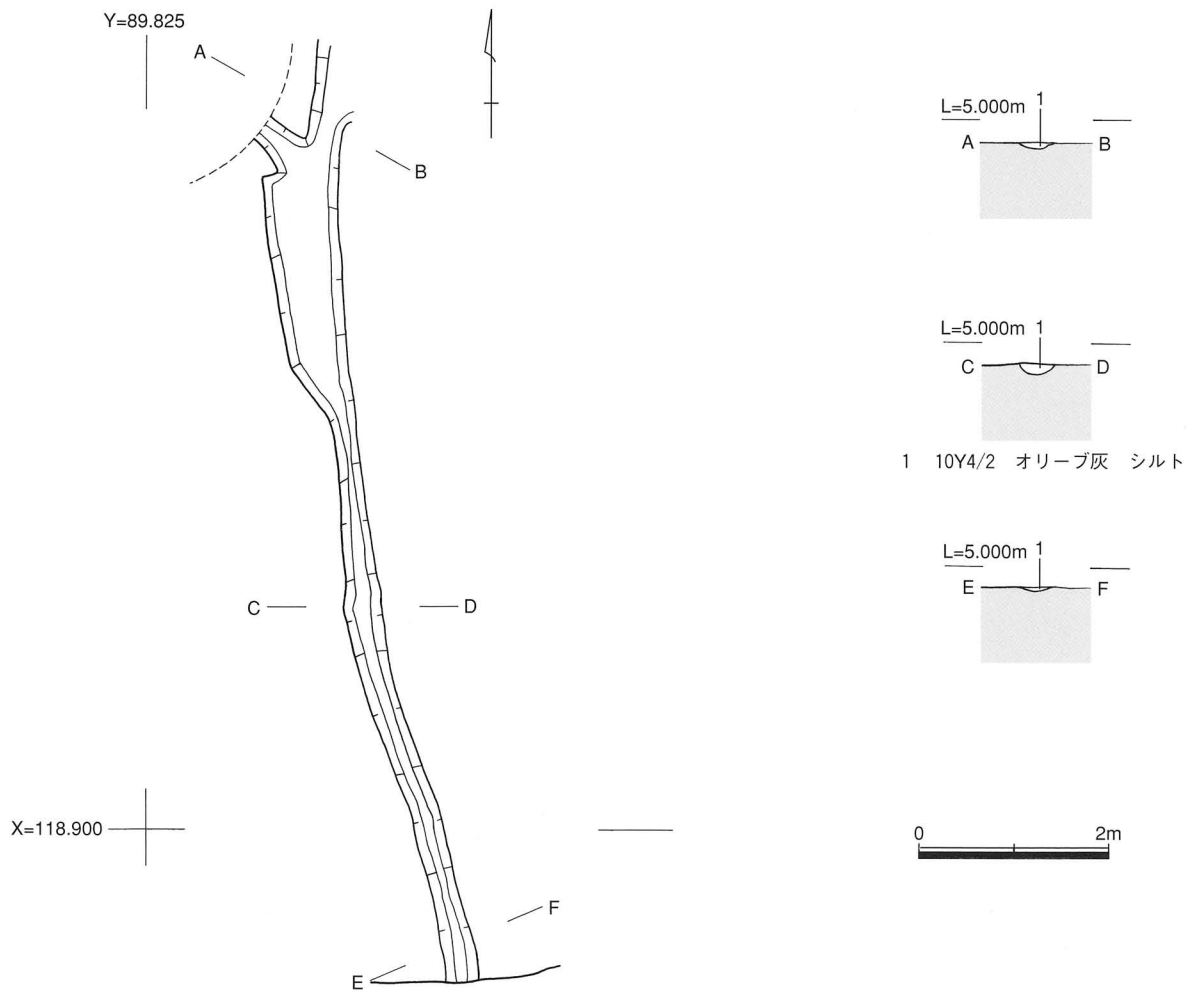
検出長18.00m、最大幅0.60m、最大深度0.10mの溝である。東西方向に伸びるが、東端は弧を描い



第86図 南区（2000年度2区）第1遺構面 調査区遺構平面図・土層柱状図



第87図 南区（2000年度2区）SD1001平・断面図

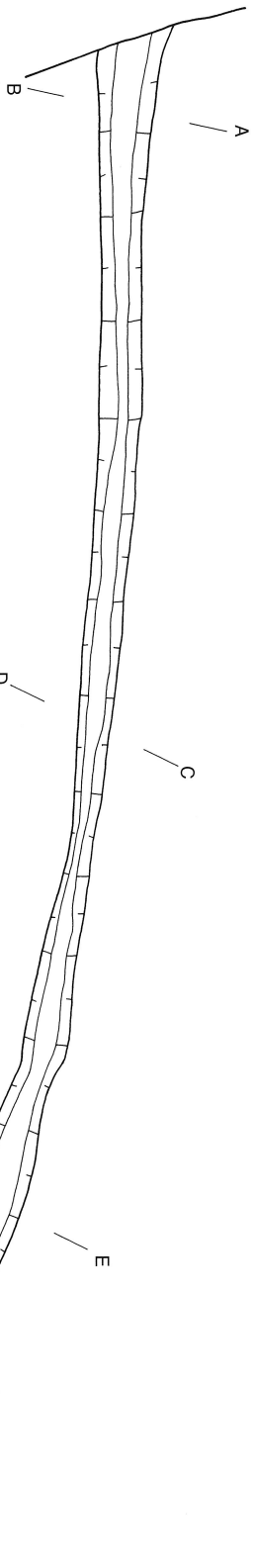
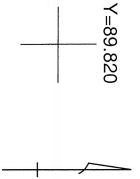


第88図 南区（2000年度2区）SD1002平・断面図

Y=89,810

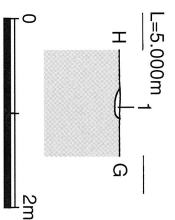
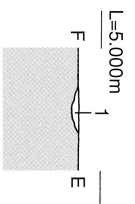
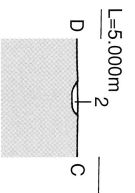
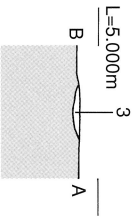
X=118,915

Y=89,820

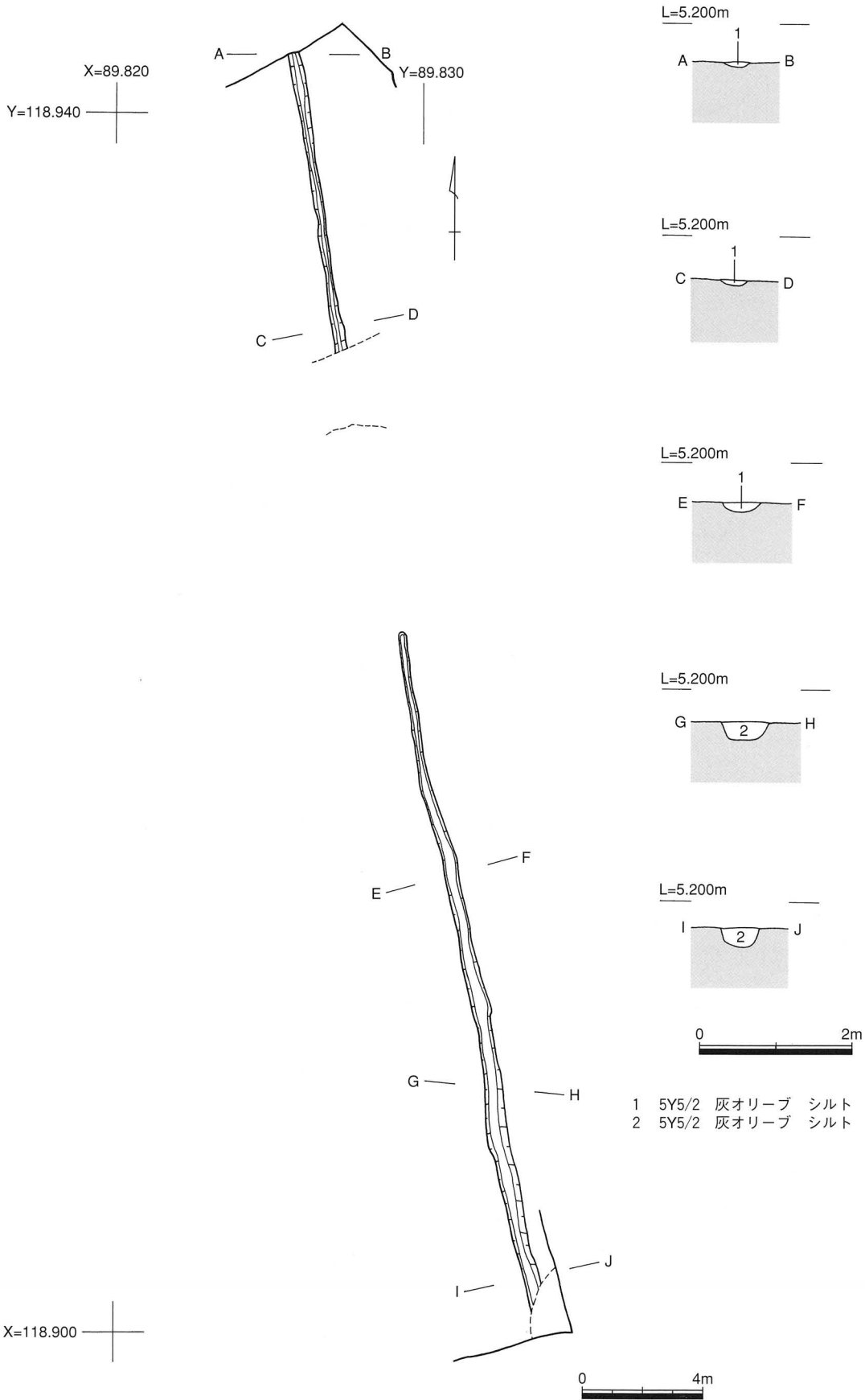


X=118,910

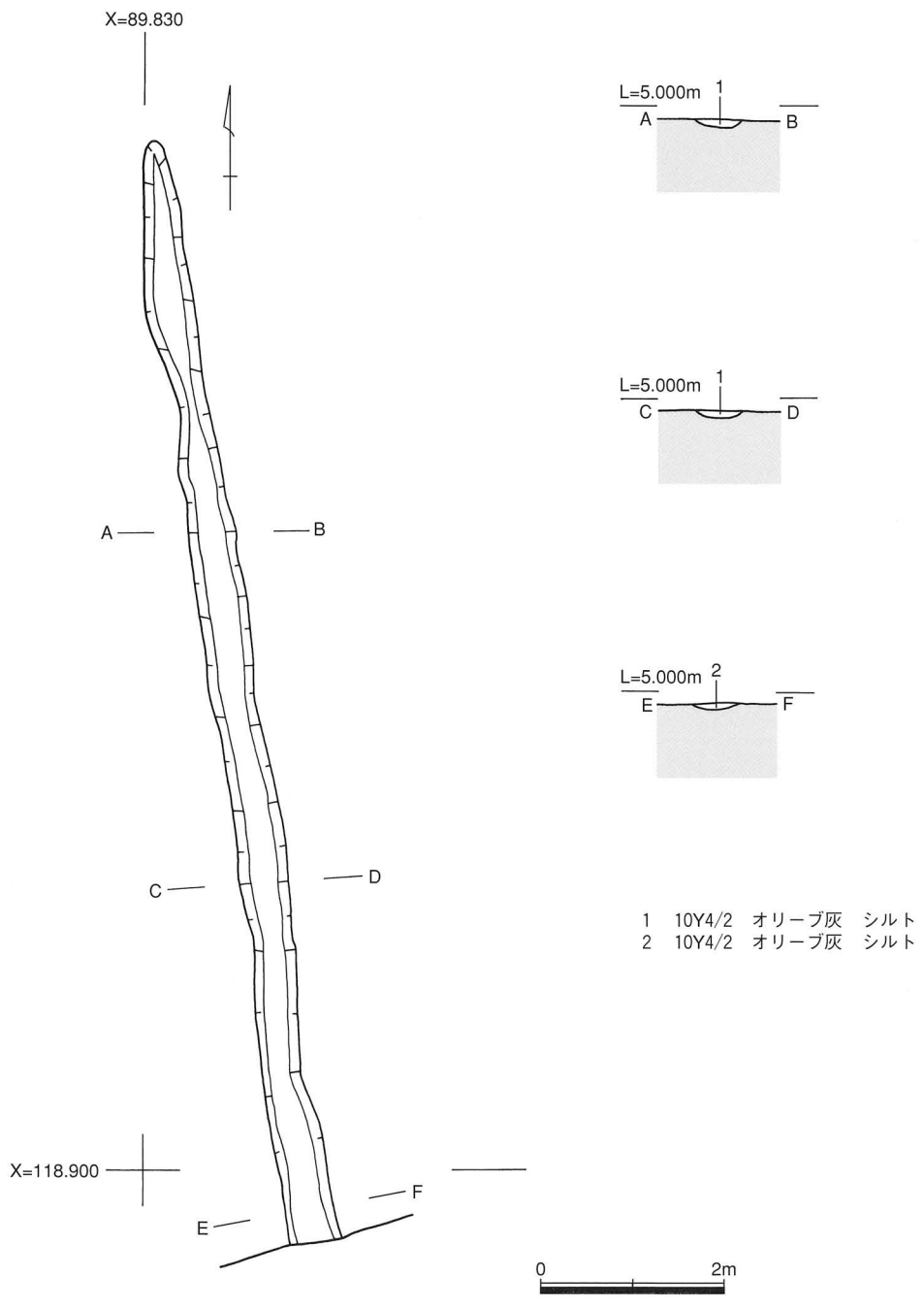
- 1 10Y4/2 オリーゾ灰 シルト
- 2 10Y4/2 オリーゾ灰 シルト
- 3 5Y4/2 灰オリーゾ シルト



第89図 南区 (2000年度2区) SD1003平・断面図



第90図 南区（2000年度2区）SD1004平・断面図



第91図 南区（2000年度2区）SD1005平・断面図

て南へ湾曲する。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層はオリーブ灰色を呈するシルト層である。3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD1004) (第90図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド A~E-6、7に位置する。

規模と形状

検出長22.60m、最大幅0.60m、最大深度0.25mの溝である。N-11°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD1005) (第91図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド A、B-7に位置する。

規模と形状

検出長11.80m、最大幅0.55m、最大深度0.10mの溝である。N-9°-Wを軸とした直線状を呈するが、北側は浅く調査区内で途切れている。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層はオリーブ灰色を呈するシルト層である。

水田跡 (第86図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド D~J-2~6に位置する。

規模と形状

SD1003以北に形成される。東側はN-10°-Wを軸としたSD1001によって区画されているが、耕作痕は正方位で東西方向のものが検出された。

(2) 2000年度2区(第2遺構面)

溝(SD2001)(第93図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド H-6 に位置する。

規模と形状

検出長5.30m、最大幅1.50m、最大深度0.50mの溝である。N-52°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は15層に分層した。1層～5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。6層、7層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。8層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。9層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。10層は灰オリーブ色を呈する砂混じり粘質シルト層である。11層、12層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。13層は黄褐色を呈するシルト層である。14層はオリーブ灰色を呈する砂混じり粘質土層である。15層はオリーブ灰色を呈する粘質土混じり砂層である。

出土遺物・時期

128は須恵器の高杯である。129は土師器の杯蓋である。時期は平安時代である。

溝(SD2002)(第93図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド I-6 に位置する。

規模と形状

検出長2.45m、最大幅0.50m、最大深度0.30mのややいびつな形状の溝であるが、SD1001の北側で平行に位置する。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層、5層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。

溝(SD2003)(第94図)

位置

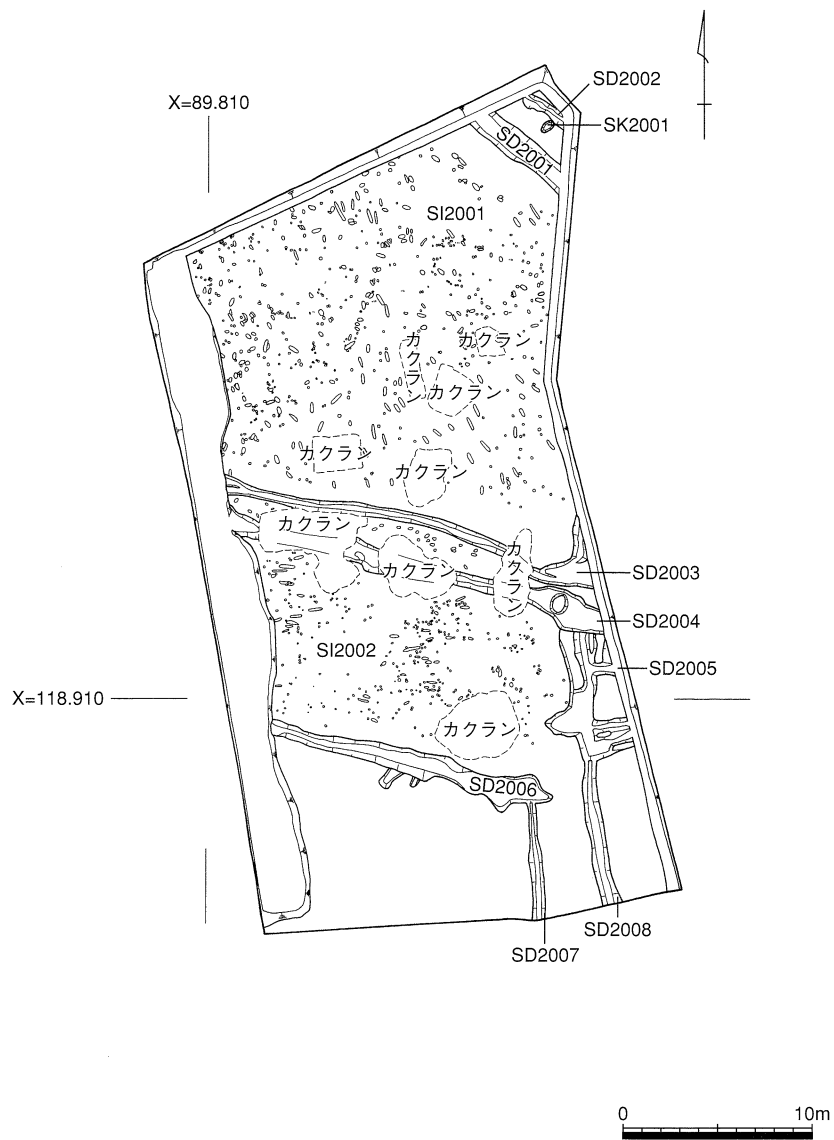
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド D、E-3～6 に位置する。

規模と形状

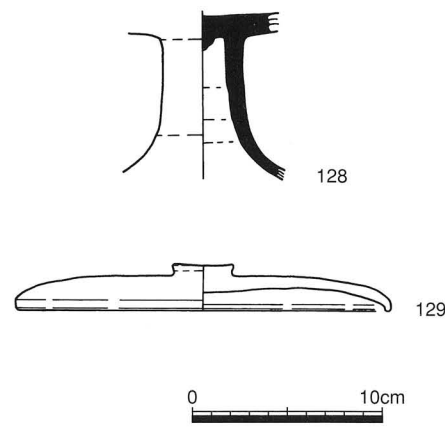
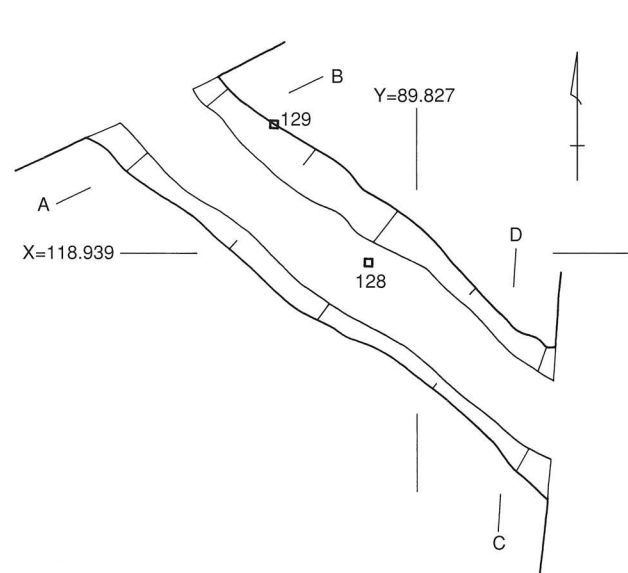
検出長20.30m、最大幅1.75m、最大深度0.30mの溝である。東西方向に延びるが、東側はやや南へ湾曲する。

土層

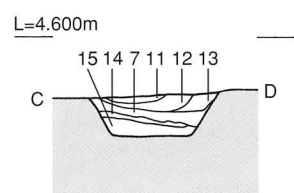
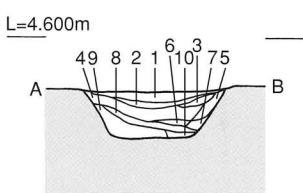
遺構の堆積土は4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。2層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。3層、4層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。



第92図 南区（2000年度2区）第2遺構面 調査区遺構平面図

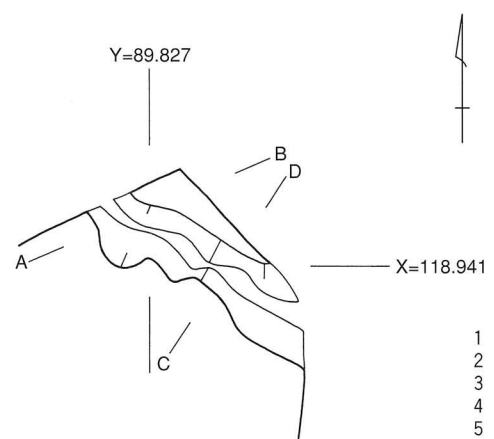


SD 2001 出土遺物実測図

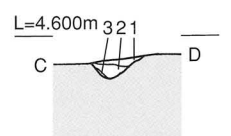
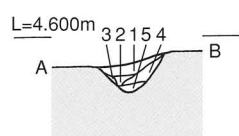


SD2001

1	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
2	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
3	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
4	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
5	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
6	5Y5/2	灰オリーブ	粘質土
7	5Y5/2	灰オリーブ	粘質土
8	5Y5/2	灰オリーブ	粘質シルト
9	5Y5/2	灰オリーブ	粘質土
10	5Y6/2	灰オリーブ	粘質シルト (砂混じり)
11	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
12	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
13	2.5Y5/3	黄褐色	シルト
14	2.5GY5/1	オリーブ灰	粘質土 (砂混じり)
15	2.5GY5/1	オリーブ灰	砂 (粘質土混じり)



1	5Y6/2	灰オリーブ	シルト
2	5Y6/2	灰オリーブ	シルト
3	5Y5/2	灰オリーブ	シルト
4	5Y5/2	灰オリーブ	粘質シルト
5	5Y5/2	灰オリーブ	粘質シルト



SD2002



第93図 南区 (2000年度2区) SD2001・SD2002平・断面図・遺物出土状況ドット図・SD2001出土遺物

溝 (SD2004) (第95図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド D-3～6 に位置する。

規模と形状

検出長20.35m、最大幅1.40m、最大深度0.20m の溝である。現代の攪乱により分断されているが、東西方向 N-77° -W を軸に延びていたものと推定される。

土層

遺構の堆積土は4層に分層できる。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。

出土遺物

130は土師器の皿である。

溝 (SD2005) (第96図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B-7 に位置する。

規模と形状

検出長6.90m、最大幅1.40m、最大深度0.35m のいびつな形状である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層、4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層、6層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2006) (第97図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B-3～6 に位置する。

規模と形状

検出長14.65m、最大幅1.10m、最大深度0.40m の溝である。N-76° -W を軸に直線状を呈するが、東端は調査区内で終息する。

土層

遺構の堆積土は10層に分層した。1層～10層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

溝 (SD2007) (第98図)

位置

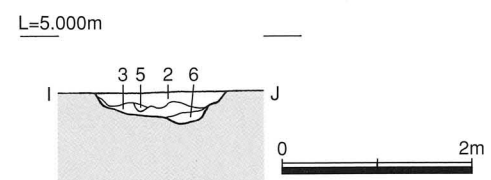
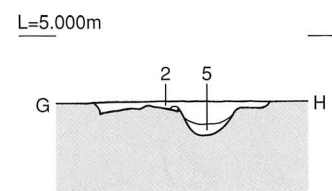
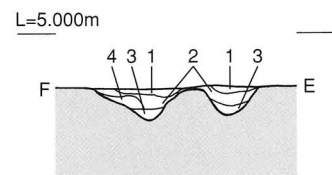
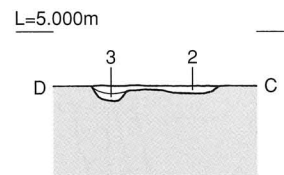
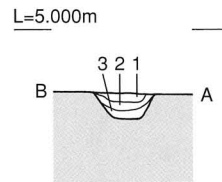
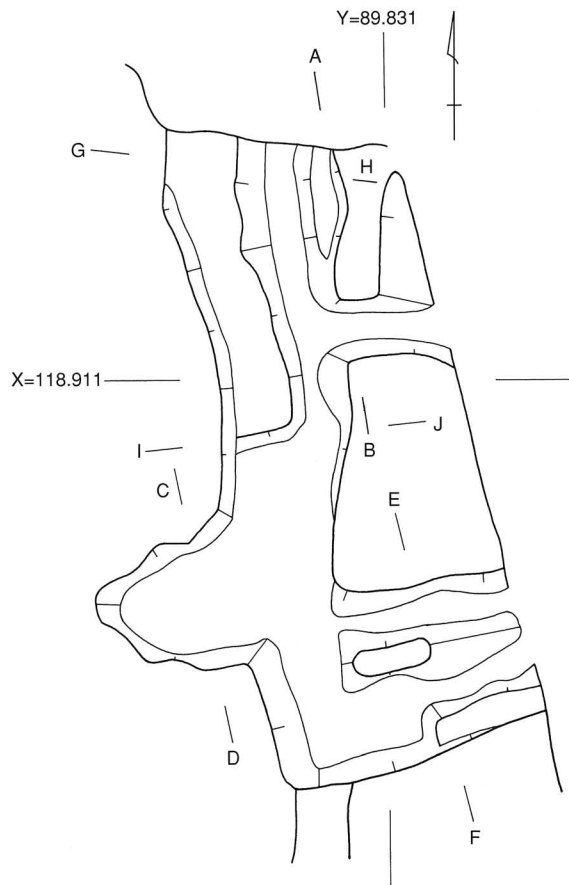
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-6 に位置する。

規模と形状

検出長6.30m、最大幅0.60m、最大深度0.20m の溝である。N-4° -W を軸とした直線状を呈する。

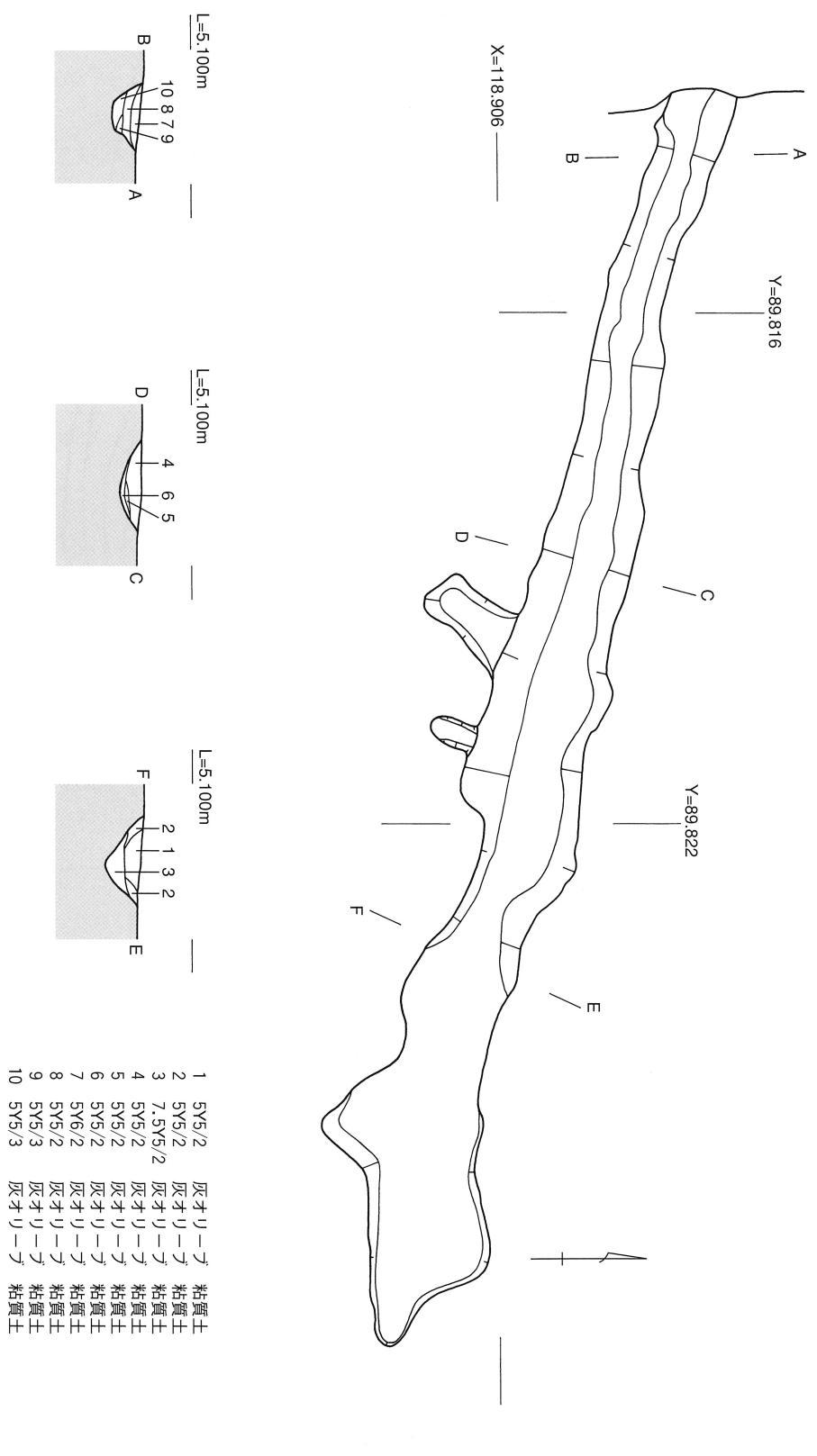
土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

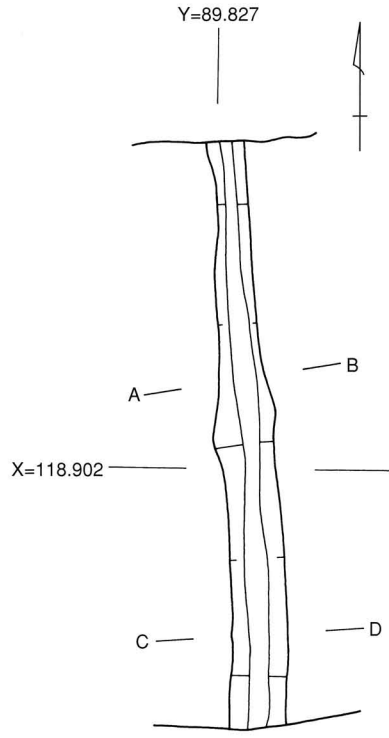


- | | | | |
|---|---------|-------|-----|
| 1 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |
| 2 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |
| 3 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 4 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 5 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |
| 6 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |

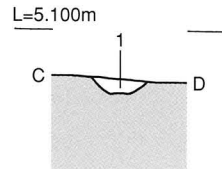
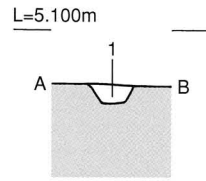
第96図 南区 (2000年度2区) SD2005平・断面図



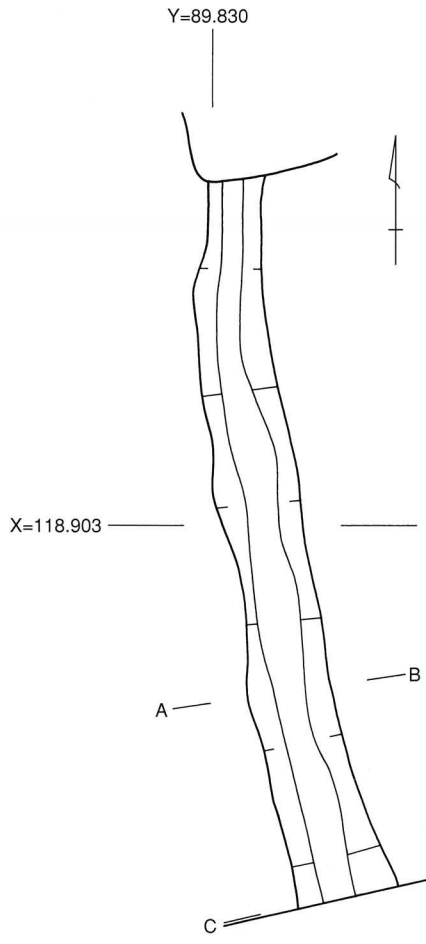
第97図 南区 (2000年度2区) SD2006平・断面図



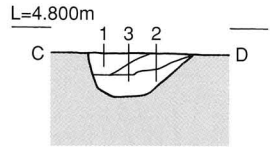
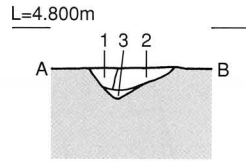
SD2007



1 5Y5/3 灰オリーブ シルト



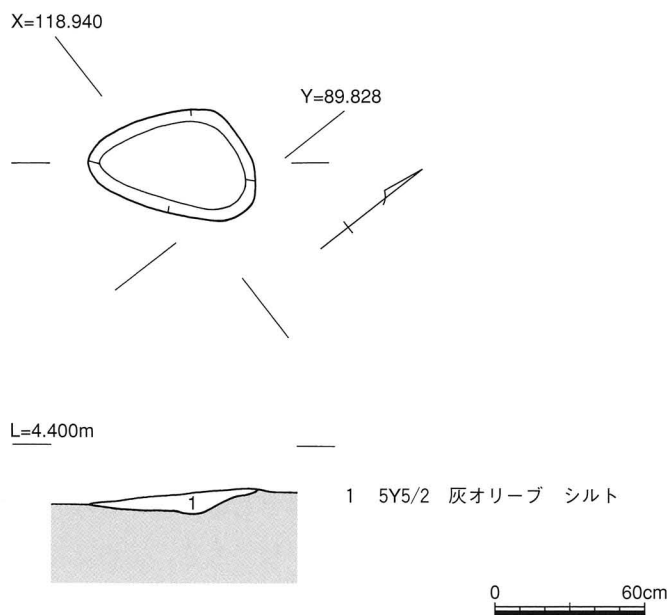
SD2008



1 2.5Y6/3 にぶい黄 砂質土
 2 5Y6/2 灰オリーブ 砂質土
 3 2.5Y6/3 にぶい黄 砂質土



第98図 南区（2000年度2区）SD2007・SD2008平・断面図



第99図 南区（2000年度2区）SK2001平・断面図

溝（SD2008）（第98図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-7 に位置する。

規模と形状

検出長7.70m、最大幅1.10m、最大深度0.45m の溝である。N-8°-W を軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。2層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。3層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。

水田跡（第92図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド D~J-2~6 に位置する。

規模と形状

SD2006以北に形成され、中央部を SD2003、2004が横断する。溝の方向は一定しておらず、耕作痕にも明確な方向性は見られない。

土坑（SK2001）（第99図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド I-6 に位置する。

規模と形状

検出長0.67m、最大幅0.46m、最大深度0.08m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

(3) 2000年度2区 (第3遺構面)

溝 (SD3001) (第101図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド H-5 に位置する。

規模と形状

検出長7.30m、最大幅2.60m、最大深度1.10m の溝である。N-77°-W を軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は13層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する砂質土層である。2層、3層は灰黄色を呈するシルト層である。4層は黄灰色を呈する砂質土層である。5層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。6層は灰色を呈する砂質土層である。7層は、にぶい黄褐色を呈する細砂層である。8層は暗緑灰色を呈するシルト混じり砂質土層である。9層は灰色を呈するシルト層である。10層は灰色を呈する砂混じり粘質シルト層である。11層、12層は、灰色を呈する粘質シルト層である。13層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

131は雑具の火鑽板である。火鑽臼が2ヶ所残存している。132は土師器の高杯である。時期は平安時代である。

溝 (SD3002) (第102図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド H-6 に位置する。

規模と形状

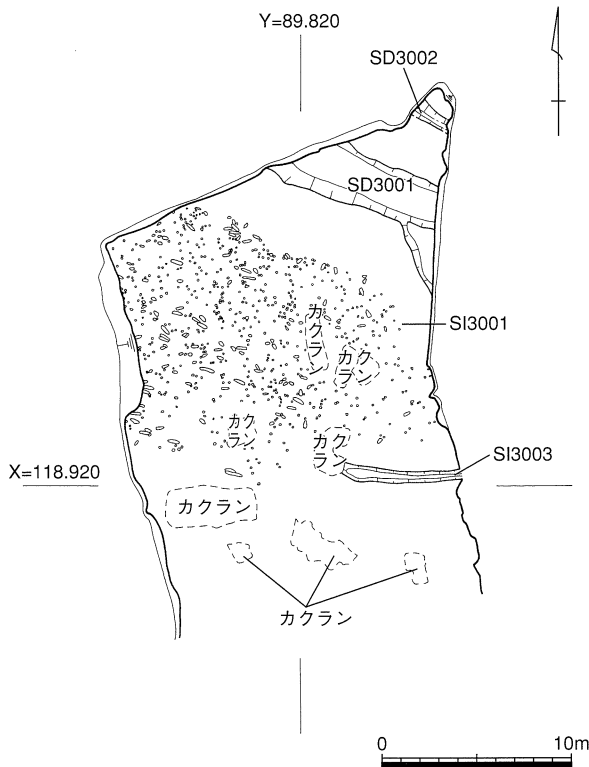
検出長1.80m、最大幅0.75m、最大深度0.25m の溝である。N-30°-W を軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈する砂質土層である。2層は黄灰色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

133は土師器の杯である。時期は平安時代である。



第100図 南区 (2000年度2区)
第3遺構面 調査区遺構平面図

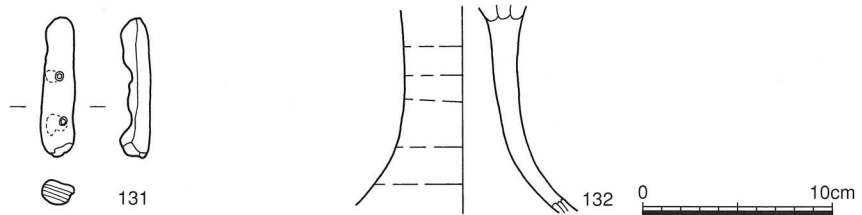
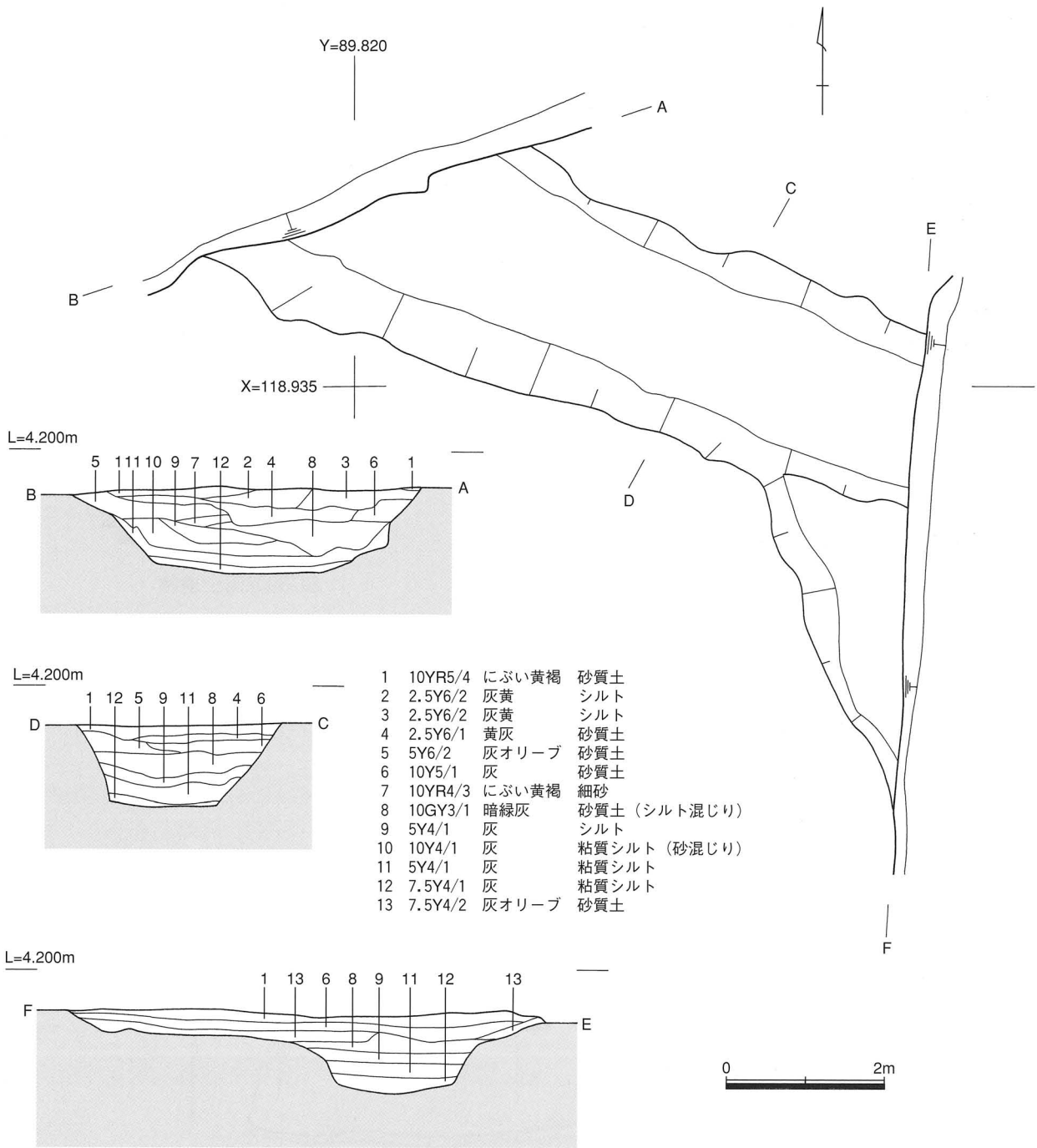
溝 (SD3003) (第102図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド E-5、6 に位置する。

規模と形状

検出長6.30m、最大幅0.60m、最大深度0.30m の



第101図 南区 (2000年度 2区) SD3001平・断面図・出土遺物

溝である。ほぼ東西方向を軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質土による単一層である。

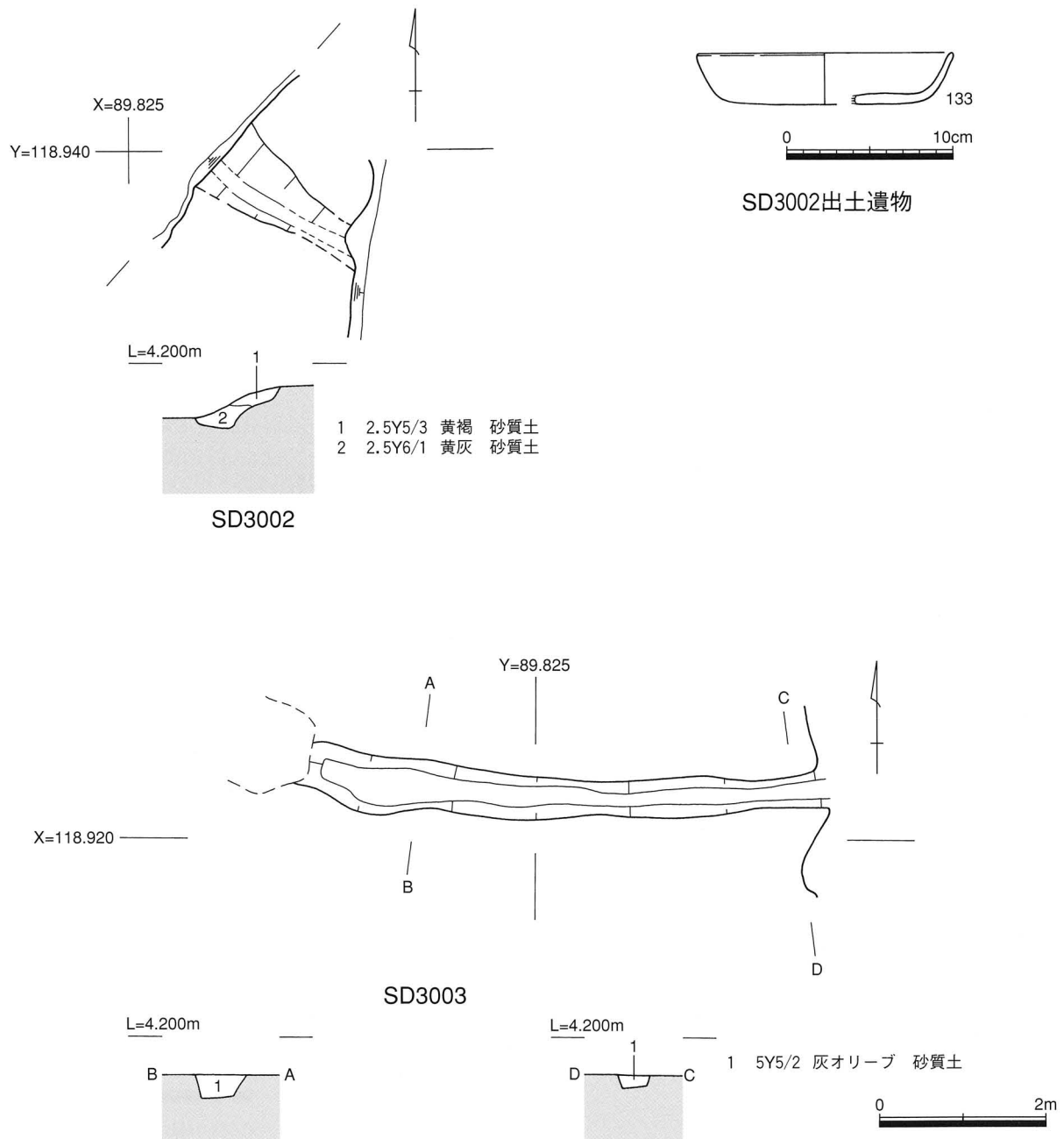
水田跡 (第100図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド E~J-2~6 に位置する。

規模と形状

水田土壌は南北10m、東西15m の範囲に残存するのみで、耕作痕も明確な方向性は見られない。



第102図 南区 (2000年度2区) SD3002・SD3003平・断面図・SD3002出土遺物

(4) 2000年度2区 (第4遺構面)

溝 (SD4001) (第104図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B~F-6 に位置する。

規模と形状

検出長21.40m、最大幅0.90m、最大深度0.30mの溝である。N-9°-Wを軸とした直線状を呈するが、南端は調査区内で収束している。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層、4層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。5層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。6層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

土坑 (SK4001) (第105図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド E-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.10m、最大幅0.53m、最大深度0.20mの楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。2層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

柱穴 (SP4001) (第106図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド F-5 に位置する。

規模と形状

検出長0.40m、最大幅0.38m、最大深度0.06mの円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質シルトによる単一層である。

柱穴 (SP4002) (第106図)

位置

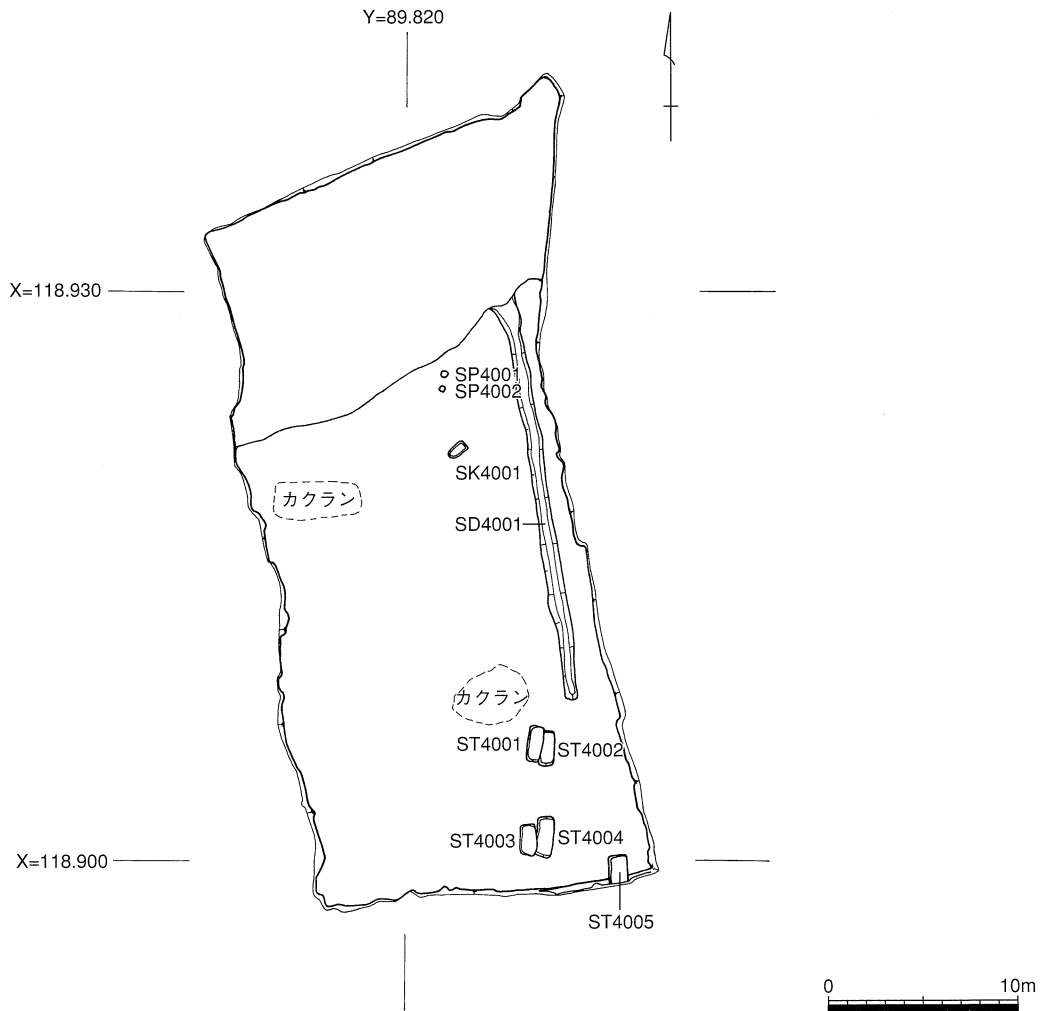
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド E-5 に位置する。

規模と形状

検出長0.33m、最大幅0.31m、最大深度0.05mの円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質シルトによる単一層である。



第103図 南区（2000年度2区）第4遺構面 調査区遺構平面図

土壌墓（ST4001）（第107図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B-6 に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.80m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質土層である。

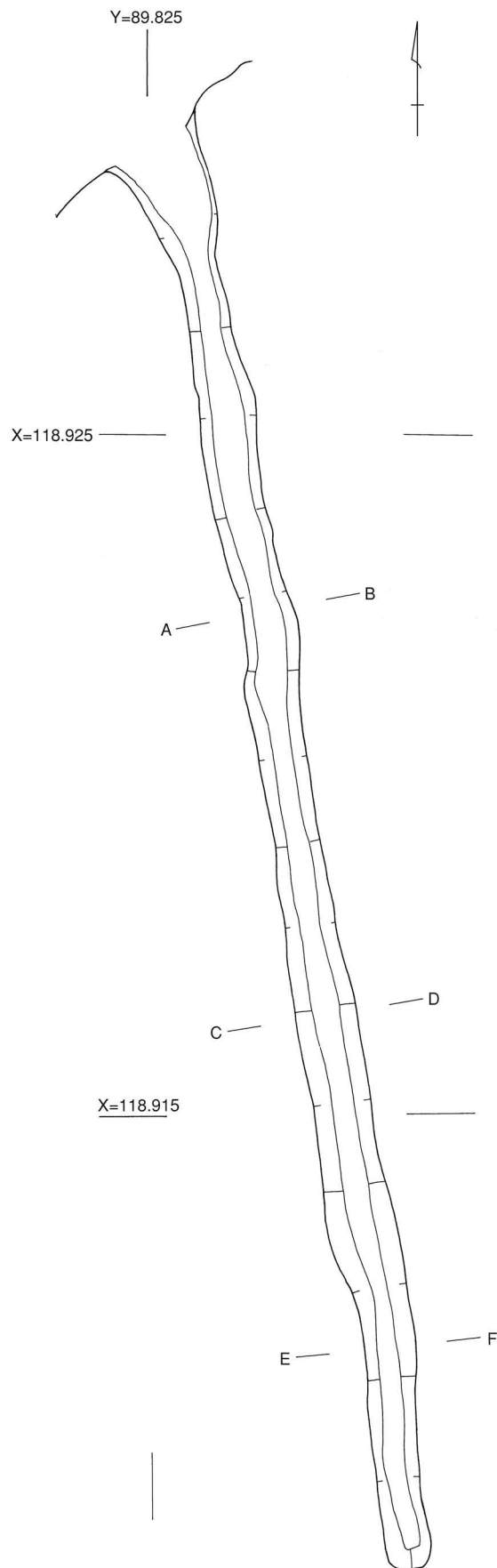
土壌墓（ST4002）（第107図）

位置

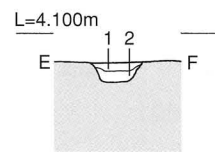
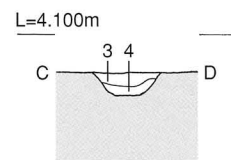
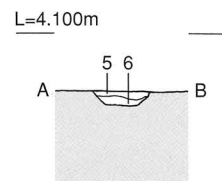
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B-6 に位置する。

規模と形状

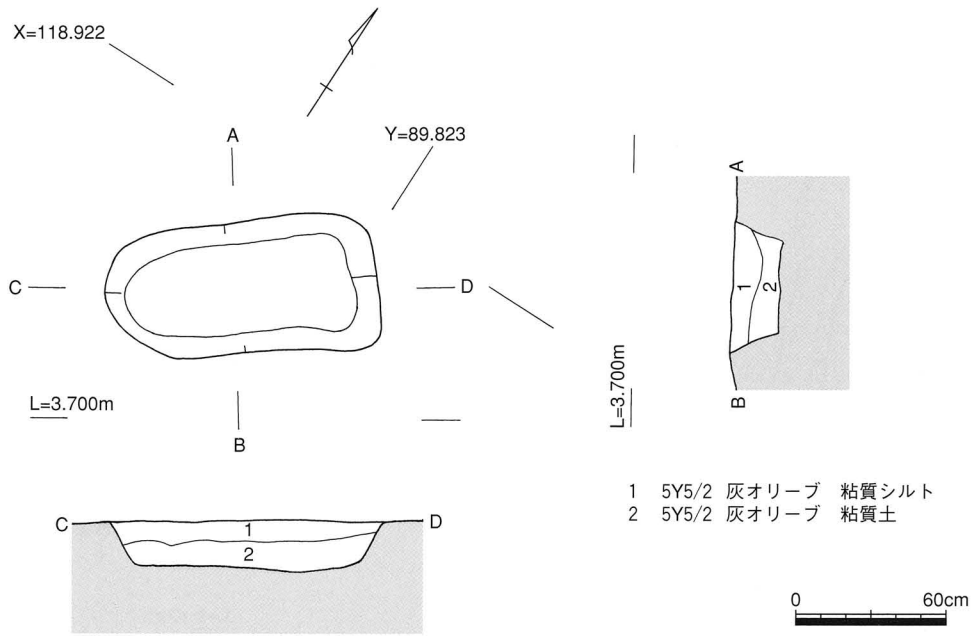
検出長1.95m、最大幅0.65m、最大深度0.60m の長方形である。



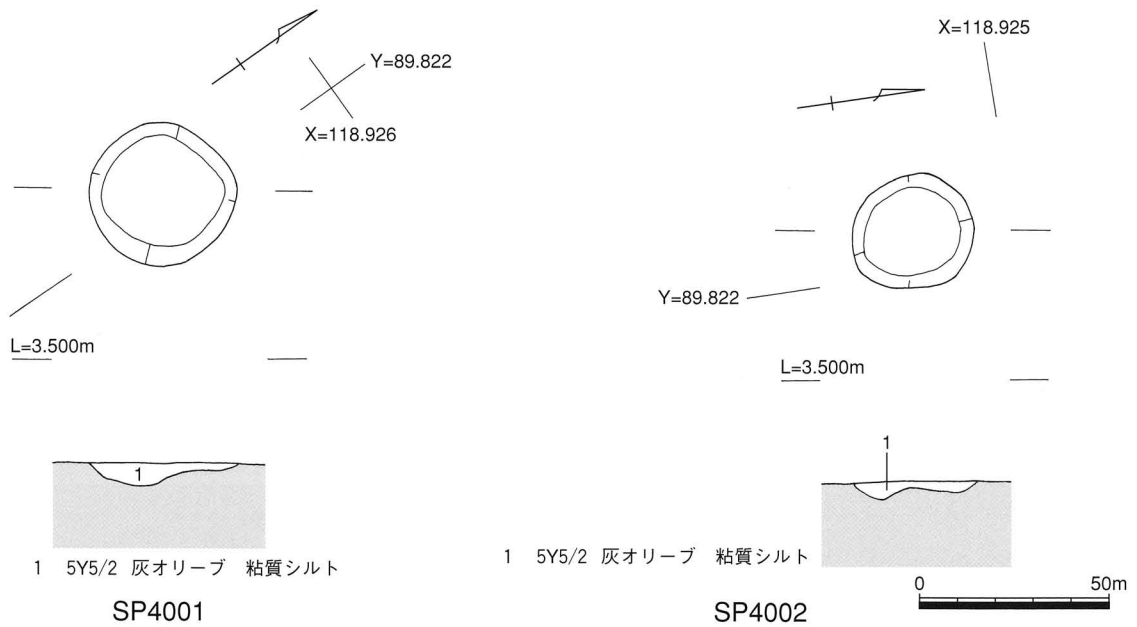
- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 2 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 3 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 4 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 5 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | 粘質シルト |
| 6 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | 粘質土 |



第104図 南区（2000年度2区）SD4001平・断面図



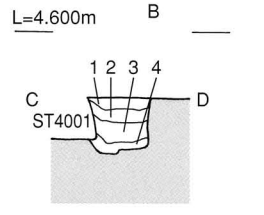
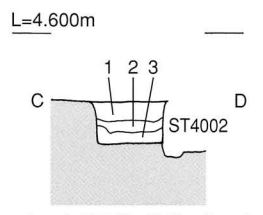
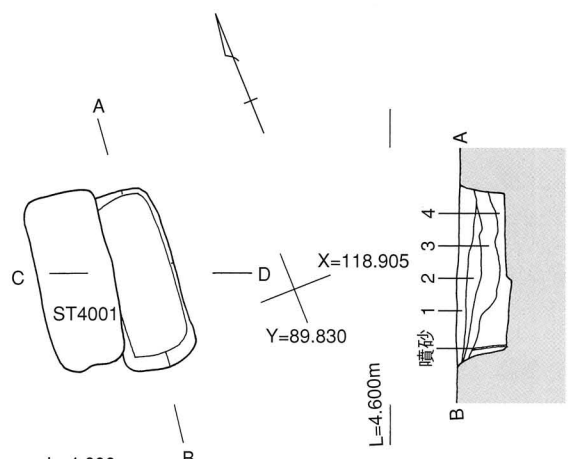
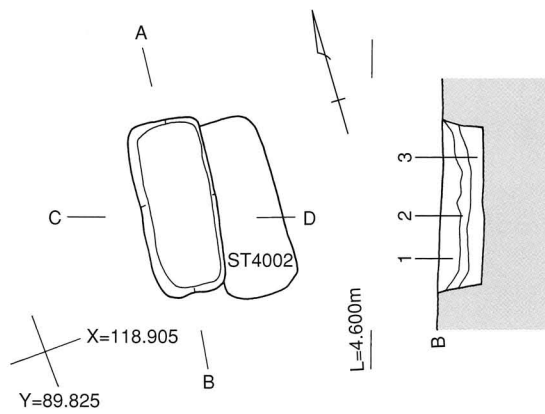
第105図 南区（2000年度2区）SK4001平・断面図



第106図 南区（2000年度2区）SP4001・SP4002平・断面図

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質土層である。4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

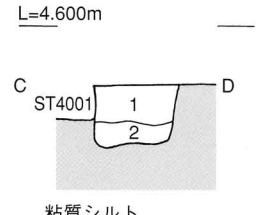
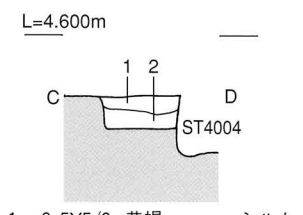
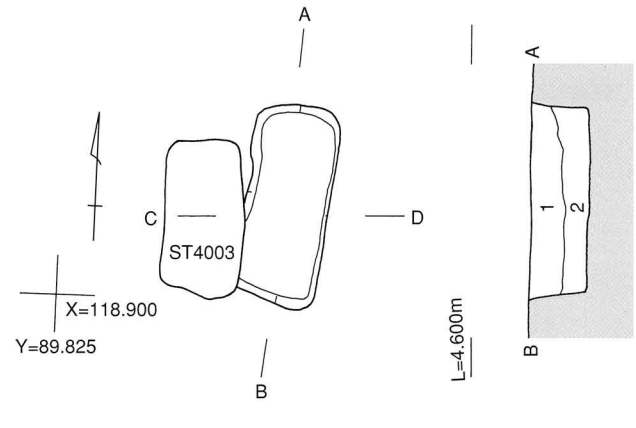
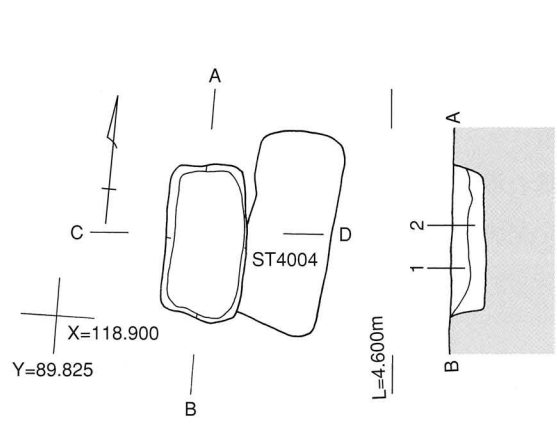


- 1 2.5Y5/3 黄褐 シルト
- 2 2.5Y5/3 黄褐 シルト
- 3 2.5Y5/3 黄褐 粘質土

- 1 2.5Y5/3 黄褐 シルト
- 2 2.5Y5/3 黄褐 シルト
- 3 2.5Y5/3 黄褐 粘質土
- 4 2.5Y4/3 オリーブ褐 粘質土

ST4001

ST4002



- 1 2.5Y5/3 黄褐 シルト
- 2 2.5Y4/3 オリーブ褐 シルト

- 1 2.5Y5/3 黄褐 粘質シルト
- 2 2.5Y4/3 オリーブ褐 粘質土

ST4003

ST4004



第107図 南区 (2000年度2区) ST4001・ST4002・ST4003・ST4004平・断面図

土壌墓 (ST4003) (第107図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-6 に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.85m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST4004) (第107図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-6 に位置する。

規模と形状

検出長2.15m、最大幅0.90m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。2層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壌墓 (ST4005) (第108図)

位置

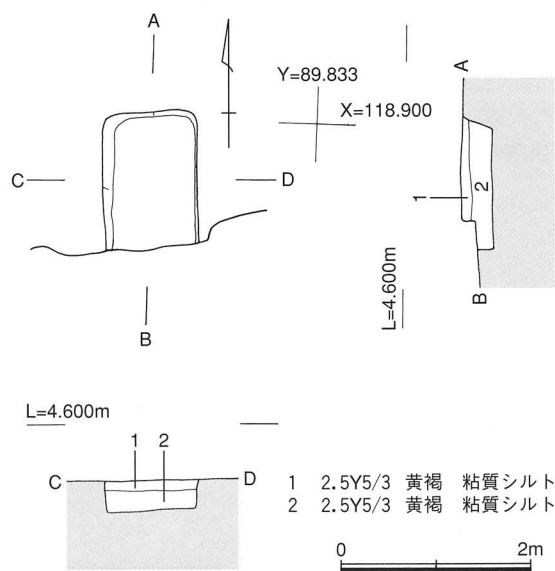
大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ-IV、小グリッド T-7 に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅1.00m、最大深度0.30m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。



第108図 南区 (2000年度 2区)
ST4005平・断面図

(5) 2000年度2区 (第5遺構面)

柱穴 (SP5001) (第110図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B-4 に位置する。

規模と形状

検出長0.33m、最大幅0.32m、最大深度0.15m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

柱穴 (SP5002) (第110図)

位置

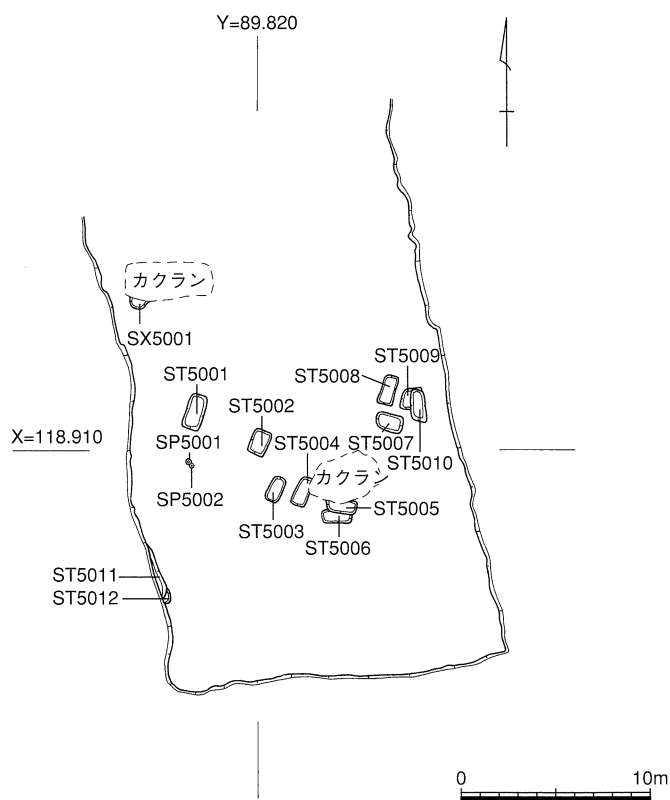
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B-4 に位置する。

規模と形状

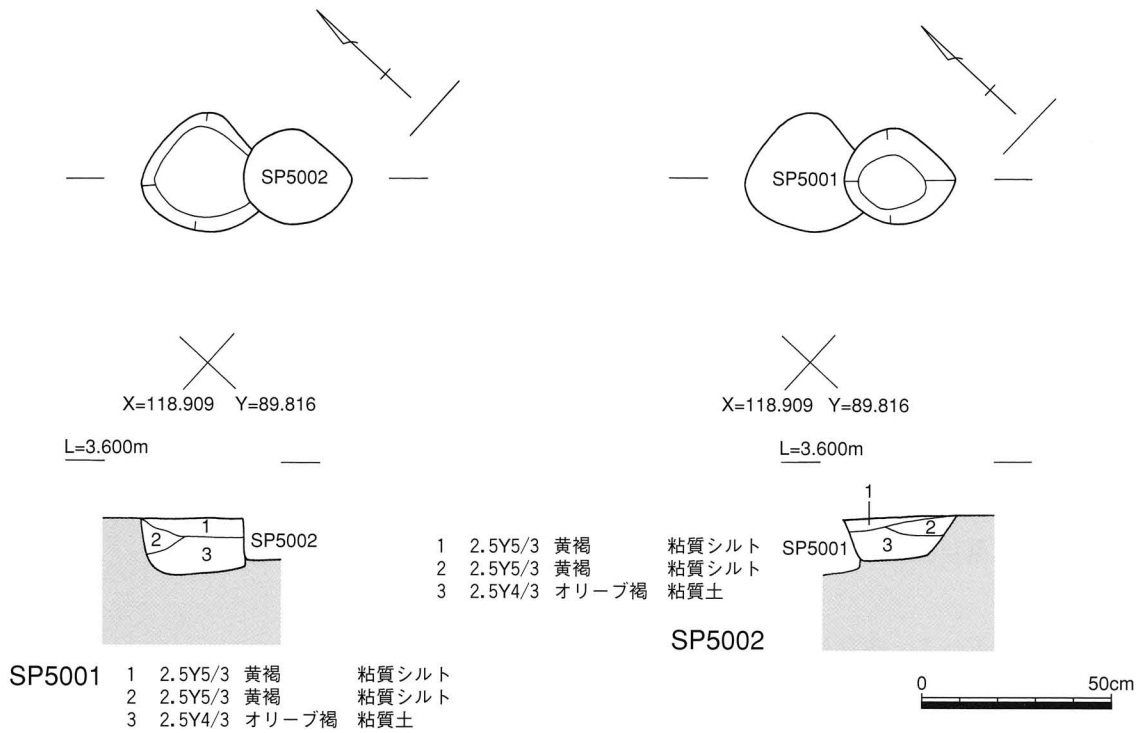
検出長0.29m、最大幅0.26m、最大深度0.12m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。



第109図 南区 (2000年度2区) 第5遺構面 調査区遺構平面図



第110図 南区（2000年度2区）SP5001・SP5002平・断面図

土壌墓（ST5001）（第111図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド C-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅0.90m、最大深度0.64m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

土壌墓（ST5002）（第111図）

位置

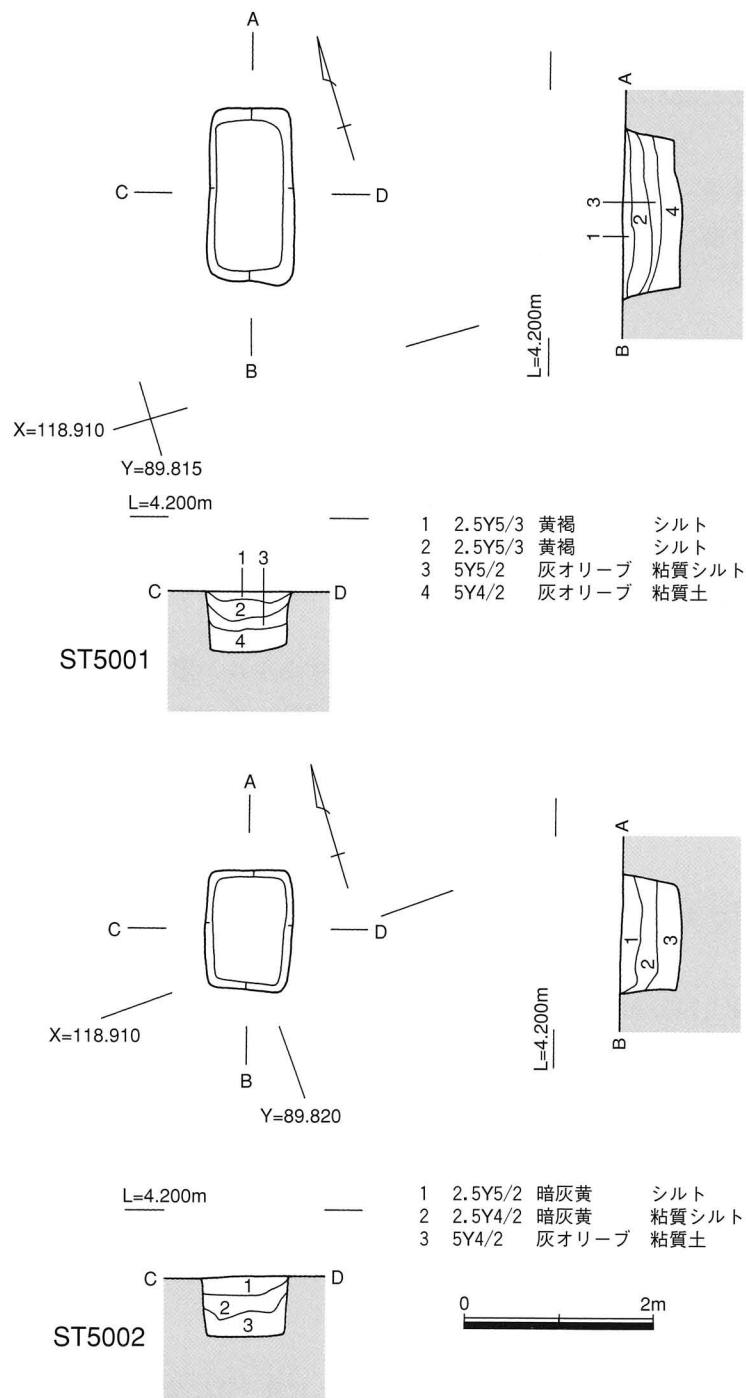
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド C-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.27m、最大幅0.93m、最大深度0.65m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は暗灰黄色を呈するシルト層である。2層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。



第111図 南区（2000年度2区）ST5001・ST5002平・断面図

土壌墓 (ST5003) (第112図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.40m、最大幅0.72m、最大深度0.52m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

土壌墓 (ST5004) (第112図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.47m、最大幅0.65m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層、4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壌墓 (ST5005) (第112図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.55m、最大幅0.70m、最大深度0.43m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壌墓 (ST5006) (第112図)

位置

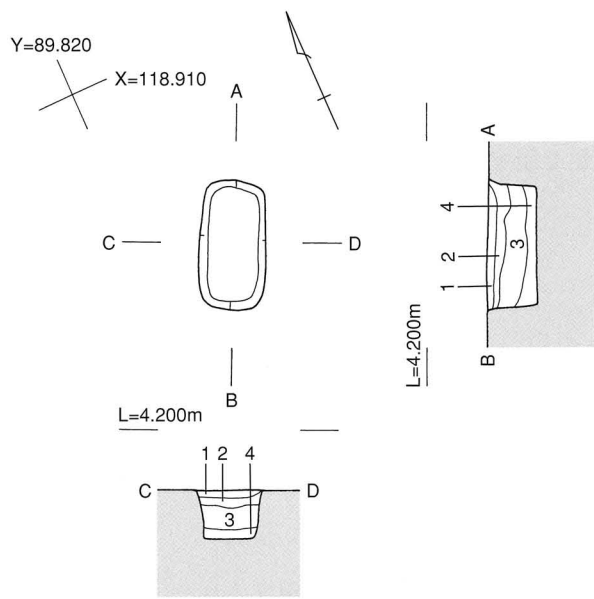
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.52m、最大幅0.65m、最大深度0.45m の長方形である。

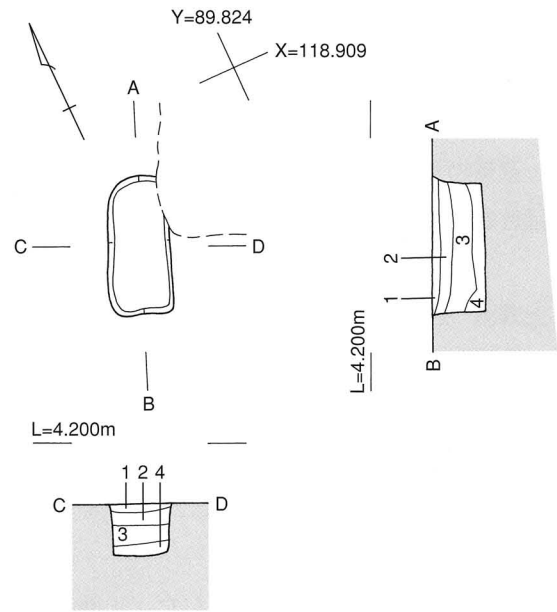
土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。



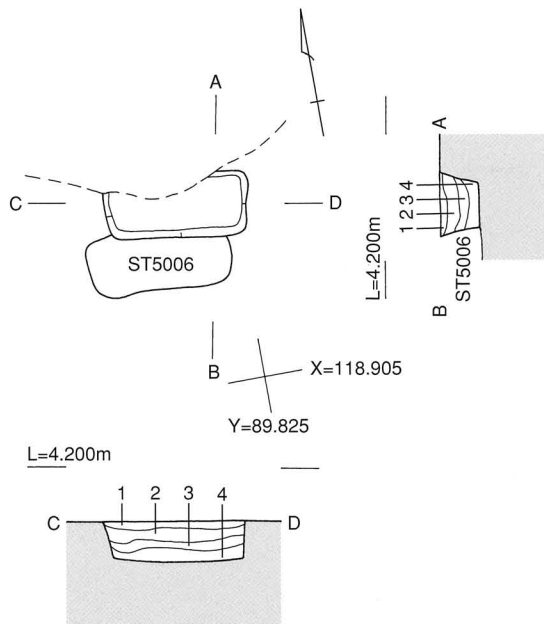
- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 2 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 3 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | 粘質シルト |
| 4 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | 粘質土 |

ST5003



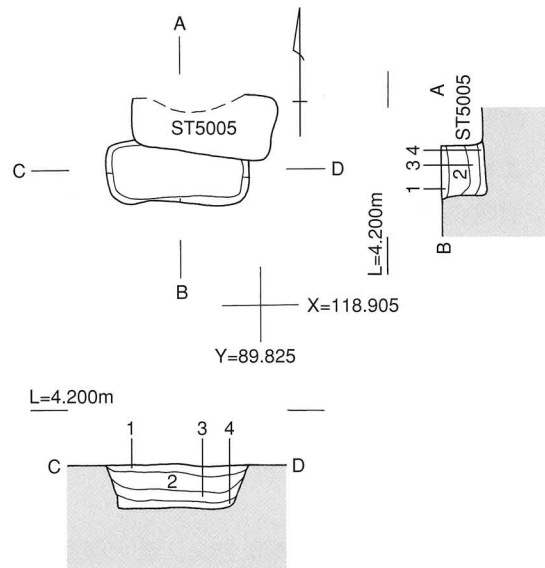
- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 2 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 3 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質土 |
| 4 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質土 |

ST5004



- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | シルト |
| 2 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 3 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質シルト |
| 4 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質土 |

ST5005



- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | シルト |
| 2 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 3 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質シルト |
| 4 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質土 |

ST5006



第112図 南区（2000年度2区）ST5003・ST5004・ST5005・ST5006平・断面図

土壙墓 (ST5007) (第113図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド C-6 に位置する。

規模と形状

検出長1.40m、最大幅0.88m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壙墓 (ST5008) (第113図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド C-6 に位置する。

規模と形状

検出長1.53m、最大幅0.80m、最大深度0.47m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。3層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。

土壙墓 (ST5009) (第113図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド C-6 に位置する。

規模と形状

検出長1.15m、最大幅0.55m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。4層は灰色を呈する粘質土層である。

土壙墓 (ST5010) (第113図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド C-6 に位置する。

規模と形状

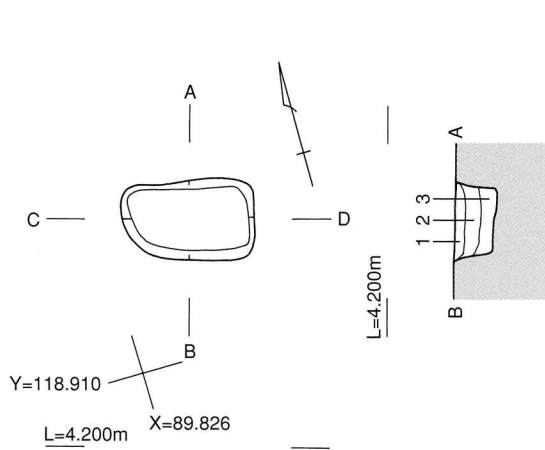
検出長1.60m、最大幅0.73m、最大深度0.35m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。4層は灰色を呈する粘質土層である。

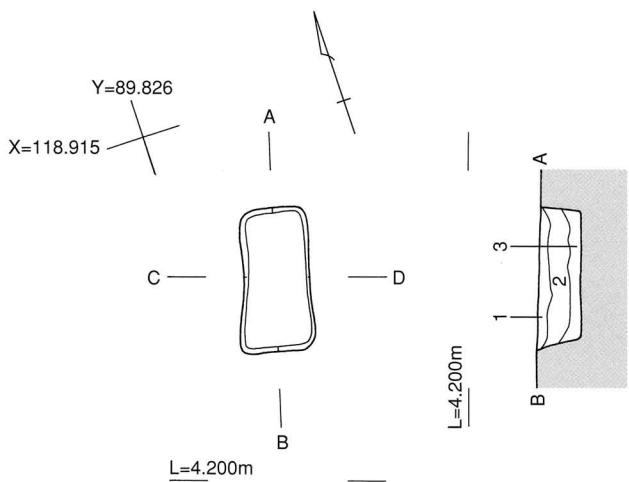
出土遺物・時期

134は須恵器の杯蓋である。時期は古墳時代後期である。



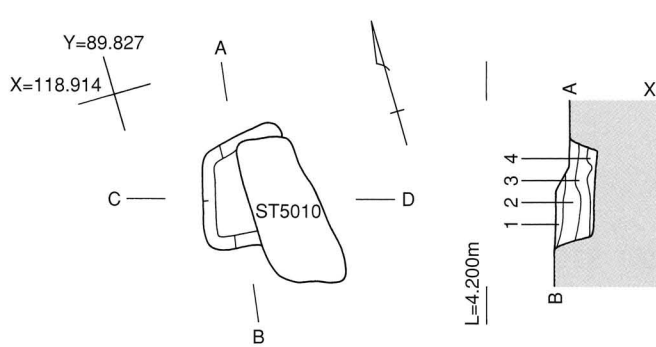
- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 2 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 3 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質土 |

ST5007



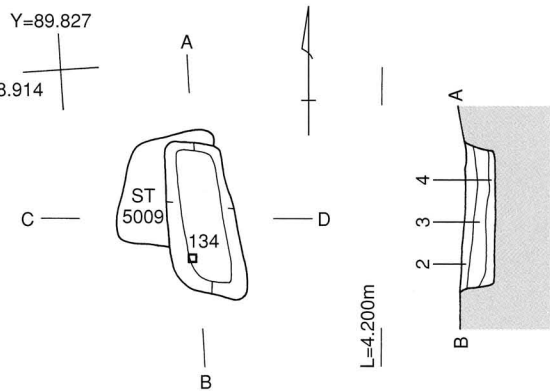
- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 2 | 2.5Y4/3 | オリーブ褐 | 粘質シルト |
| 3 | 2.5Y4/2 | 暗灰黄 | 粘質土 |

ST5008



- | | | | |
|---|---------|-----|-------|
| 1 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄 | 粘質シルト |
| 2 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 3 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄 | 粘質シルト |
| 4 | 7.5Y5/1 | 灰 | 粘質土 |

ST5009



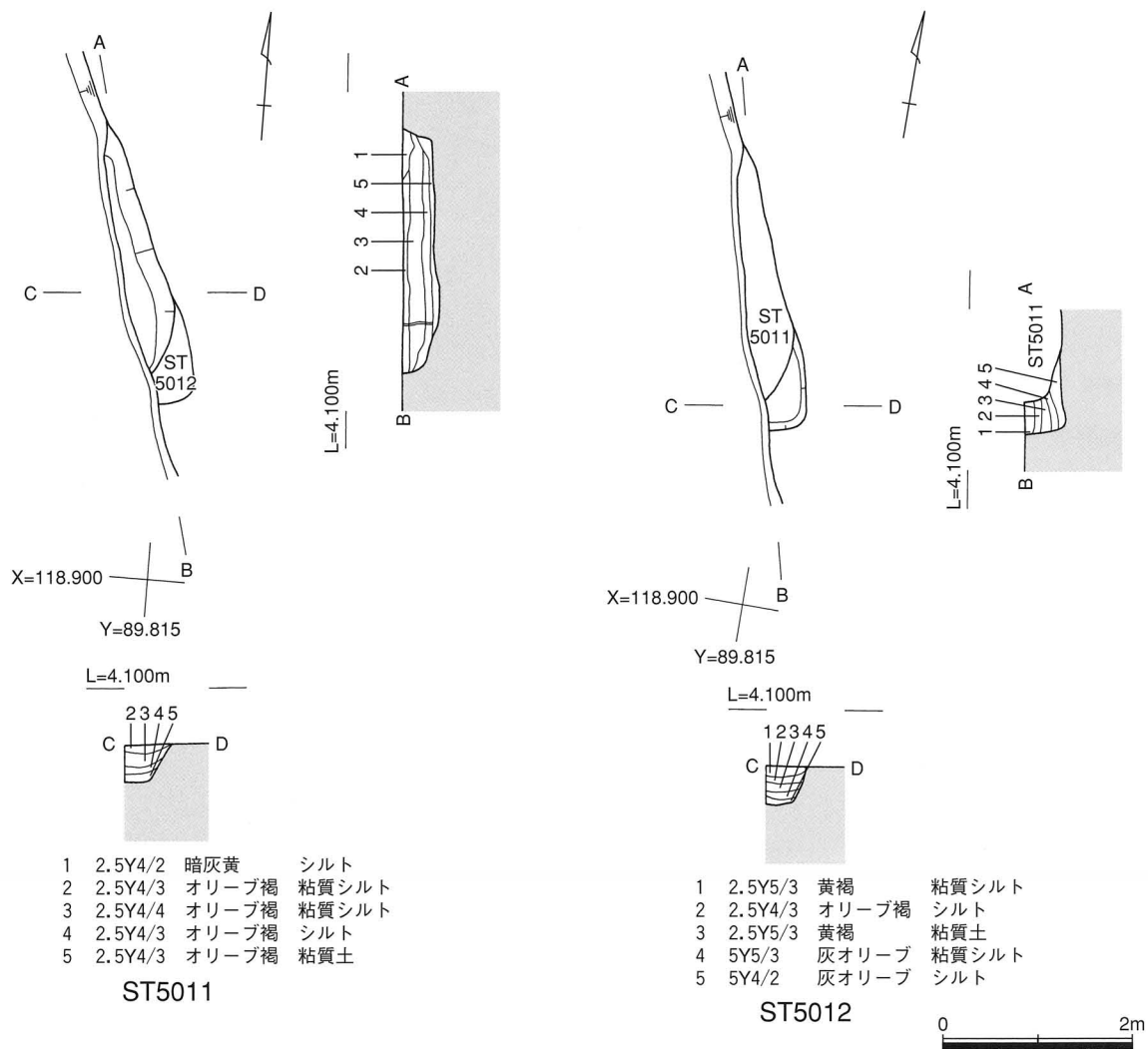
- | | | | |
|---|---------|-----|-------|
| 1 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄 | 粘質シルト |
| 2 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 粘質シルト |
| 3 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄 | 粘質シルト |
| 4 | 7.5Y5/1 | 灰 | 粘質土 |

ST5010



ST5010出土遺物

第113図 南区(2000年度2区) ST5007・ST5008・ST5009・ST5010
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5010出土遺物



第114図 南区（2000年度2区）ST5011・ST5012平・断面図

土壌墓（ST5011）（第114図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-3 に位置する。

規模と形状

検出長2.95m、最大幅0.50m、最大深度0.40m。遺構の大部分は調査区外にあり形状は不明である。

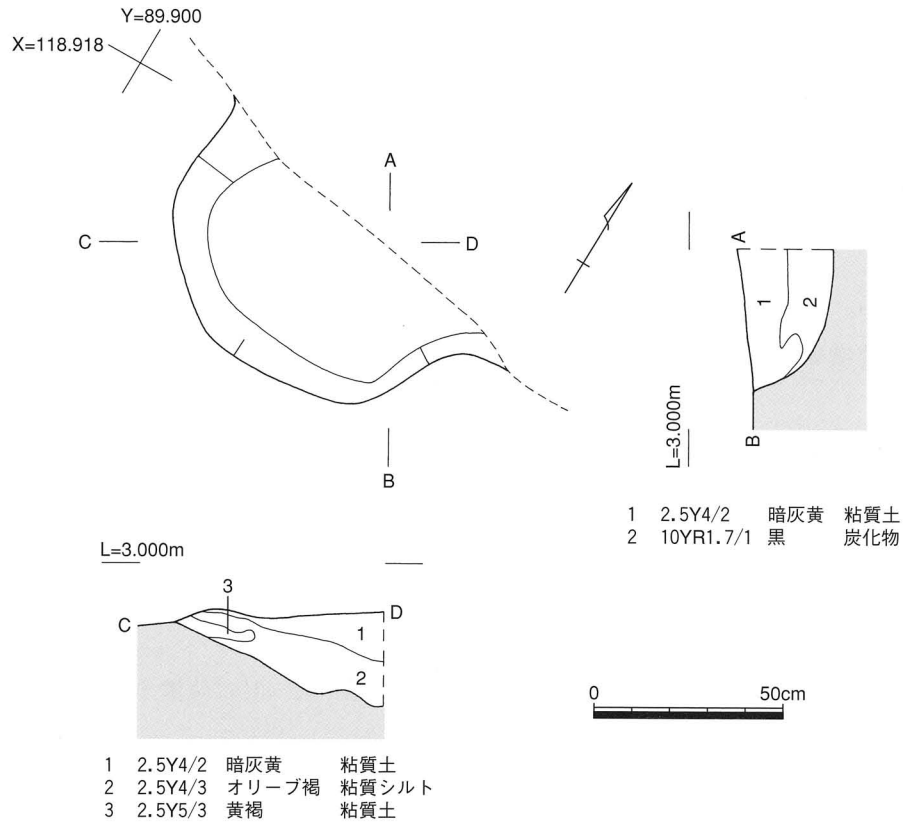
土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層は暗灰黄色を呈するシルト層である。2層、3層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。4層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。5層、6層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壌墓（ST5012）（第114図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド A-4 に位置する。



第115図 南区（2000年度2区）SX5001平・断面図

規模と形状

検出長1.05m、最大幅0.40m、最大深度0.43m。ST5011と同様に遺構の大部分は調査区外にあり、形状は不明である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。2層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質土層である。4層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

不明遺構（SX5001）（第115図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド D-3 に位置する。

規模と形状

検出長0.82m、最大幅0.49m、最大深度0.26m の半円形である。

土層

A-B は2層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。2層は黒色を呈する炭化物層である。

C-D は3層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。2層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質土層である。

(6) 2004年度3区 (第1遺構面)

溝 (SD1001) (第117、118図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A~G-15~18に位置する。

規模と形状

検出長8.75m、最大幅0.15m、最大深度0.03mの溝である。大部分はN-8°-Wを軸とした直線状を呈するが、北端は東へ屈曲しN-40°-Eを軸としている。

土層

A-B、C-Dは2層に分層した。1層、2層は灰色を呈するシルト層である。

E-F、G-H、I-Jは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD1002) (第118図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド G-17~19に位置する。

規模と形状

検出長9.30m、最大幅0.80m、最大深度0.25mの溝である。N-78°-Eを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層~3層は灰色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD1003) (第119図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A~D-16~19に位置する。

規模と形状

検出長8.95m、最大幅0.20m、最大深度0.10mの溝である。N-25°-Eを軸とした直線状を呈する

土層

A-Bは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-D、E-F、G-Hは灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD1004) (第120図)

位置

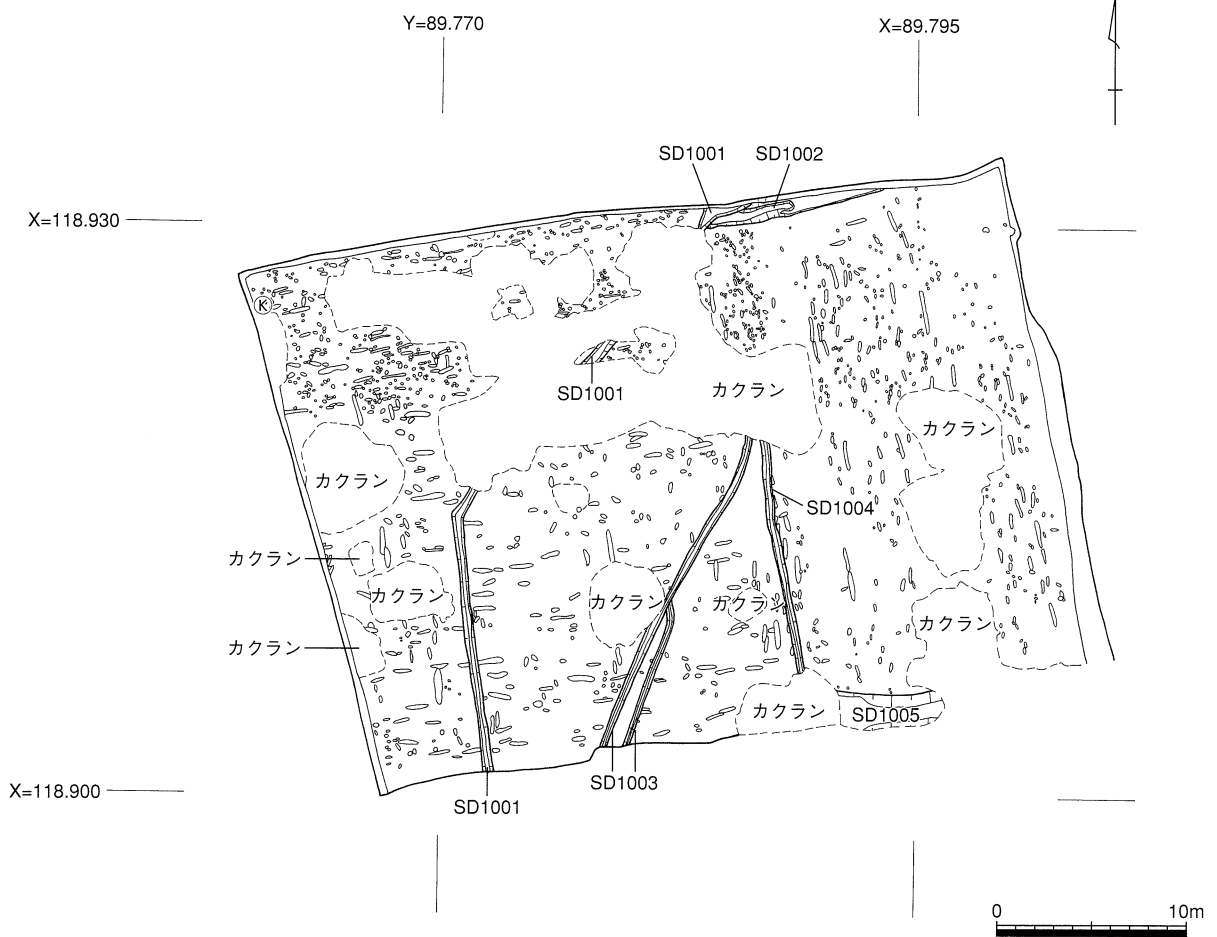
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B~D-18に位置する。

規模と形状

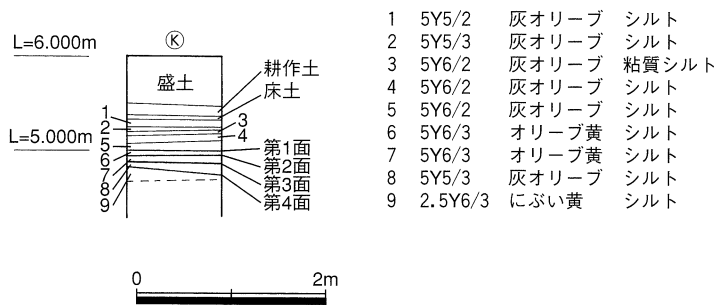
検出長12.50m、最大幅0.40m、最大深度0.02mの溝である。N-8°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

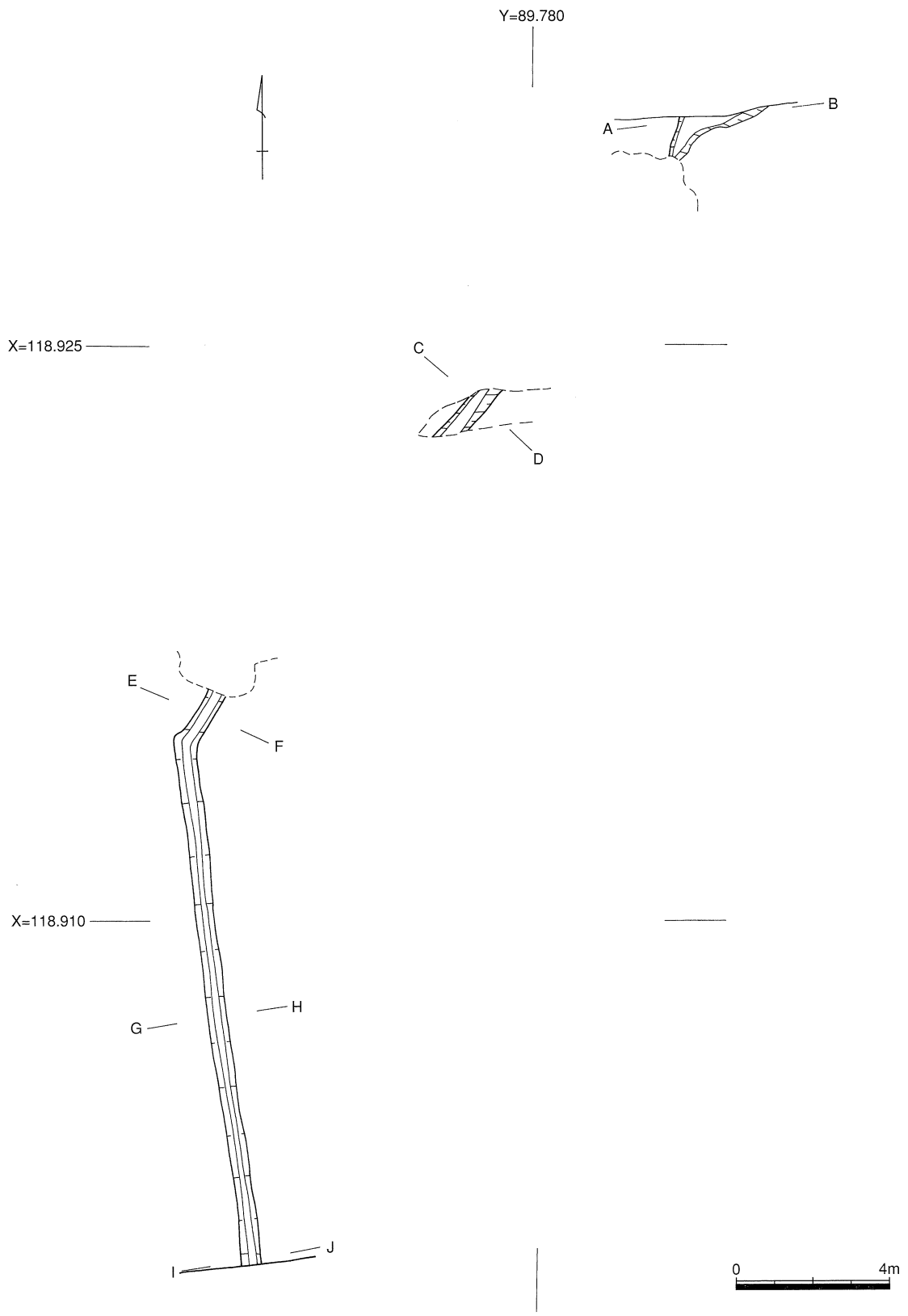
遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。



L=7.000m

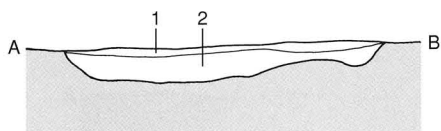


第116図 南区（2004年度3区）第1遺構面 調査区遺構平面図・土層柱状図

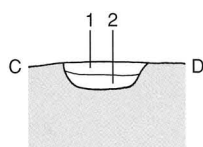


第117图 南区（2004年度3区）SD1001平面图

L=5.500m

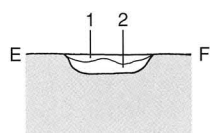


L=5.500m

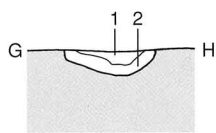


- 1 7.5Y5/1 灰 シルト
- 2 5Y5/1 灰 シルト

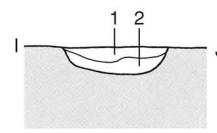
L=5.500m



L=5.500m



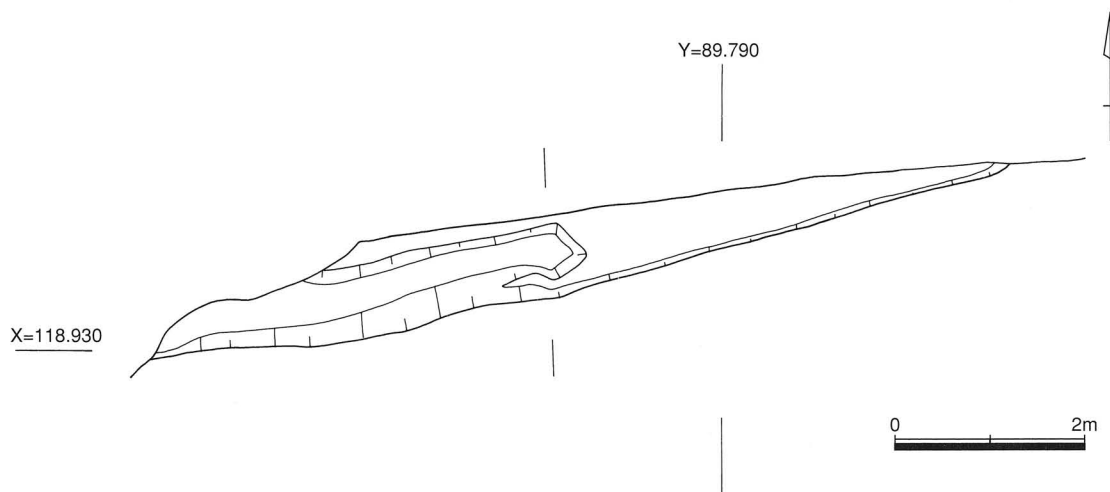
L=5.500m



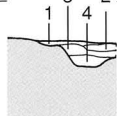
- 1 7.5Y5/2 灰オリーブ シルト
- 2 5Y5/2 灰オリーブ シルト



SD1001 断面図



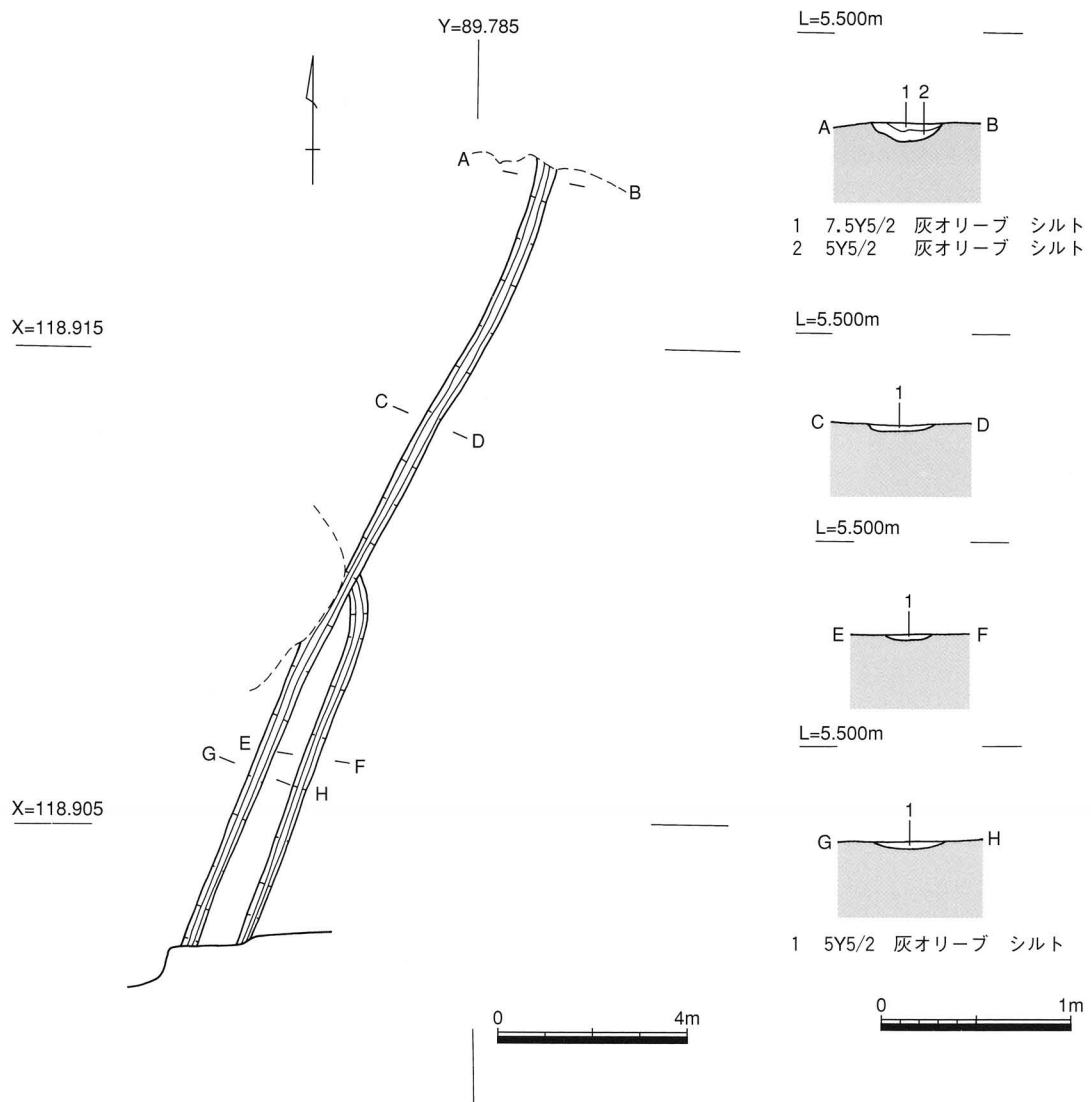
L=5.500m



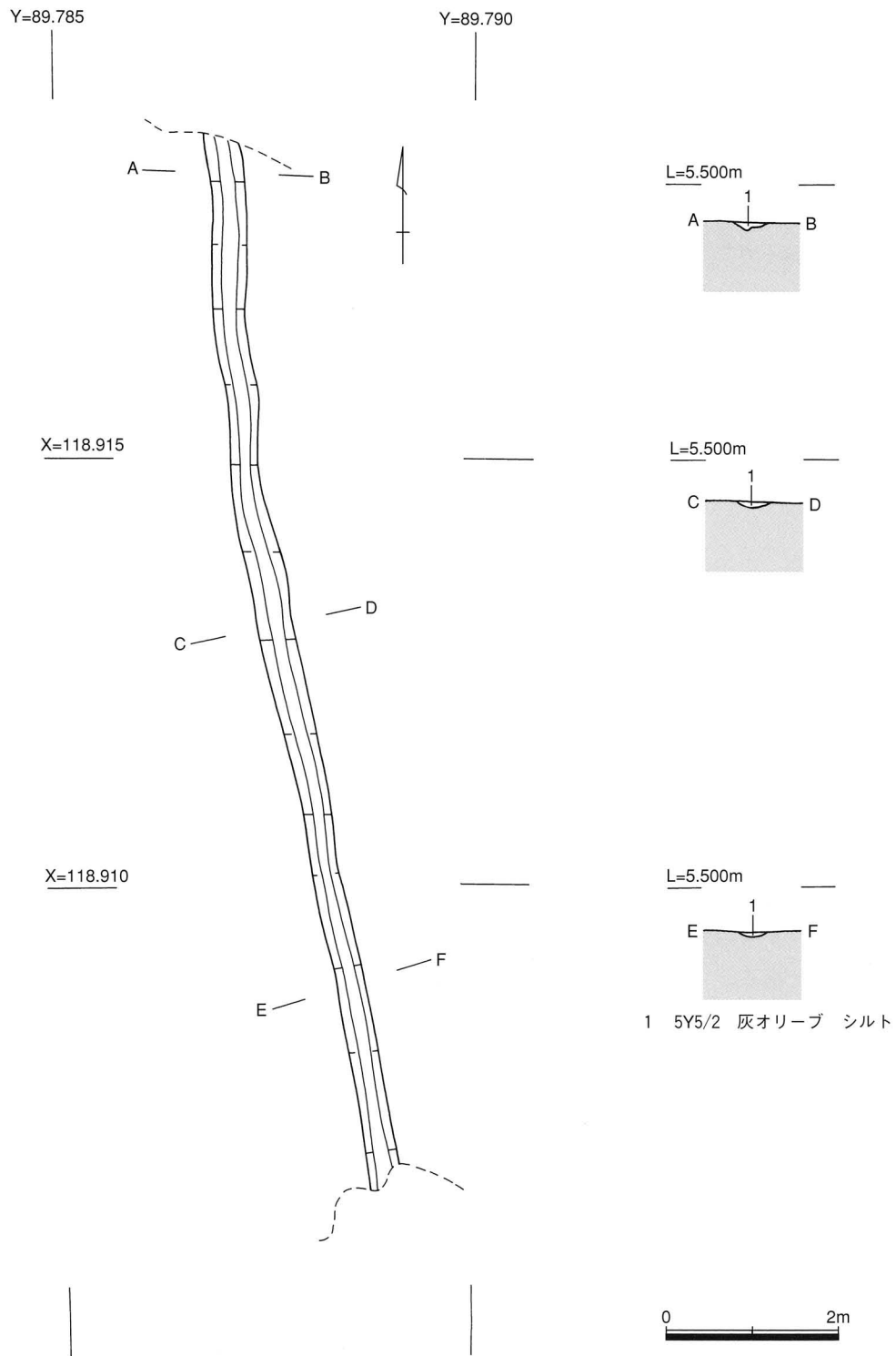
- 1 7.5Y5/1 灰 シルト
- 2 10Y5/1 灰 シルト
- 3 5Y5/1 灰 シルト
- 4 7.5Y5/2 灰オリーブ シルト

SD1002

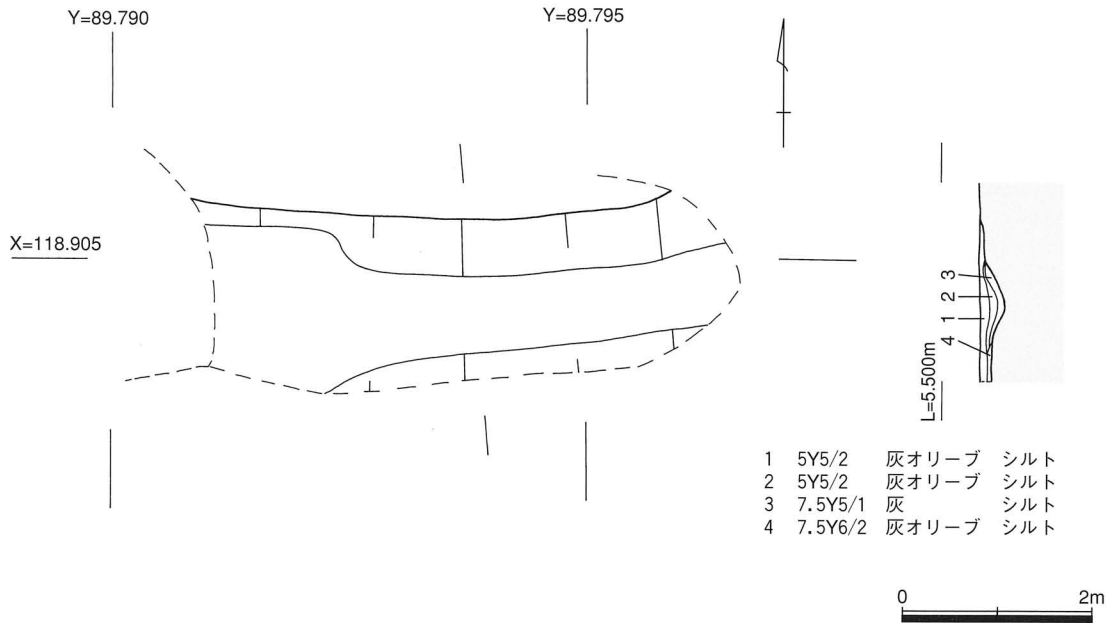
第118図 南区 (2004年度 3区) SD1001断面図・SD1002平・断面図



第119図 南区 (2004年度 3区) SD1003平・断面図



第120図 南区（2004年度3区）SD1004平・断面図



第121図 南区（2004年度3区）SD1005平・断面図

溝（SD1005）（第121図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A、B-19、20に位置する。

規模と形状

検出長5.50m、最大幅1.70m、最大深度0.25mの溝である。現代の攪乱によって形状は不明であるが、残存部はN-86°-Eを軸としている。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層は灰色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

水田跡（第116図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、Ⅳ、小グリッド A~G-13~1に位置する。

規模と形状

調査区全域に水田面が形成がされているが、区画は明確はない。SD1001と1004は約17mの間隔で南北に平行にのびる。ともにN-8°-Wの方向で掘られているが、深さ20cm未満の浅い溝である。SD1004より東側は耕作痕が南北方向を示すのに対し、西側は東西方向を指す傾向が見られるため、SD1004は区画溝の可能性を残す。

(7) 2004年度3区 (第2遺構面)

溝 (SD2001) (第123図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド E-13~15に位置する。

規模と形状

検出長10.40m、最大幅0.60m、最大深度0.10mの溝である。N-82°-Eを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

C-Dは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2002) (第123図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド E-13に位置する。

規模と形状

検出長11.36m、最大幅0.92m、最大深度0.20mの溝である。現代の攪乱によって大部分は不明であるが、残存部はN-85°-Eを軸とした直線状を呈し東端は南へ湾曲していると推測される。

土層

A-Bは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは3層に分層した。1層~3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2003) (第124図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド E-13に位置する。

規模と形状

検出長29.60m、最大幅1.36m、最大深度0.48mの溝である。N-9°-Wを軸として、直線状を呈する。北側で攪乱を受けているが、西へ向かって屈曲していると推定される。

土層

A-Bは4層に分層した。基本的には、全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

E-Fは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

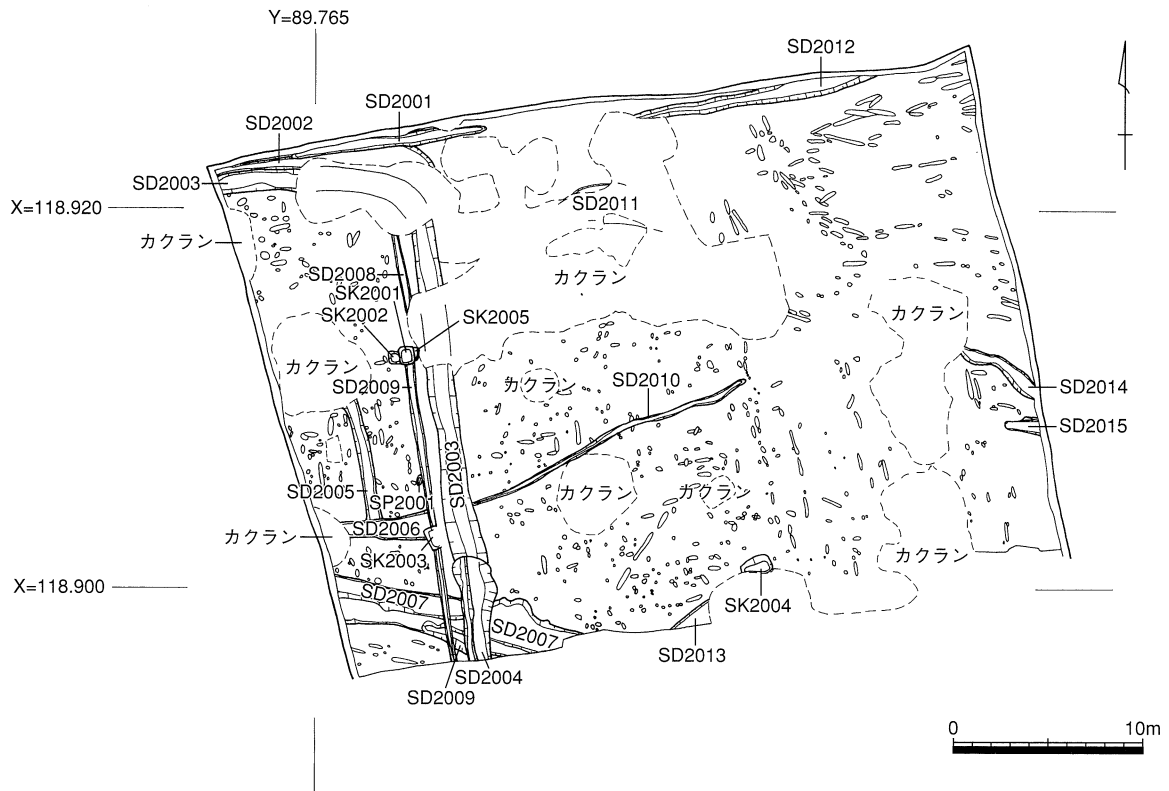
G-Hは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

I-Jは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2004) (第125図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -IV、小グリッド C-1に位置する。



第122図 南区（2004年度3区）第2遺構面 調査区遺構平面図

規模と形状

検出長5.65m、最大幅2.00m、最大深度0.50mの溝である。SD2003とほぼ同位置であるが、 $N-6^{\circ}-W$ を軸としている。

土層

A-Bは4層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰色を呈するシルト層である。

C-Dは3層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD2005）（第125図）

位置

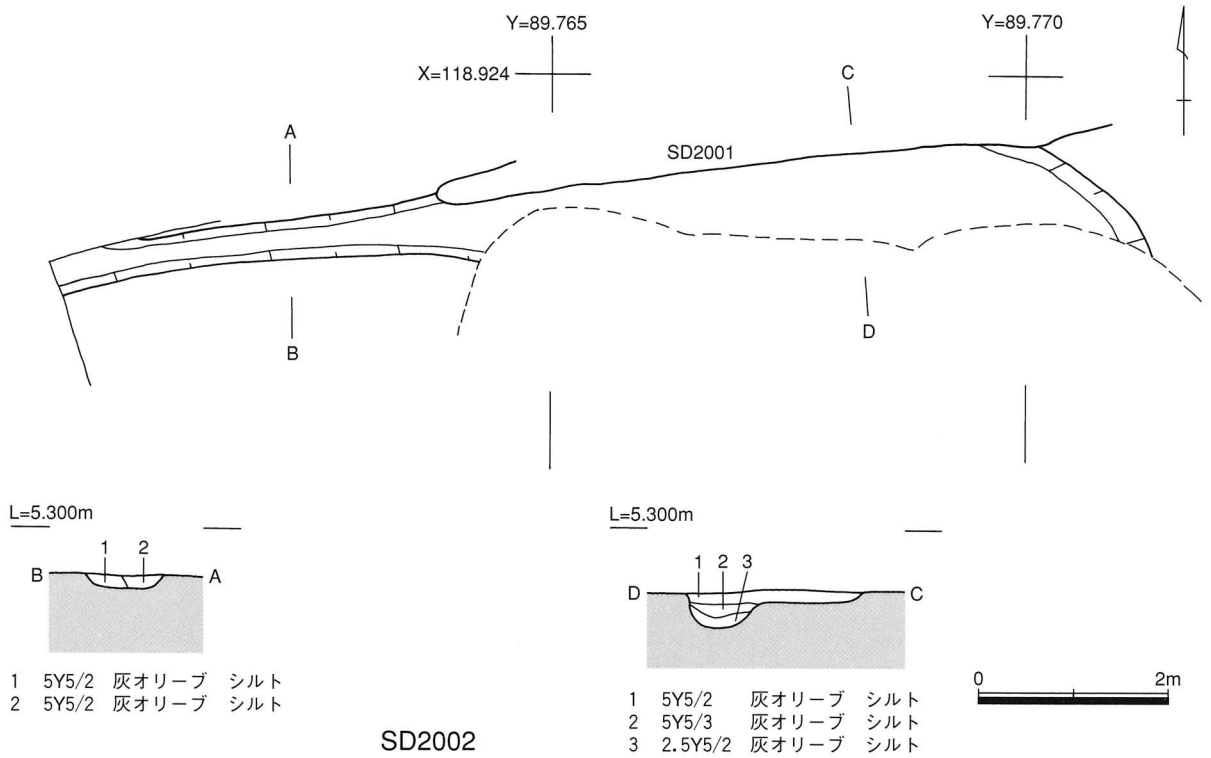
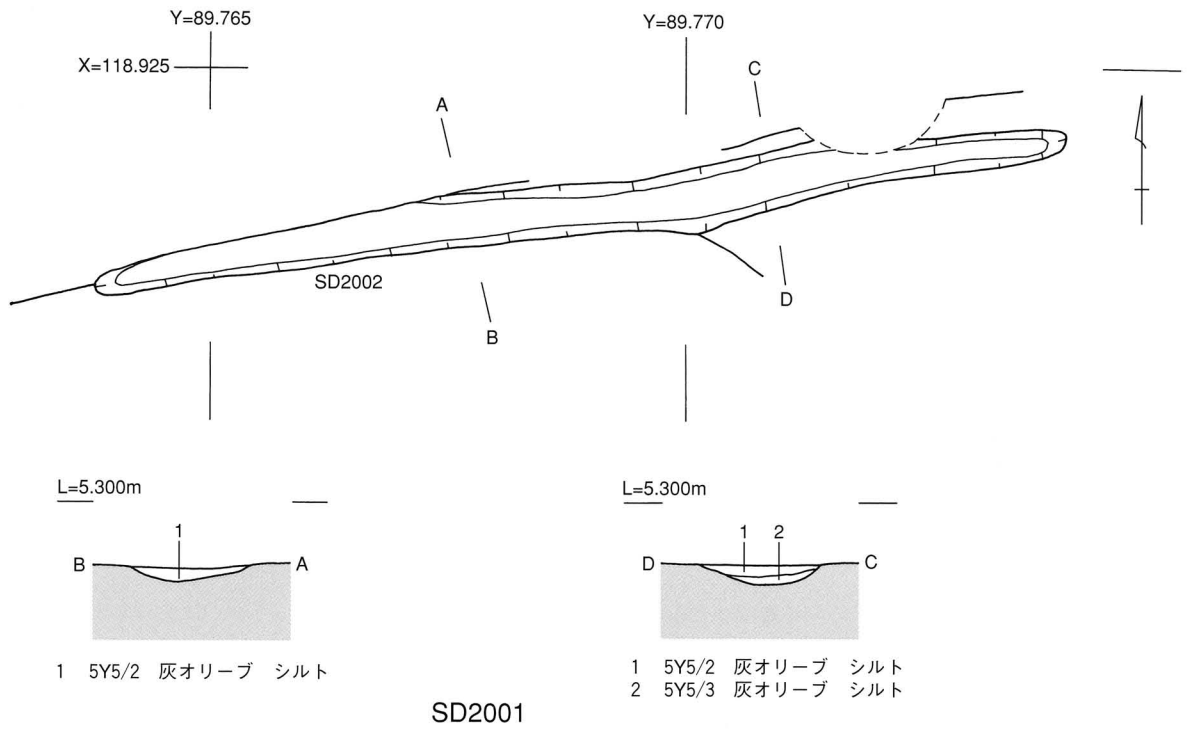
大グリッドLoc.F-1、中グリッド ϵ -Ⅲ、小グリッドA～C-14に位置する。

規模と形状

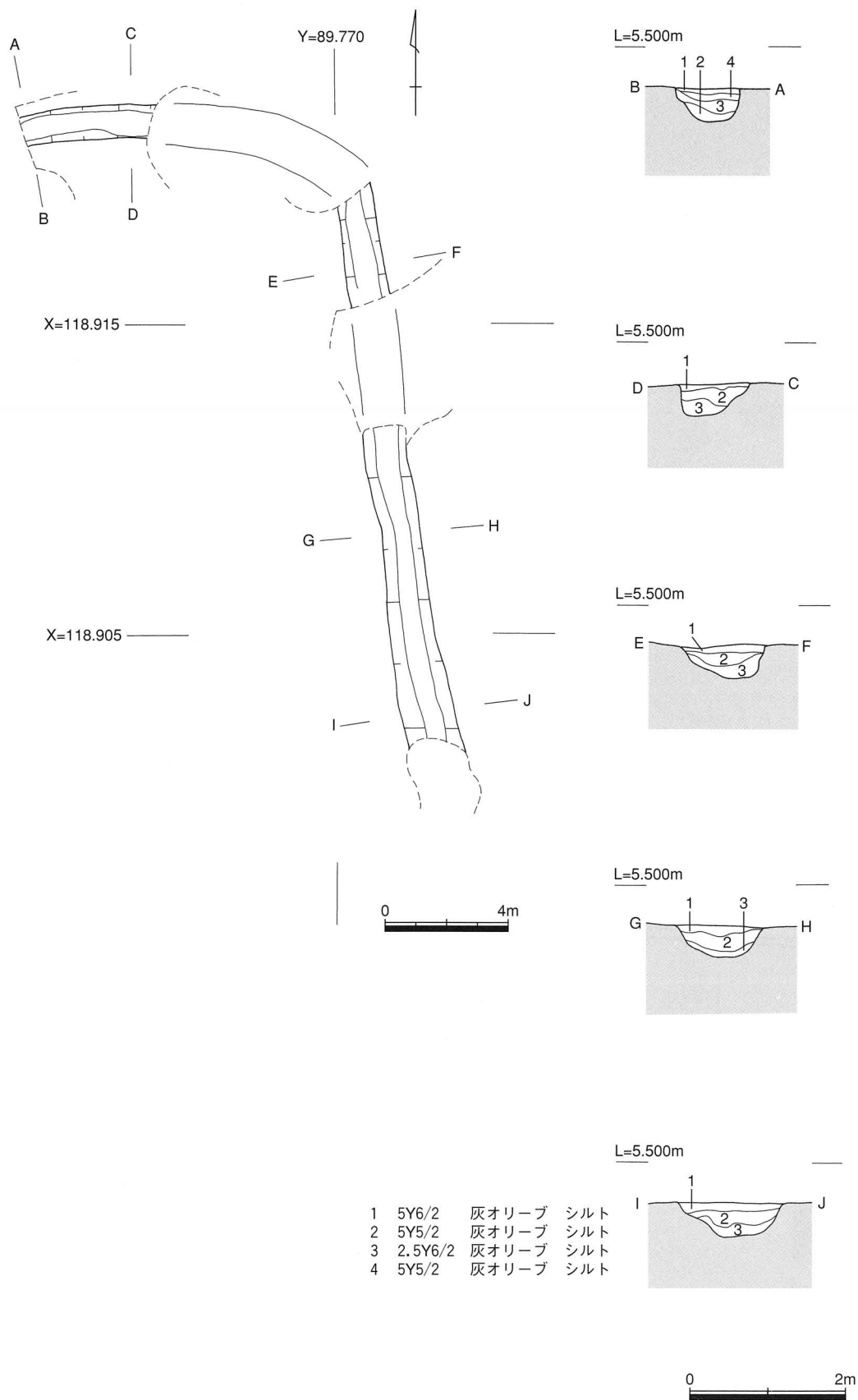
検出長6.30m、最大幅0.75m、最大深度0.06mの溝である。 $N-11^{\circ}-W$ を軸として、直線状を呈する。

土層

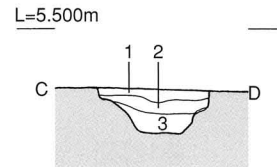
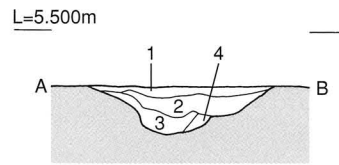
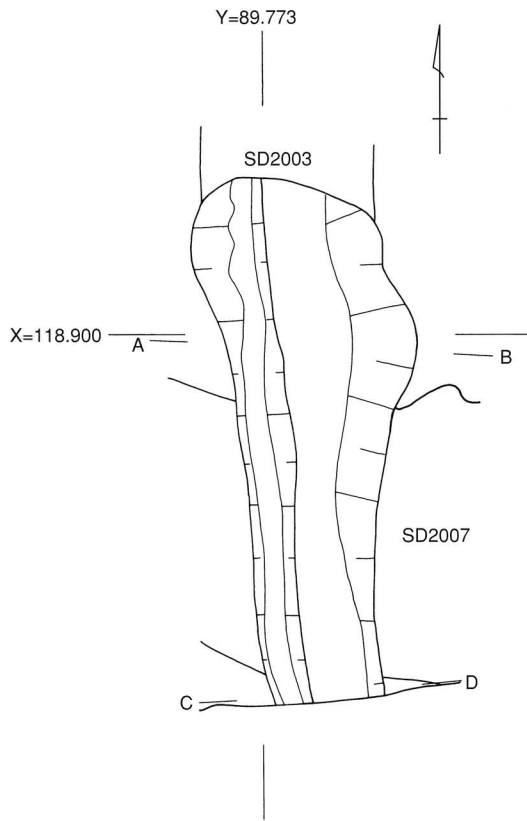
遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。



第123図 南区（2004年度3区）SD2001・SD2002平・断面図



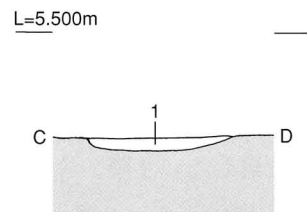
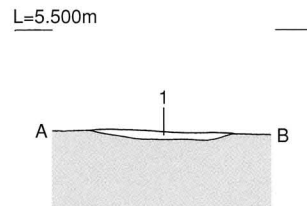
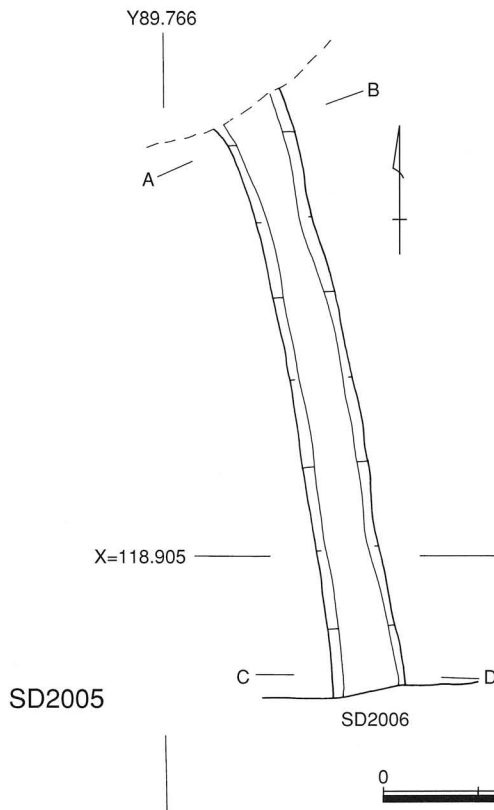
第124図 南区（2004年度3区）SD2003平・断面図



- | | | | |
|---|---------|-------|-----|
| 1 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |
| 2 | 7.5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |
| 3 | 5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |
| 4 | 5Y5/1 | 灰 | シルト |



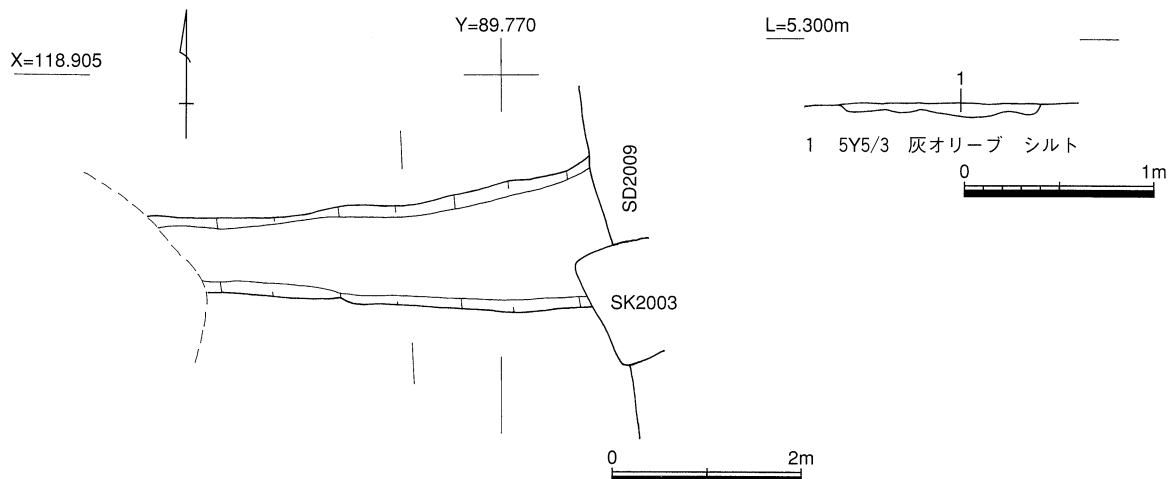
SD2004



- | | | | |
|---|---------|-------|-----|
| 1 | 7.5Y5/2 | 灰オリーブ | シルト |
|---|---------|-------|-----|



第125図 南区（2004年度3区）SD2004・SD2005平・断面図



第126図 南区（2004年度3区）SD2006平・断面図

溝（SD2006）（第126図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-14、15に位置する。

規模と形状

検出長4.80m、最大幅1.45m、最大深度0.08mの溝である。N-86°-Eを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝（SD2007）（第127図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ-Ⅲ、小グリッド T-15、16に位置する。

規模と形状

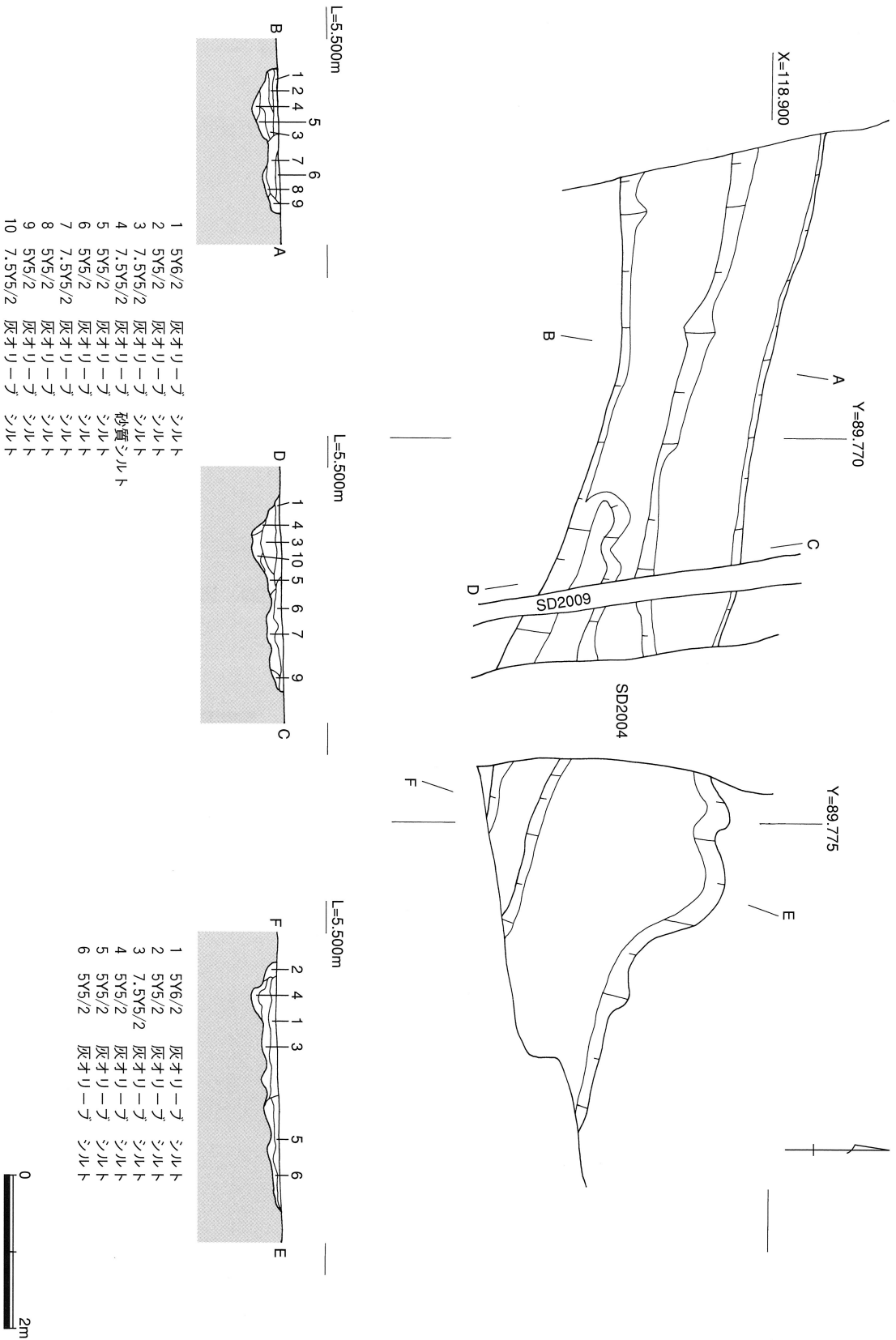
検出長13.40m、最大幅3.28m、最大深度0.35mの幅の溝である。N-74°-Wを軸として直線状を呈する。

土層

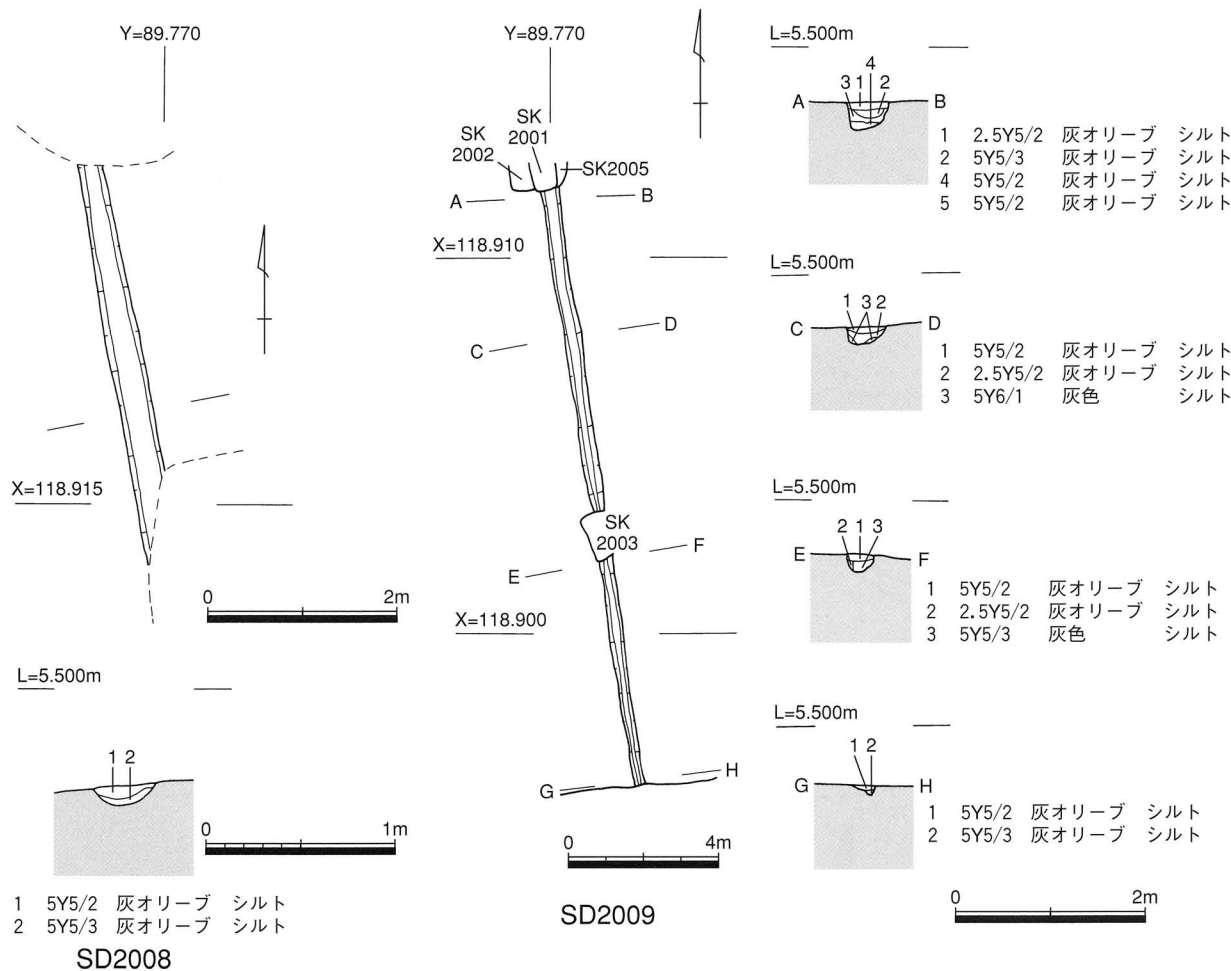
A-Bは9層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。5層～9層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは8層に分層した。1層、3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。5層～7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。9層、10層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

E-Fは6層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層～7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第127図 南区 (2004年度3区) SD2007平・断面図



第128図 南区（2004年度3区）SD2008・SD2009平・断面図

溝（SD2008）（第128図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-14に位置する。

規模と形状

検出長4.25m、最大幅0.35m、最大深度0.12mの溝である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD2009）（第128図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ、ε-Ⅲ、小グリッド T~E-14、15に位置する。

規模と形状

検出長16.00m、最大幅0.48m、最大深度0.32mの溝である。N-9°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは4層に分層した。1層~4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-D、E-F、G-Hは3層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層

は灰色を呈するシルト層である。

溝 (SD2010) (第129図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ 、 ϵ -III、小グリッド T~C-15~18に位置する。

規模と形状

検出長15.80m、最大幅0.40m、最大深度0.12m の溝である。N-66°-E を軸とした直線状を呈する。

土層

A-B、C-D は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

E-F、G-H は2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2011) (第129図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド D、E-16、17に位置する。

規模と形状

検出長2.50m、最大幅1.76m、最大深度0.08m で大部分が攪乱を受けており、形状は不明である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD2012) (第130図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド F-17~19に位置する。

規模と形状

検出長13.20m、最大幅0.96m、最大深度0.16m の溝である。N-79°-E を軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。基本的には、全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2013) (第130図)

位置

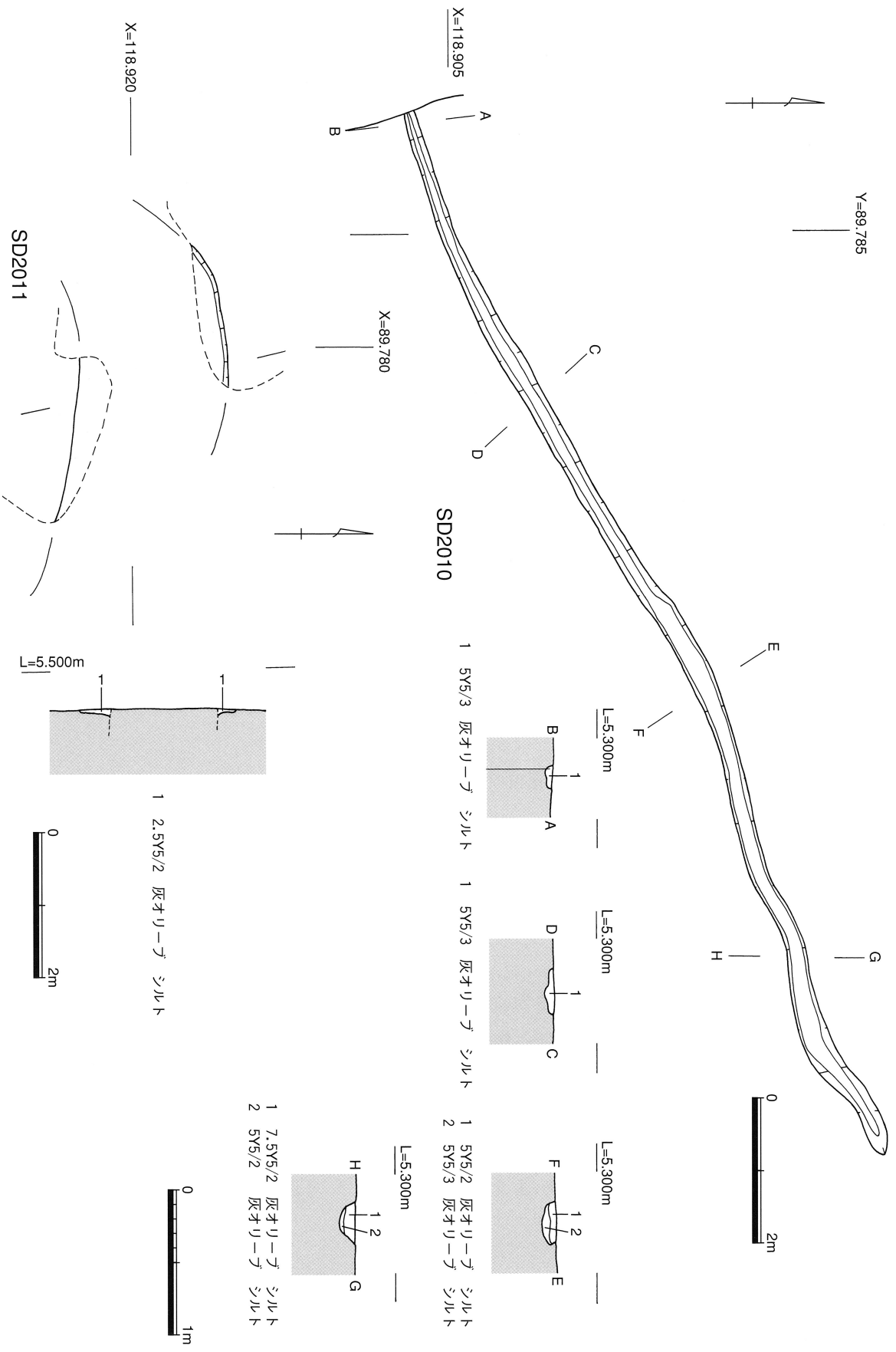
大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ -III、小グリッド T-17、18に位置する。

規模と形状

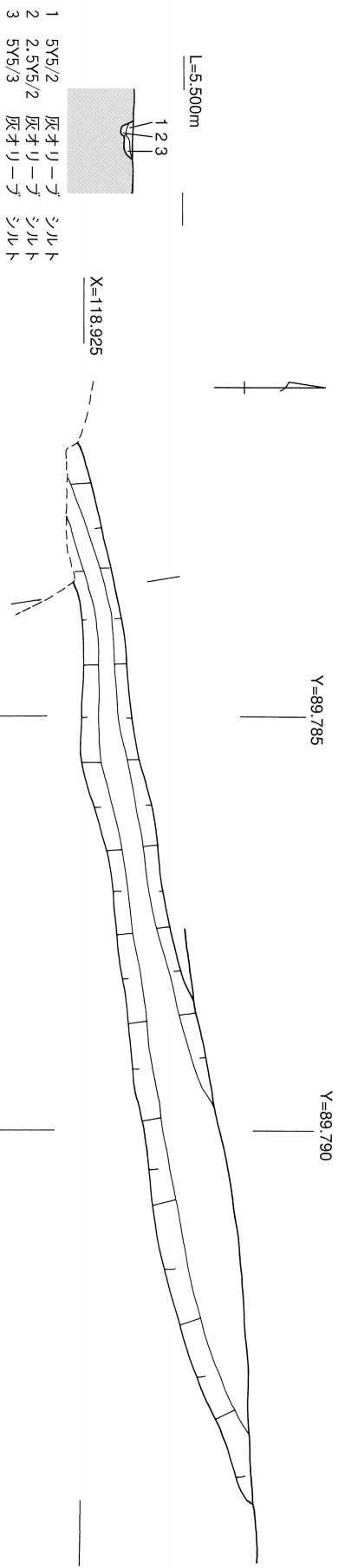
検出長2.64m、最大幅1.20m、最大深度0.16m であるが、大部分が調査区外にあたるため、検出された平面形は三角形を呈する。

土層

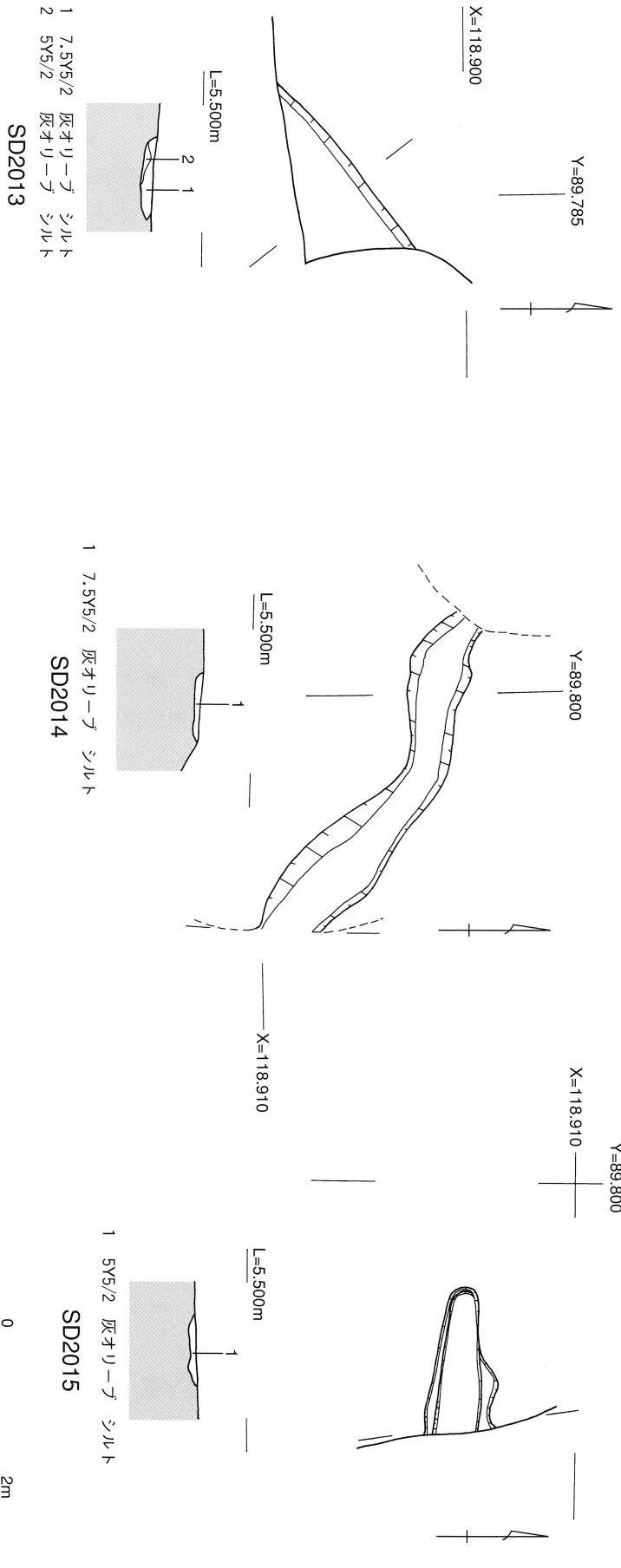
遺構の堆積土は分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第129図 南区 (2004年度3区) SD2010・SD2011平・断面図



SD1012断面図



SD2012断面図

第130図 南区 (2004年度3区) SD2012・SD2013・SD2014・SD2015平・断面図

溝 (SD2014) (第130図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド C-1 に位置する。

規模と形状

検出長4.72m、最大幅0.96m、最大深度0.08m の溝で、N-60°-W を軸に蛇行している。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD2015) (第130図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-IV、小グリッド B-1 に位置する。

規模と形状

検出長1.75m、最大幅0.85m、最大深度0.12m の溝の西端にあたる。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

水田跡 (第122図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、IV、小グリッド A~G-13~1 に位置する。

規模と形状

調査区全域に水田面が形成がされている。SD2003と2009は、N-9°-W の方向で南北に延び、区画溝の可能性があるが、耕作痕の方向は一定していない。

土坑 (SK2001) (第131図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド C-14、15 に位置する。

規模と形状

検出長0.95m、最大幅0.73m、最大深度0.28m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑 (SK2002) (第131図)

位置

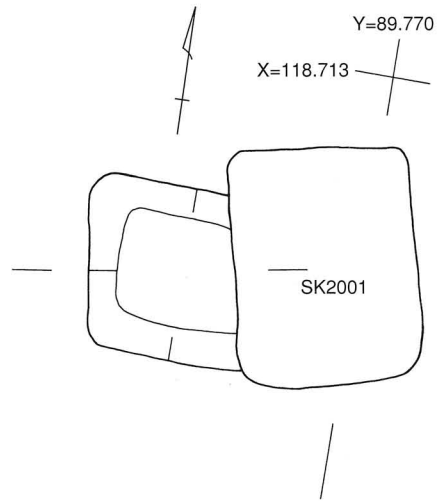
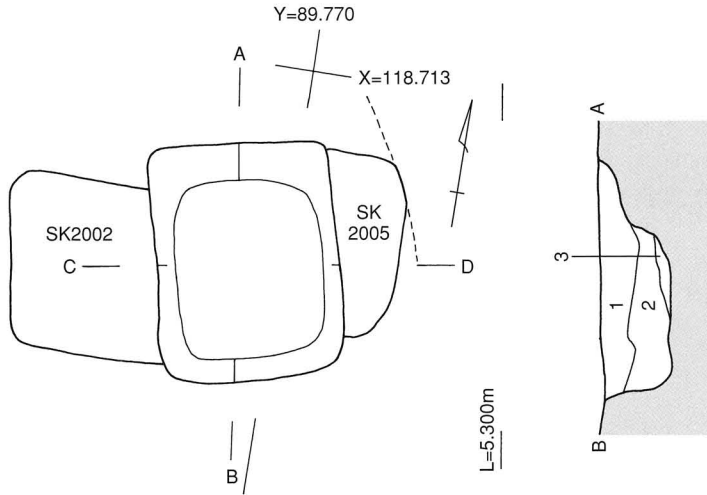
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド C-14 に位置する。

規模と形状

検出長0.70m、最大幅0.56m、最大深度0.26m の長方形である。

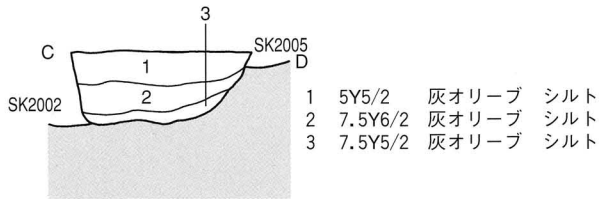
土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



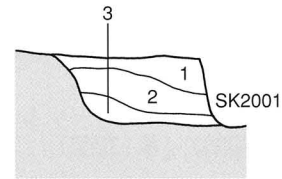
L=5.300m

L=5.300m



SK2001

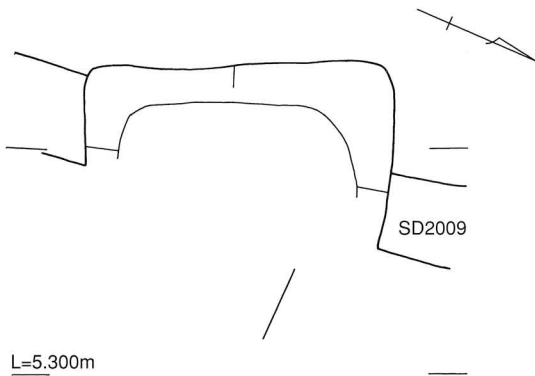
- | | | | |
|---|---------|--------|-----|
| 1 | 5Y5/2 | 灰オーリーブ | シルト |
| 2 | 7.5Y6/2 | 灰オーリーブ | シルト |
| 3 | 7.5Y5/2 | 灰オーリーブ | シルト |



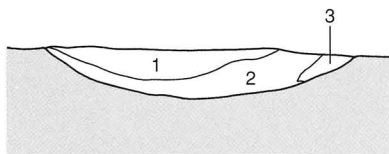
SK2002

- | | | | |
|---|---------|--------|-----|
| 1 | 5Y5/2 | 灰オーリーブ | シルト |
| 2 | 7.5Y6/2 | 灰オーリーブ | シルト |
| 3 | 7.5Y5/2 | 灰オーリーブ | シルト |

X=118.903
Y=89.770



L=5.300m



SK2003

- | | | | |
|---|-------|--------|-----|
| 1 | 5Y5/2 | 灰オーリーブ | シルト |
| 2 | 5Y6/2 | 灰オーリーブ | シルト |
| 3 | 5Y5/3 | 灰オーリーブ | シルト |



第131図 南区 (2004年度3区) SK2001・SK2002・SK2003平・断面図

土坑 (SK2003) (第131図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ -III、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長1.22m、最大幅0.39m、最大深度0.20mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑 (SK2004) (第132図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ -III、小グリッド A-18に位置する。

規模と形状

検出長1.62m、最大幅0.85m、最大深度0.24mの楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑 (SK2005) (第132図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド C-15に位置する。

規模と形状

検出長0.65m、最大幅0.19m、最大深度0.05mの半楕円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

柱穴 (SP2001) (第133図)

位置

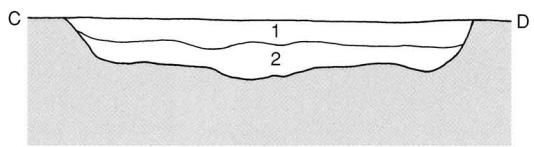
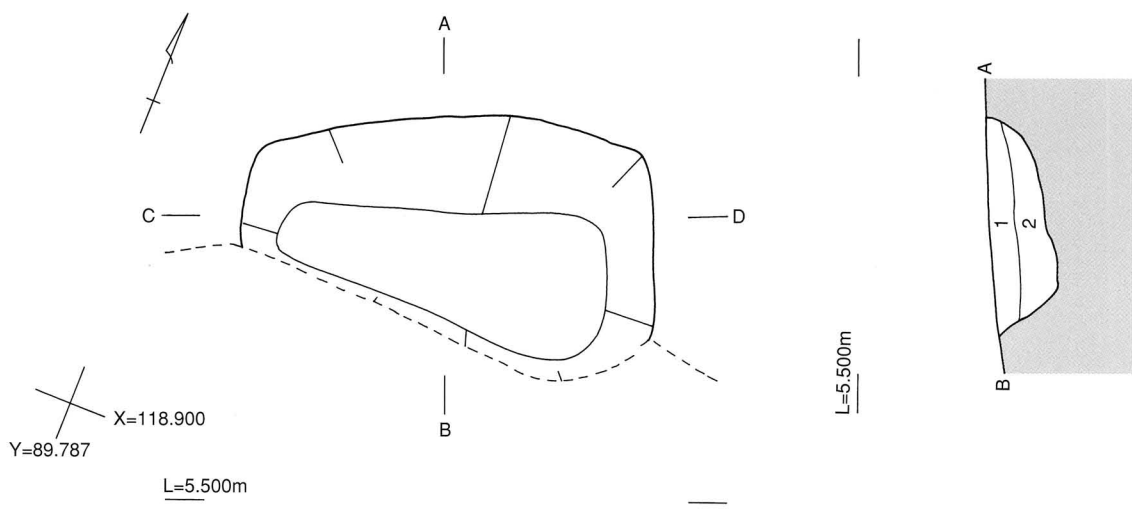
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ϵ -III、小グリッド B-15に位置する。

規模と形状

検出長0.52m、最大幅0.33m、最大深度0.08mの楕円形である。

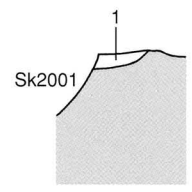
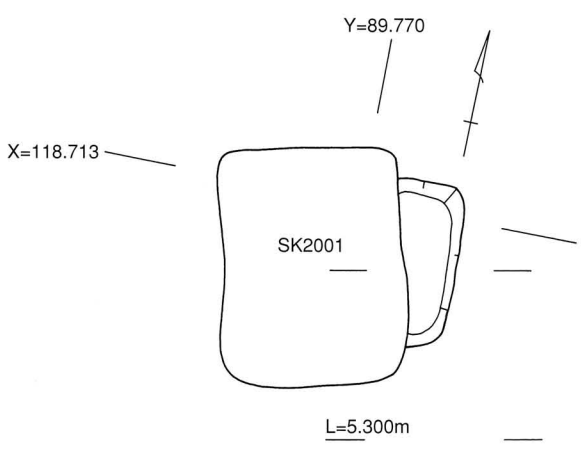
土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



- 1 7.5Y5/2 灰オリーブ シルト
- 2 5Y5/2 灰オリーブ シルト

SK2004



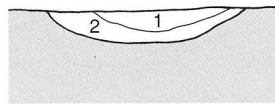
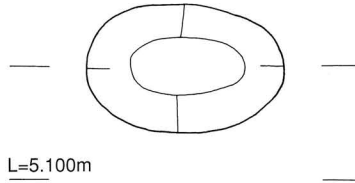
- 1 7.5Y5/2 灰オリーブ シルト

SK2005



第132図 南区（2004年度3区）SK2004・SK2005平・断面図

X=118.905
Y=89.770



- | | | | | | |
|---|---------|--------|-----|---|------|
| 1 | 5Y5/2 | 灰オーリーブ | シルト | 0 | 50cm |
| 2 | 7.5Y5/2 | 灰オーリーブ | シルト | | |

第133図 南区 (2004年度 3区) SP2001平・断面図

(8) 2004年度3区 (第3遺構面)

溝 (SD3001) (第135図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B、C-14に位置する。

規模と形状

検出長5.40m、最大幅0.35m、最大深度0.10mの溝である。N-4.5°-Eを軸とした直線状を呈している。

土層

遺構の堆積土は黄褐色を呈する粘質シルトによる単一層である。

溝 (SD3002) (第135図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-13~15に位置する。

規模と形状

検出長6.95m、最大幅0.42m、最大深度0.09mの溝である。N-73°-Wを軸とし、ほぼ直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は黄褐色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD3003) (第136図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B~F-13、14に位置する。

規模と形状

検出長15.78m、最大幅0.65m、最大深度0.08mの溝である。N-10°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD3004) (第137図)

位置

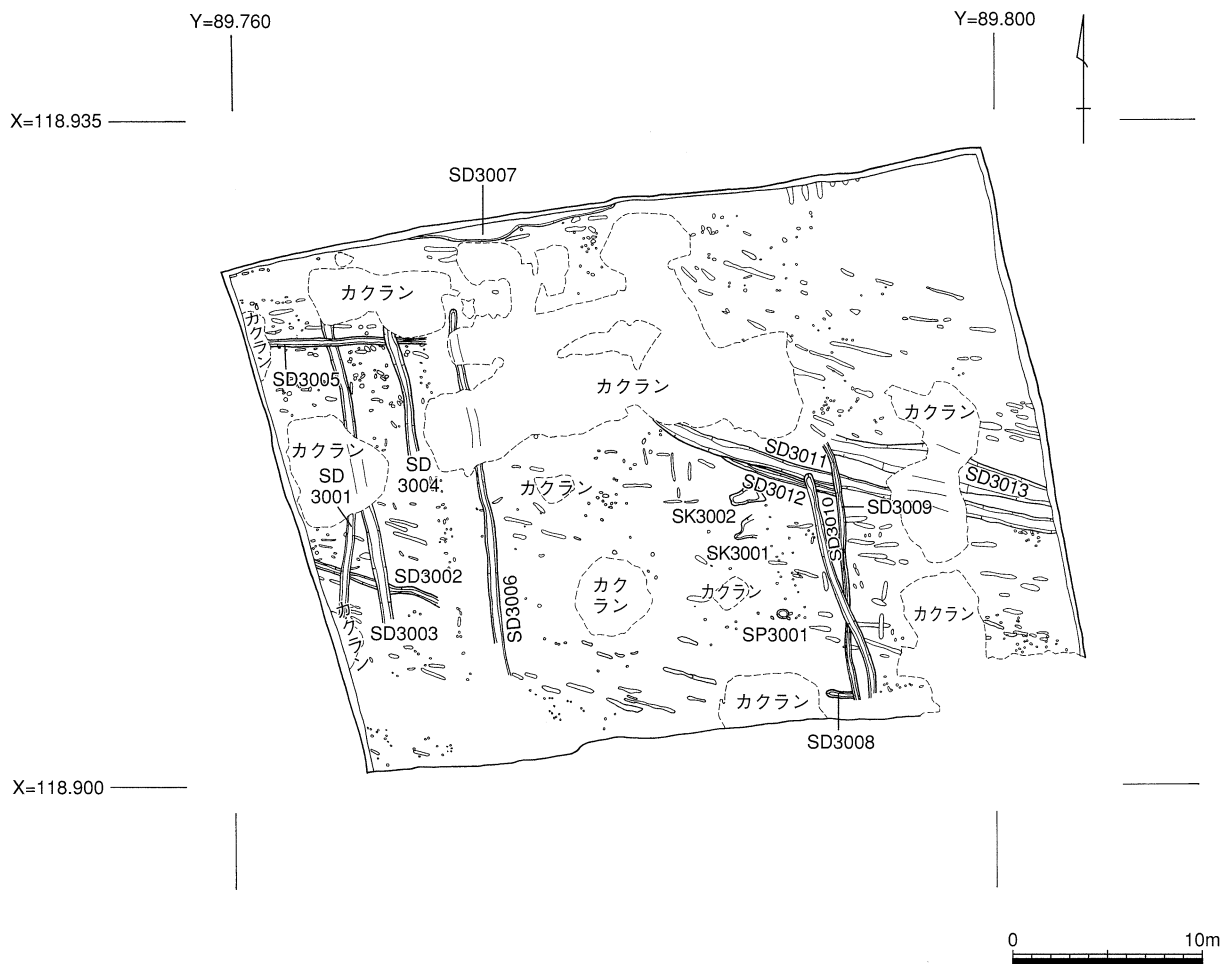
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D、E-14に位置する。

規模と形状

検出長6.45m、最大幅0.50m、最大深度0.20mの溝である。N-11°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。



第134図 南区（2004年度3区）第3遺構面 調査区遺構平面図

溝（SD3005）（第137図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド E-13、14に位置する。

規模と形状

検出長8.27m、最大幅0.40m、最大深度0.05m の溝である。正方位の東西を軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

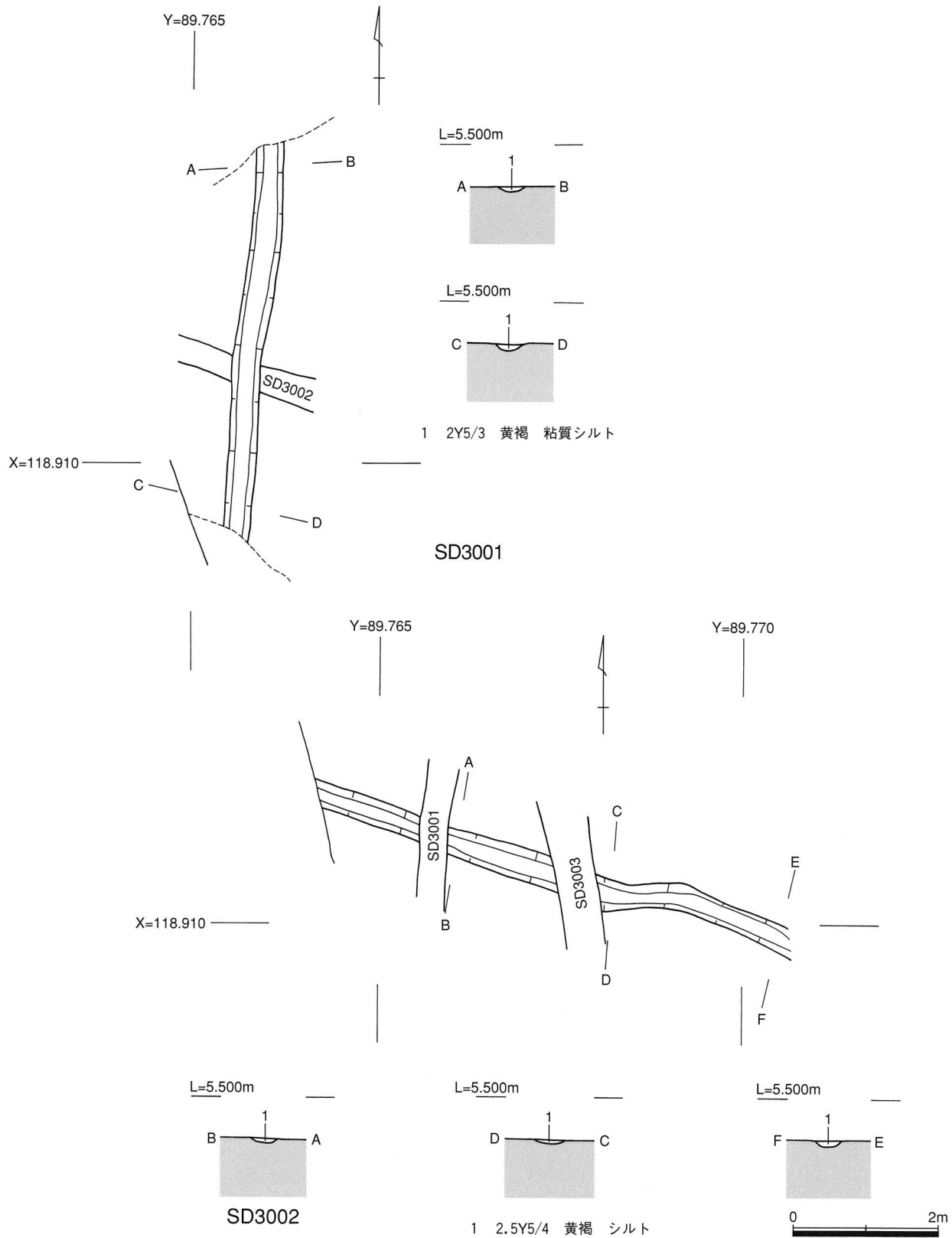
溝（SD3006）（第138図）

位置

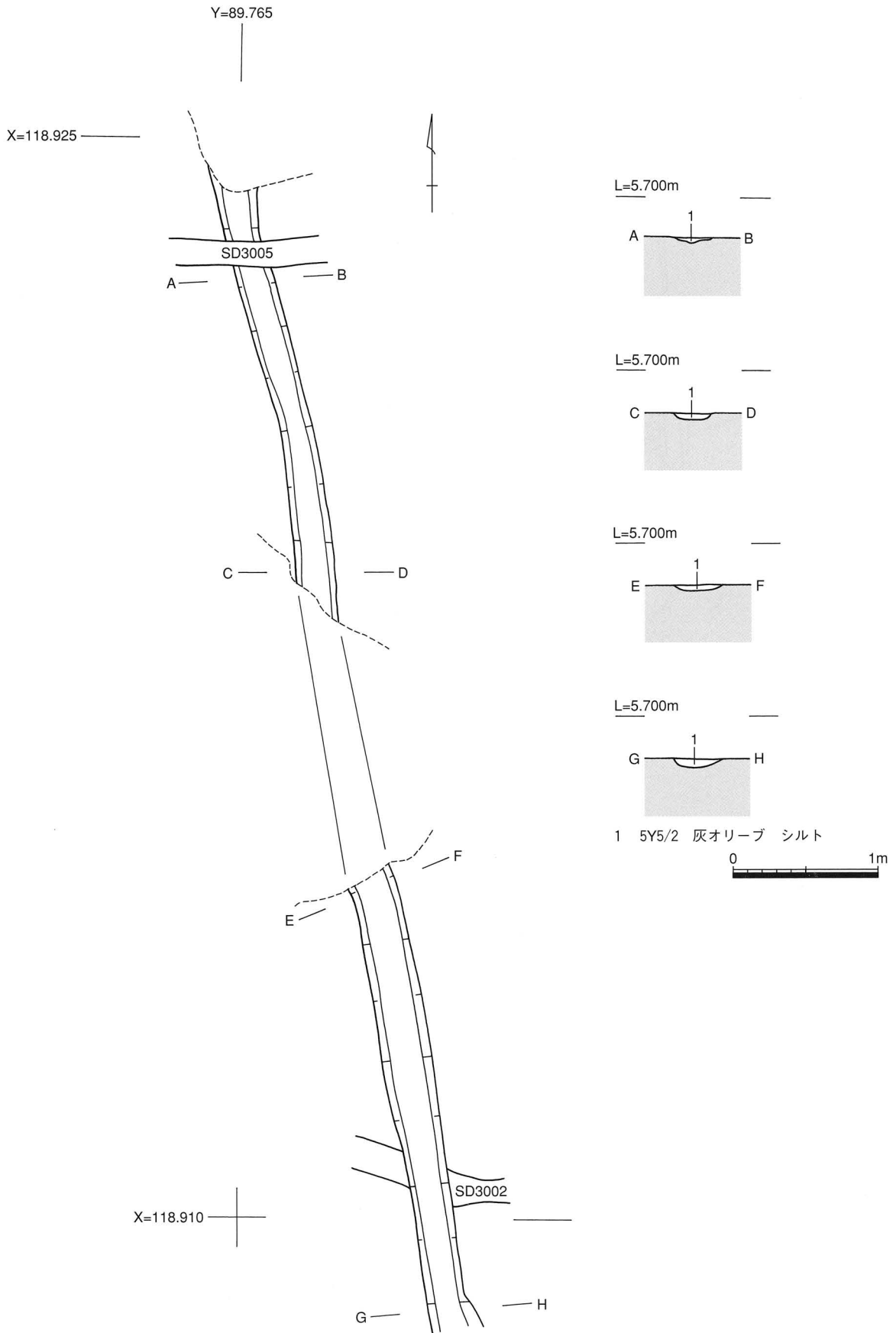
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B~F-15に位置する。

規模と形状

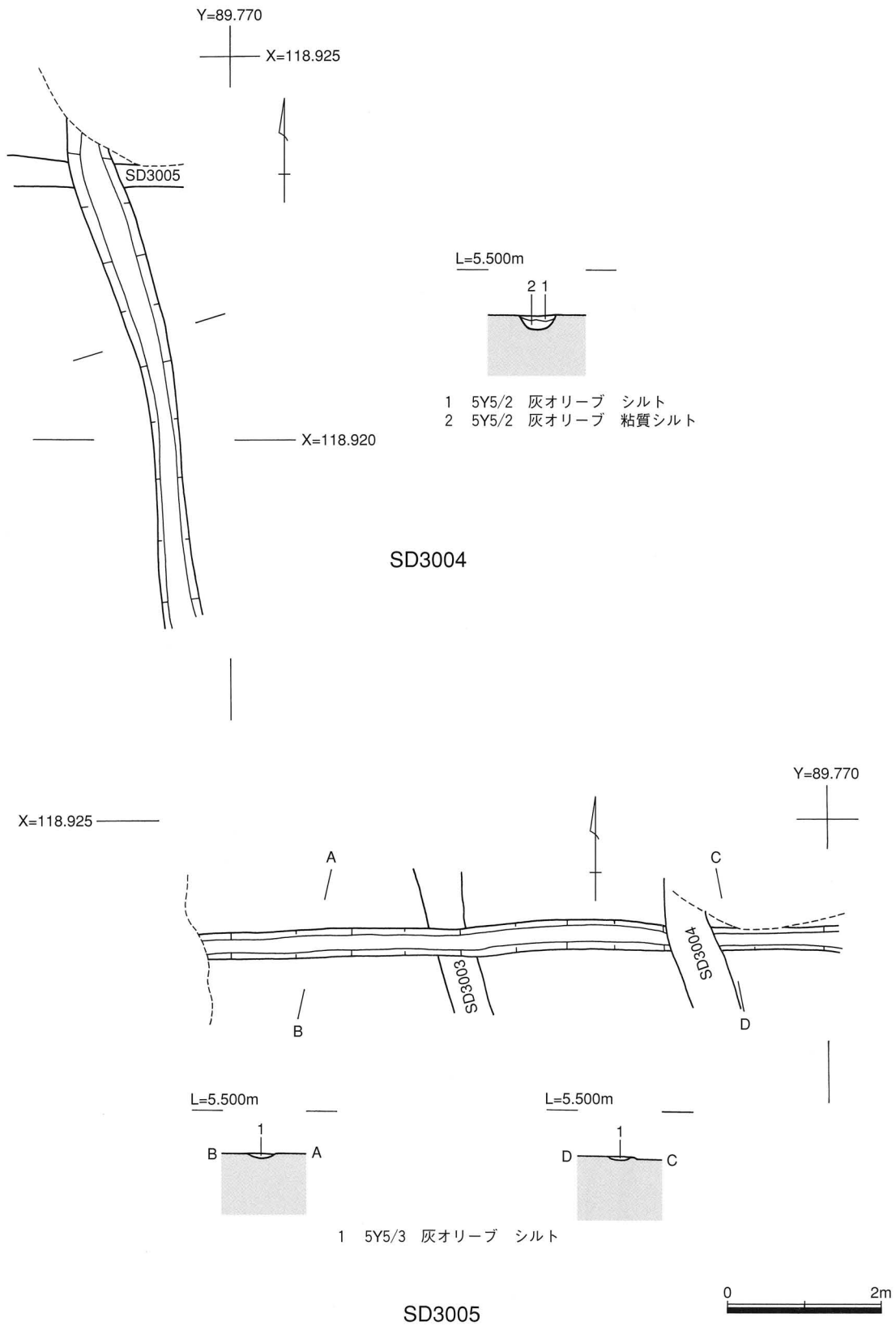
検出長19.35m、最大幅0.50m、最大深度0.12m の溝である。N-10°-W を軸とした直線状を呈する。北端は調査区内で終息する。



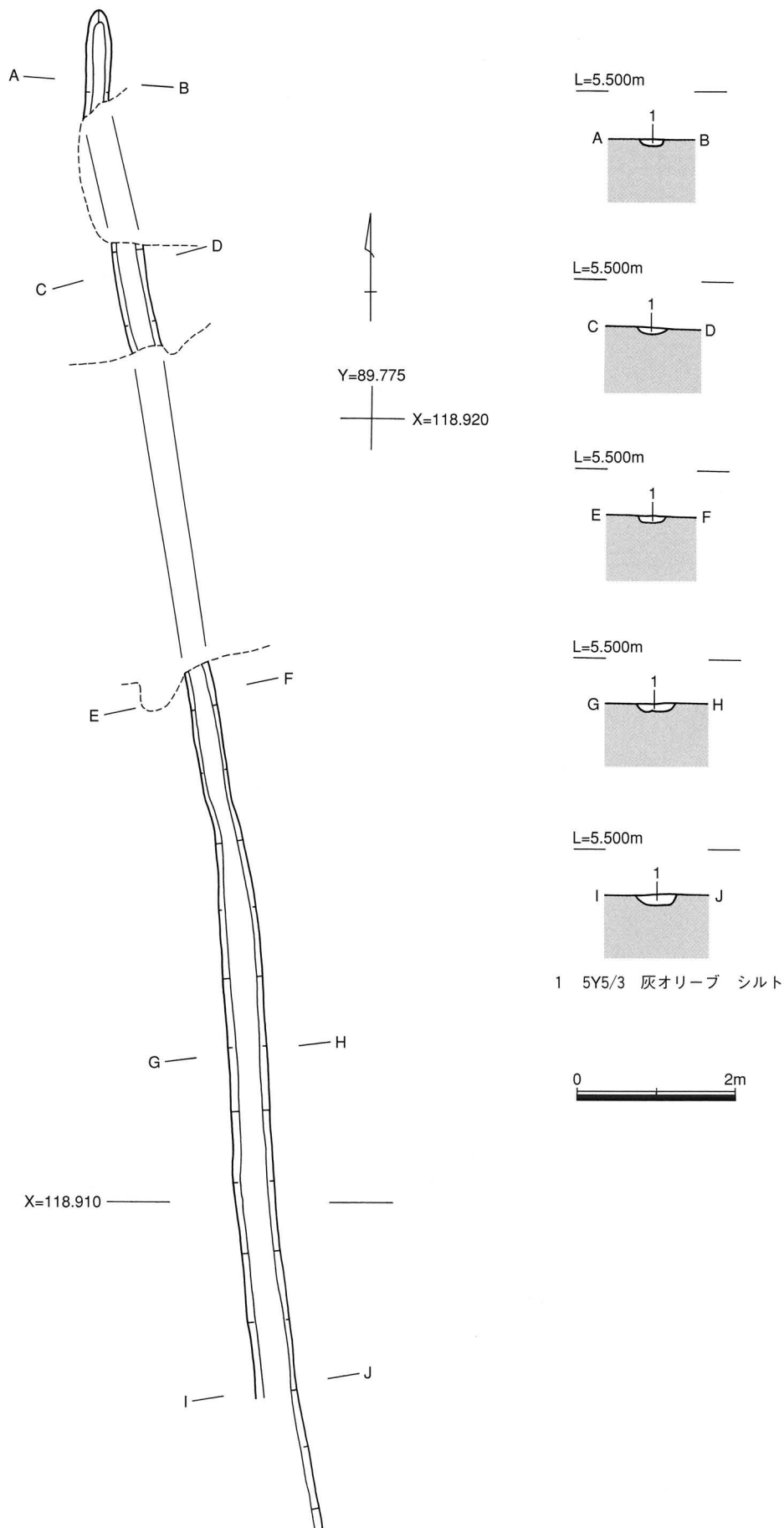
第135図 南区（2004年度3区）SD3001・SD3002平・断面図



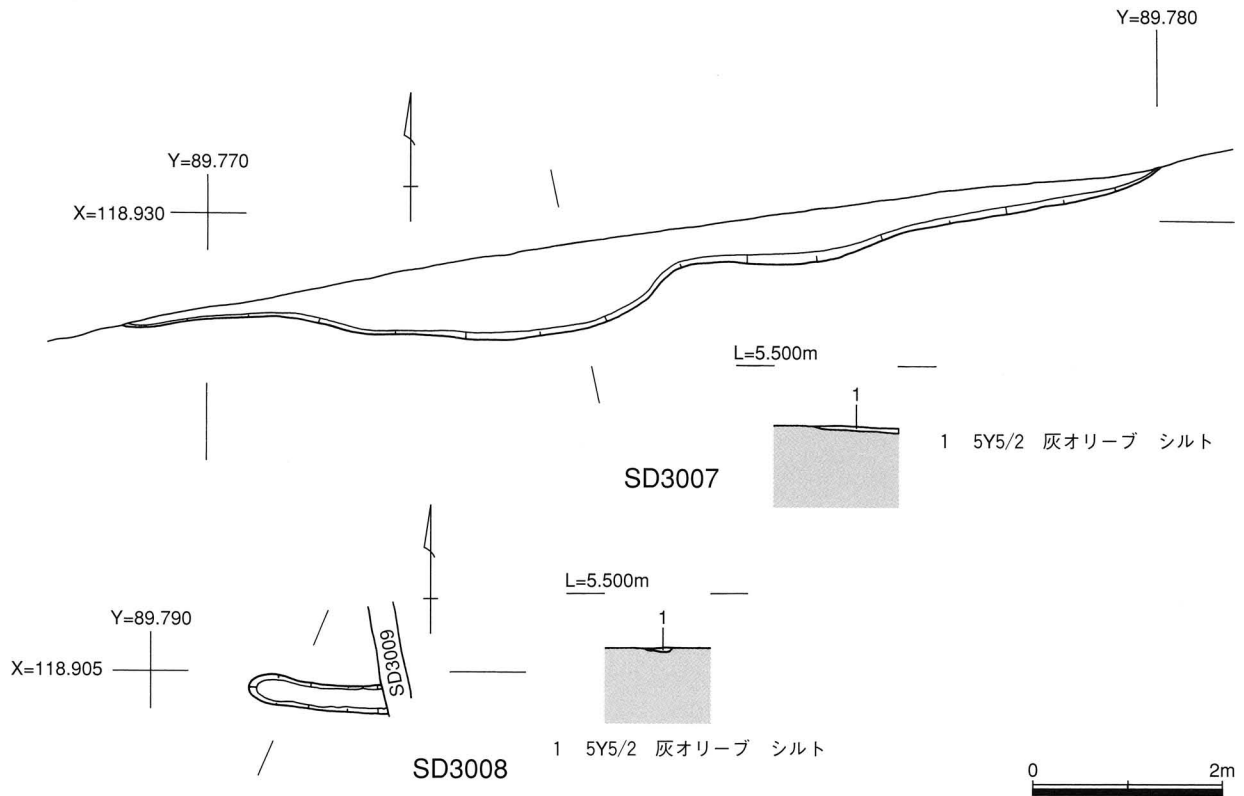
第136図 南区（2004年度3区）SD3003平・断面図



第137図 南区（2004年度3区）SD3004・SD3005平・断面図



第138図 南区 (2004年度3区) SD3006平・断面図



第139図 南区（2004年度3区）SD3007・SD3008平・断面図

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルト層による単一層である。

溝（SD3007）（第139図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド F、G-14~16に位置する。

規模と形状

検出長11.00m、最大幅0.90m、最大深度0.05mの溝である。大部分が調査区外に位置し、形状は不明である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝（SD3008）（第139図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-19に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅0.30m、最大深度0.05mの溝である。N-83°-Wを軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD3009) (第140図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A~D-19に位置する。

規模と形状

検出長13.80m、最大幅0.35m、最大深度0.07mの溝である。N-5°-Wと軸とした直線状を呈するが、北端はやや西へ傾斜する。

土層

遺構の堆積土はオリーブ黄色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD3010) (第140図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A~D-19に位置する。

規模と形状

検出長12.15m、最大幅0.42m、最大深度0.10mの溝である。N-16°-Wを軸に、やや蛇行した直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土はオリーブ黄色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD3011) (第141図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、Ⅳ、小グリッド C、D-17~1に位置する。

規模と形状

検出長21.73m、最大幅0.70m、最大深度0.14mの溝である。N-76°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD3012) (第141図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-18、19に位置する。

規模と形状

検出長6.25m、最大幅0.35m、最大深度0.10mの溝である。N-73°-Wを軸とした直線状を呈する。

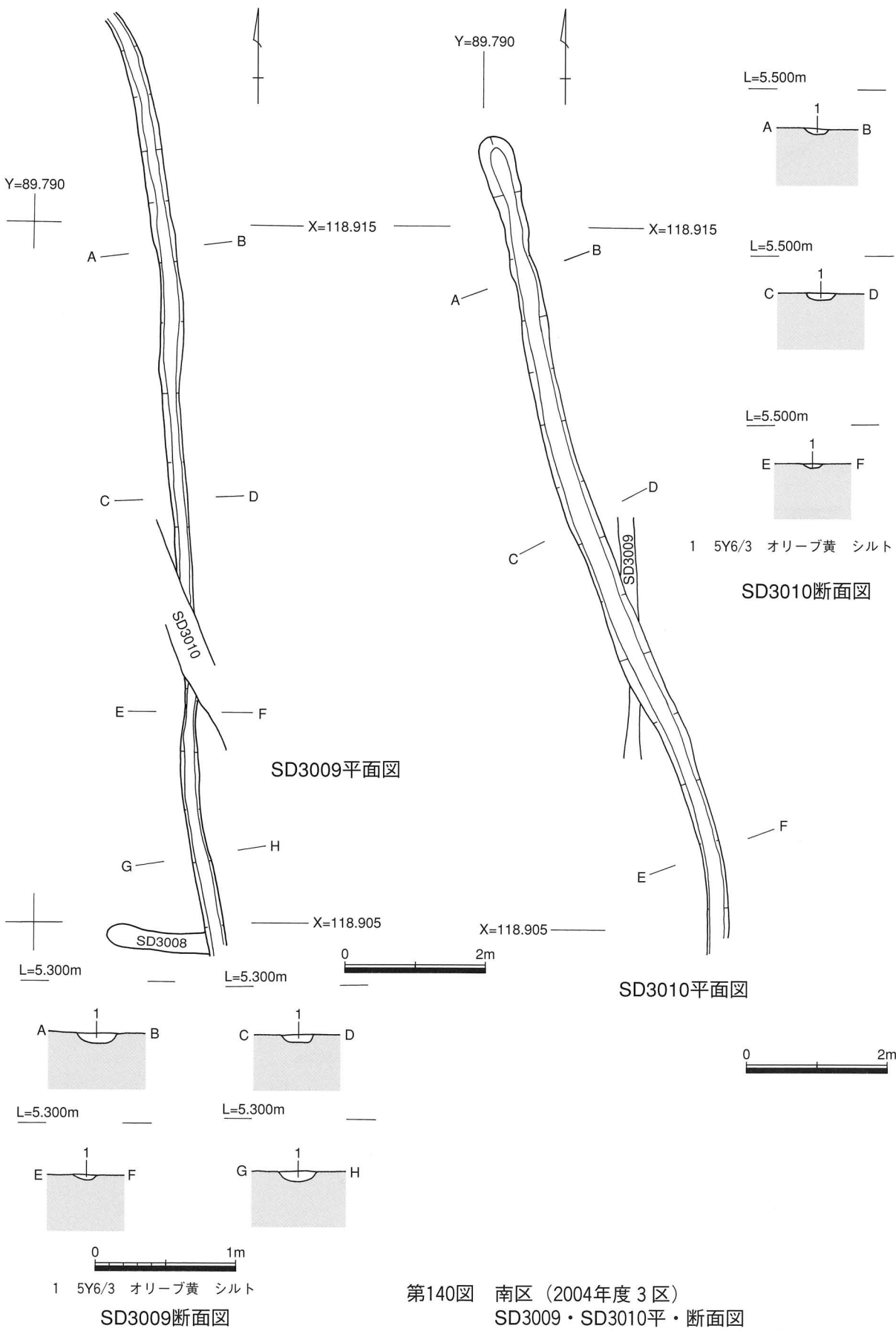
土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

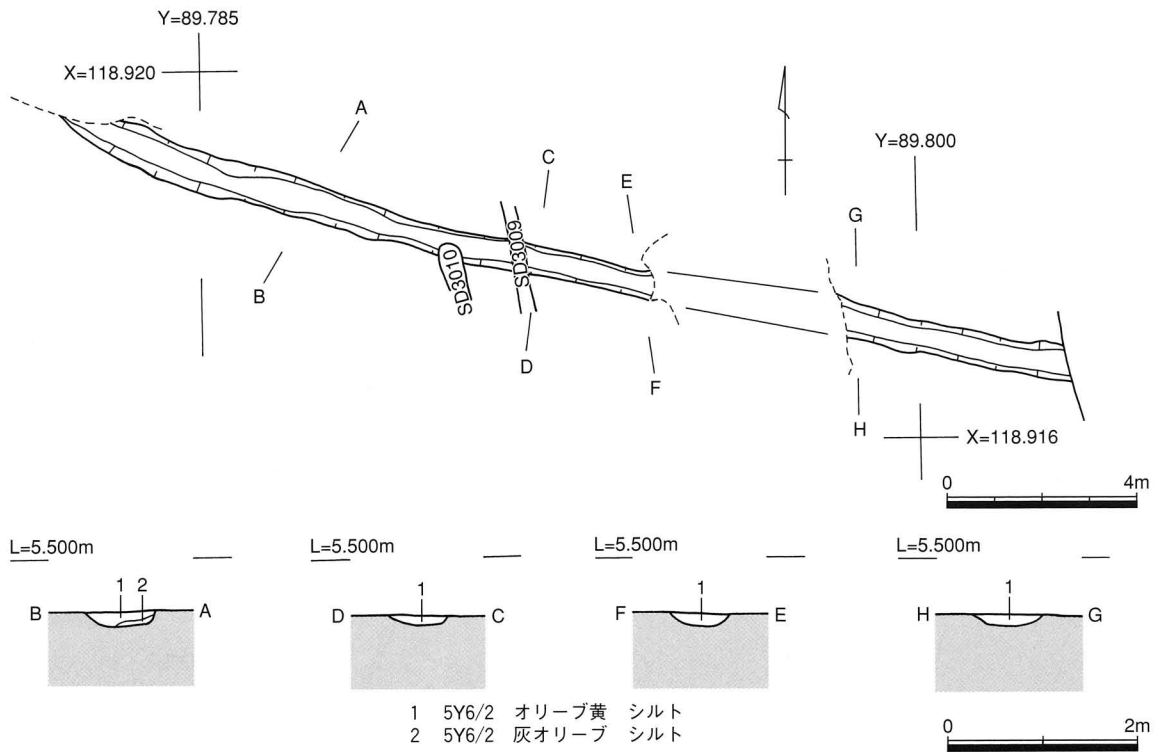
溝 (SD3013) (第142図)

位置

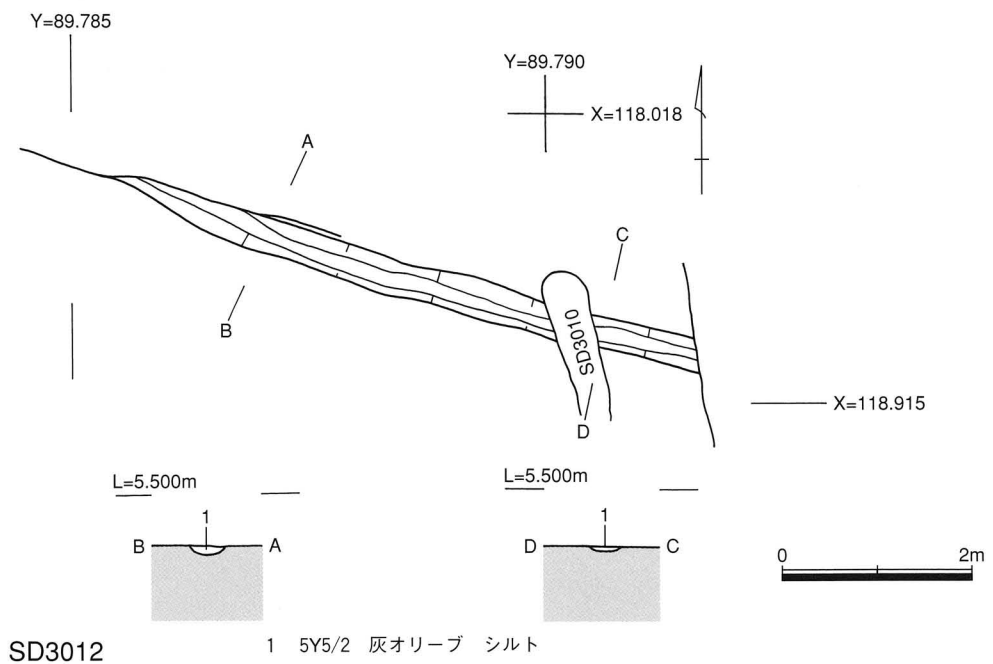
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-19~1に位置する。



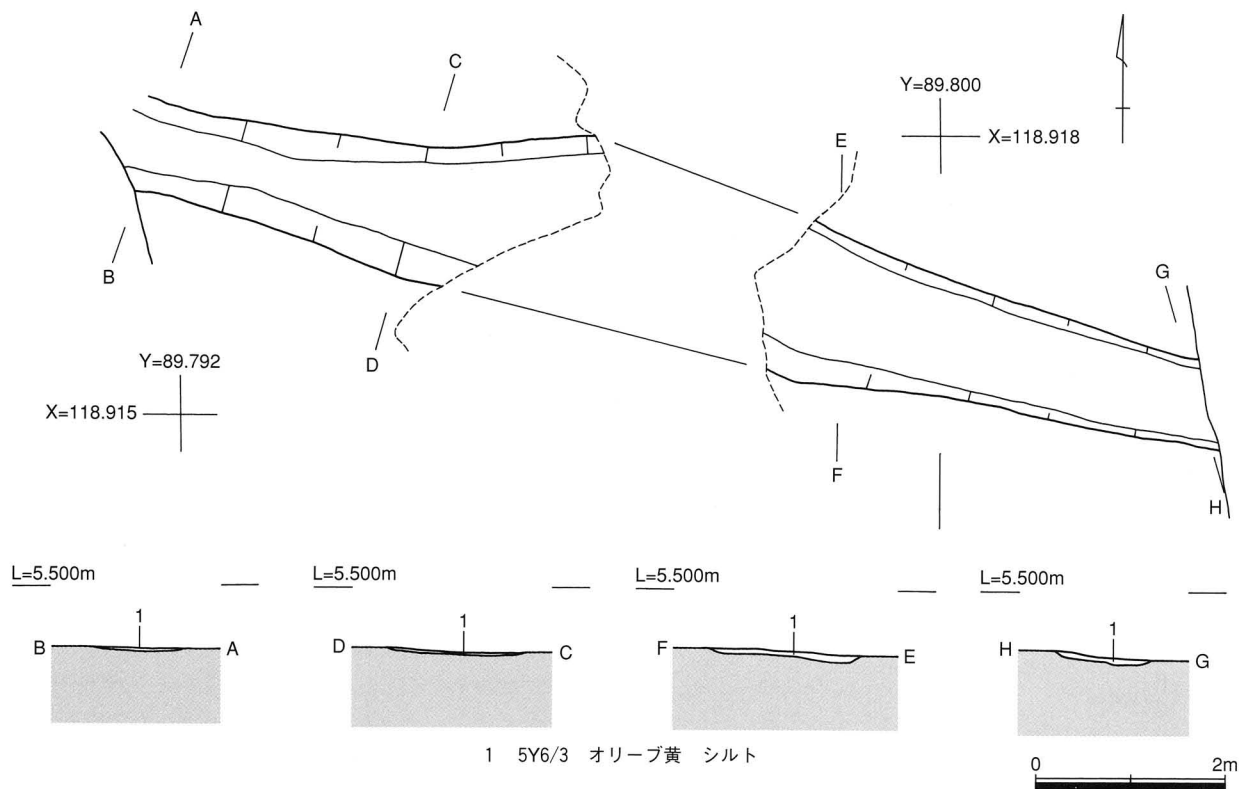
第140図 南区 (2004年度 3区)
SD3009・SD3010平・断面図



SD3011



第141図 南区（2004年度3区）SD3011・SD3012平・断面図



第142図 南区（2004年度3区）SD3013平・断面図

規模と形状

検出長16.95m、最大幅1.57m、最大深度0.07mの溝である。N-76°-Wを軸とした直線状を呈する。中央部は攪乱を受けている。

土層

遺構の堆積土はオリーブ黄色を呈するシルトによる単一層である。

水田跡（第134図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、Ⅳ、小グリッド A~G-13~1に位置する。

規模と形状

調査区全域に水田面が形成されている。SD3003、3004、3006は、ほぼN-10°-Wを軸にした細く浅い溝である。耕作痕は一定しておらず、明確な区画は存在しない。

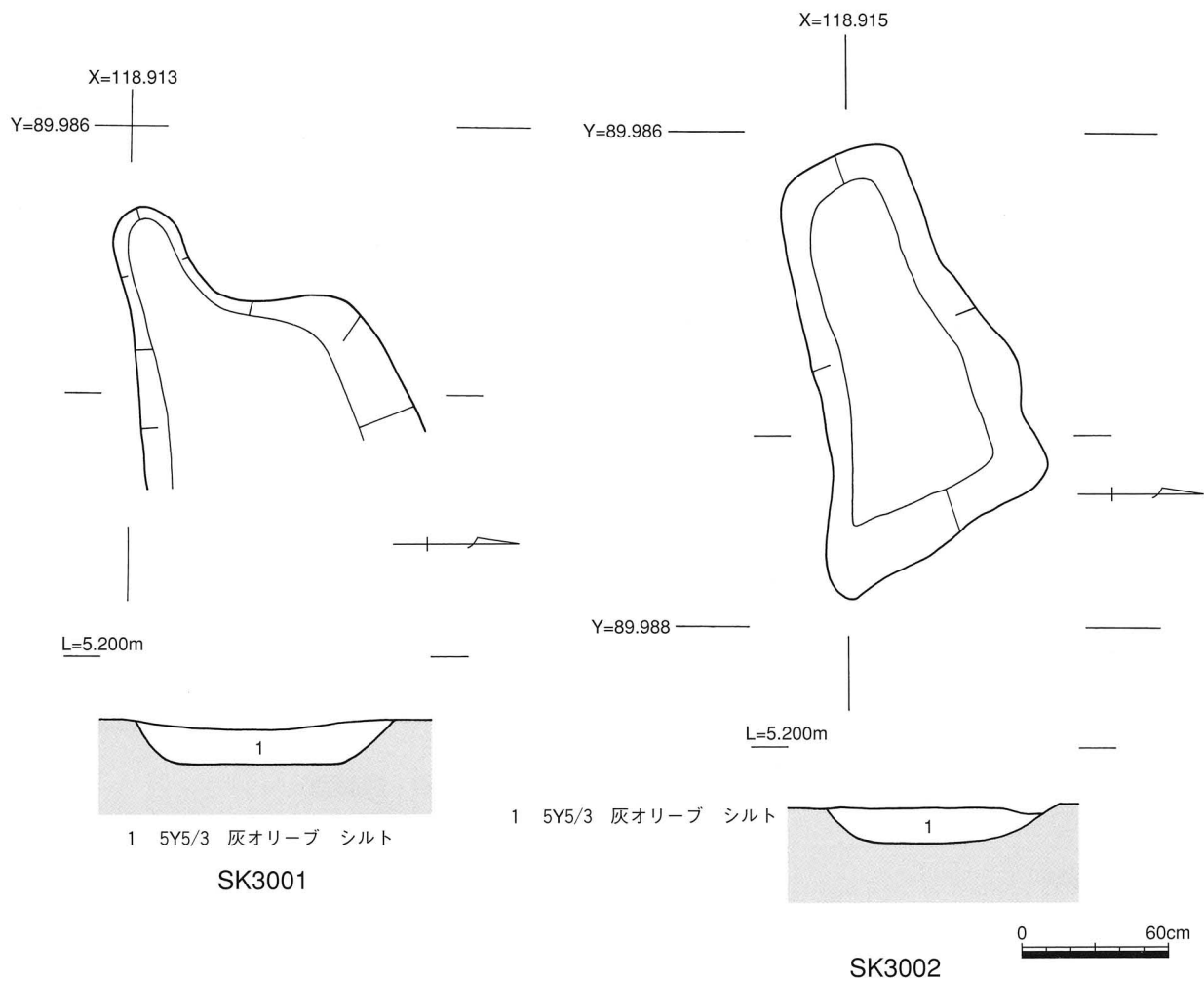
土坑（SK3001）（第143図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-18に位置する。

規模と形状

検出長1.14m、最大幅1.09m、最大深度0.18mの不定形である。



第143図 南区（2004年度3区）SK3001・SK3002平・断面図

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土坑（SK3002）（第143図）

位置

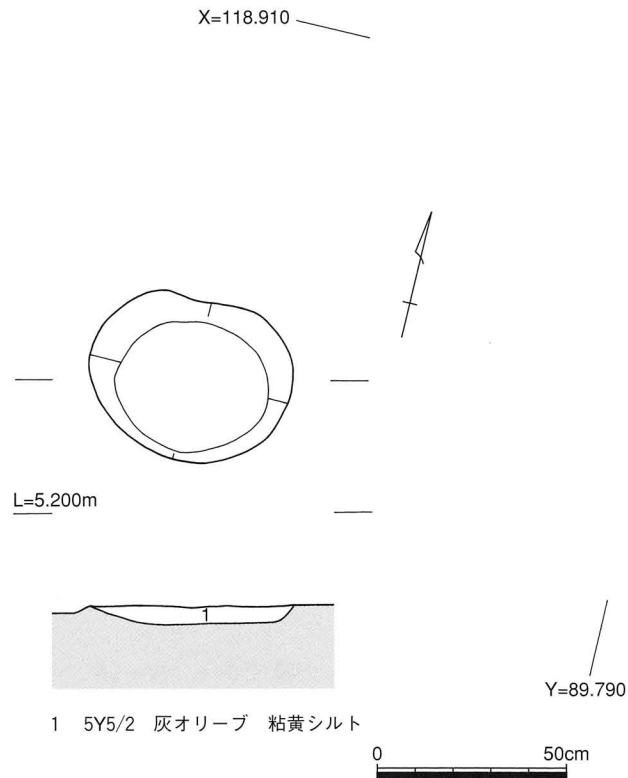
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-18に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.84m、最大深度0.18mのいびつな台形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。



第144図 南区（2004年度3区）SP3001平・断面図

柱穴（SP3001）（第144図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-18に位置する。

規模と形状

検出長0.55m、最大幅0.45m、最大深度0.04mの円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈する粘質シルトによる単一層である。

(9) 2004年度3区 (第4遺構面)

溝 (SD4001) (第146図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A~D-15に位置する。

規模と形状

検出長27.40m、最大幅1.40m、最大深度0.40mの溝である。N-9°-Eを軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD4002) (第146図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A~C-18に位置する。

規模と形状

検出長10.70m、最大幅0.80m、最大深度0.08mの溝である。N-16°-Eを軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルト層による単一層である。

溝 (SD4003) (第147図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B、C-18に位置する。

規模と形状

検出長7.40m、最大幅0.95m、最大深度0.07mの溝である。正方位の南北を軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD4004) (第148図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、Ⅳ、小グリッド C~F-13~1に位置する。

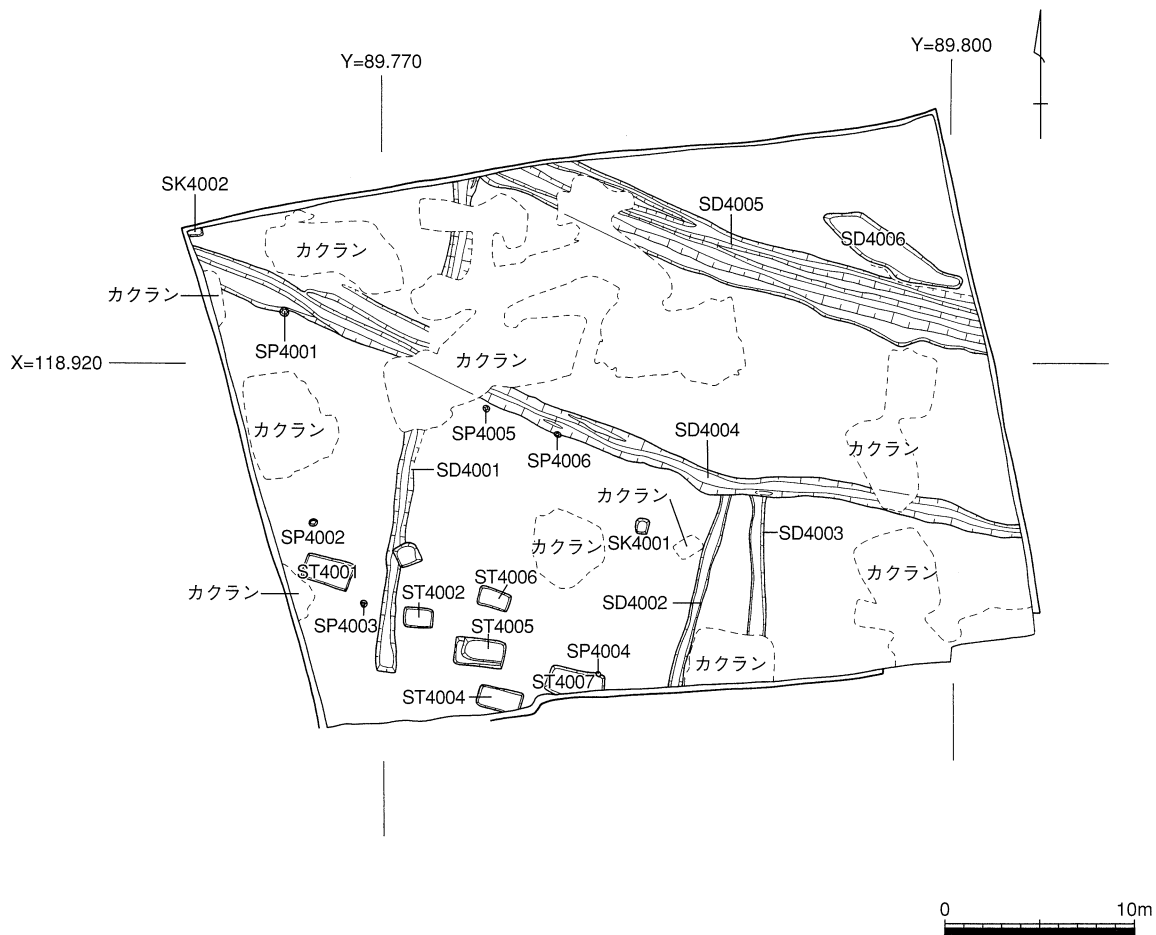
規模と形状

検出長46.20m、最大幅2.40m、最大深度0.30mの溝である。西側2/3はN-68°-Wを軸とした直線状を呈するが、東側1/3はN-80°-Wに変化している。

土層

A-Bは4層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは5層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第145図 南区（2004年度3区）第4遺構面 調査区遺構平面図

溝（SD4005）（第149図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、Ⅳ、小グリッド E~G-16~1 に位置する。

規模と形状

検出長27.00m、最大幅1.55m、最大深度0.65mの溝である。N-71°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは6層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは5層に分層した。2層~5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。7層は黄褐色を呈するシルト層である。

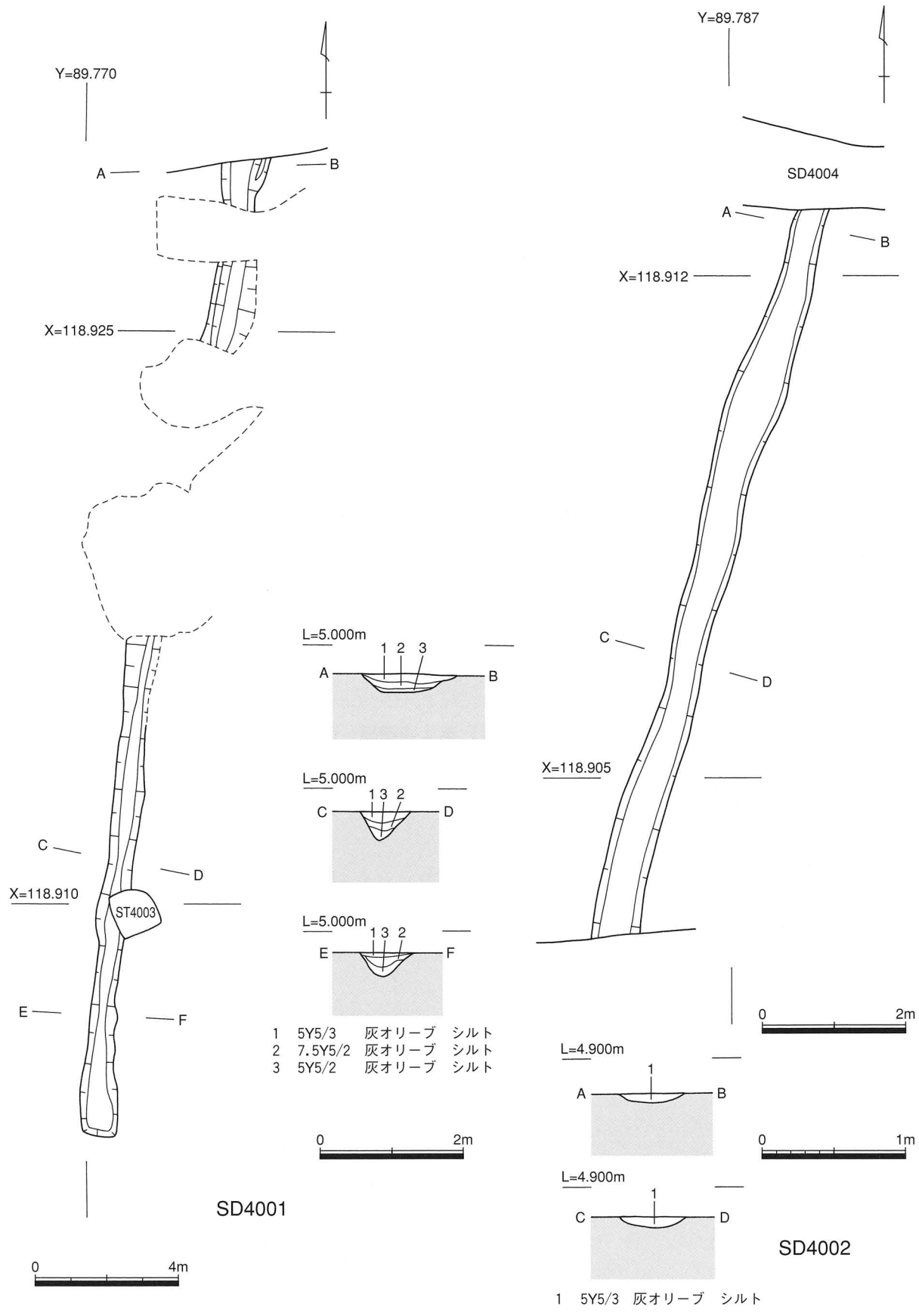
出土遺物

135は須恵器の鉢である。

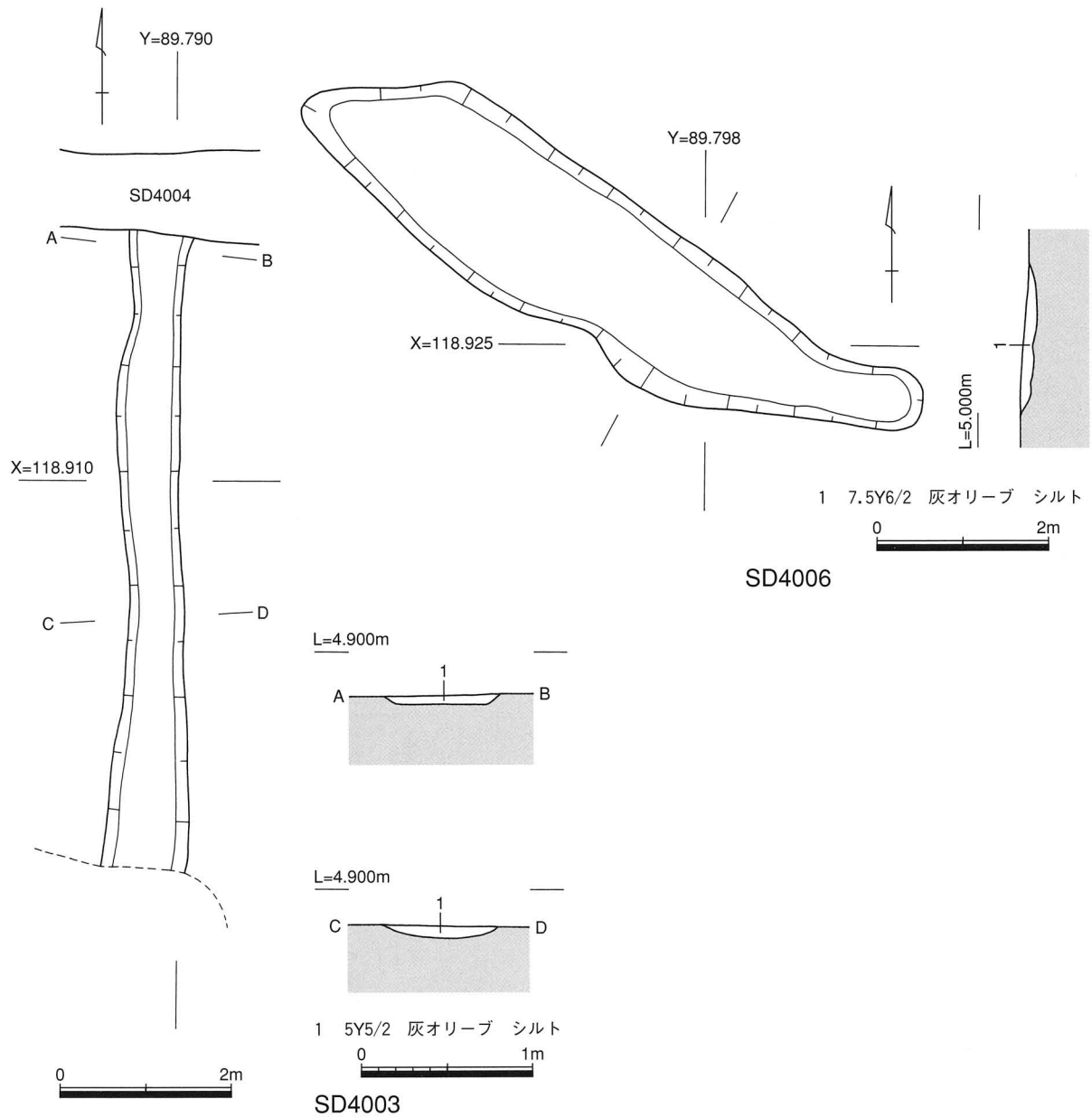
溝（SD4006）（第147図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、Ⅳ、小グリッド E、F-19~1 に位置する。



第146図 南区 (2004年度3区) SD4001・SD4002平・断面図



第147図 南区（2004年度3区）SD4003・SD4006平・断面図

規模と形状

検出長8.00m、最大幅0.88m、最大深度0.15mの溝である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

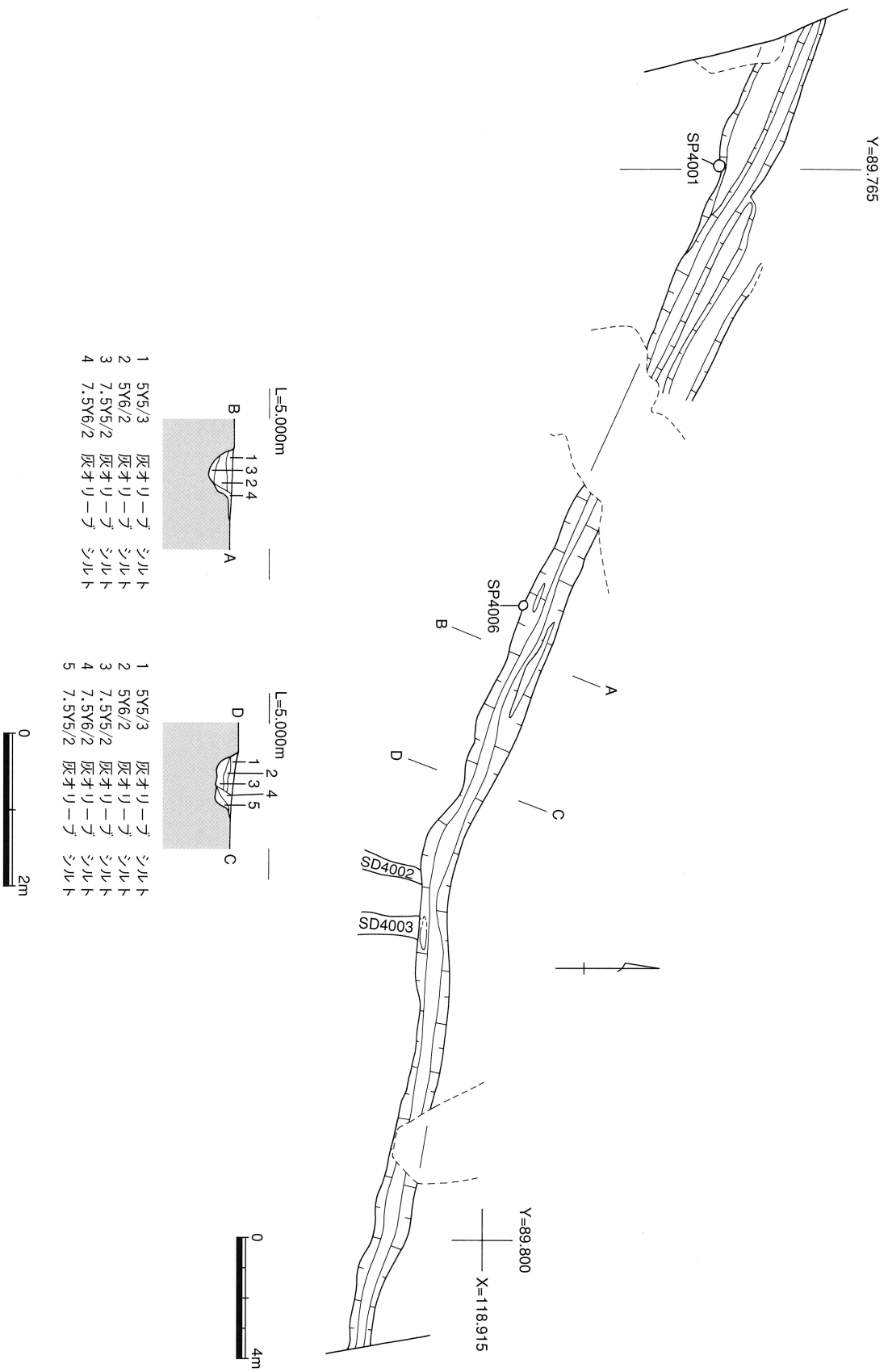
土坑（SK4001）（第150図）

位置

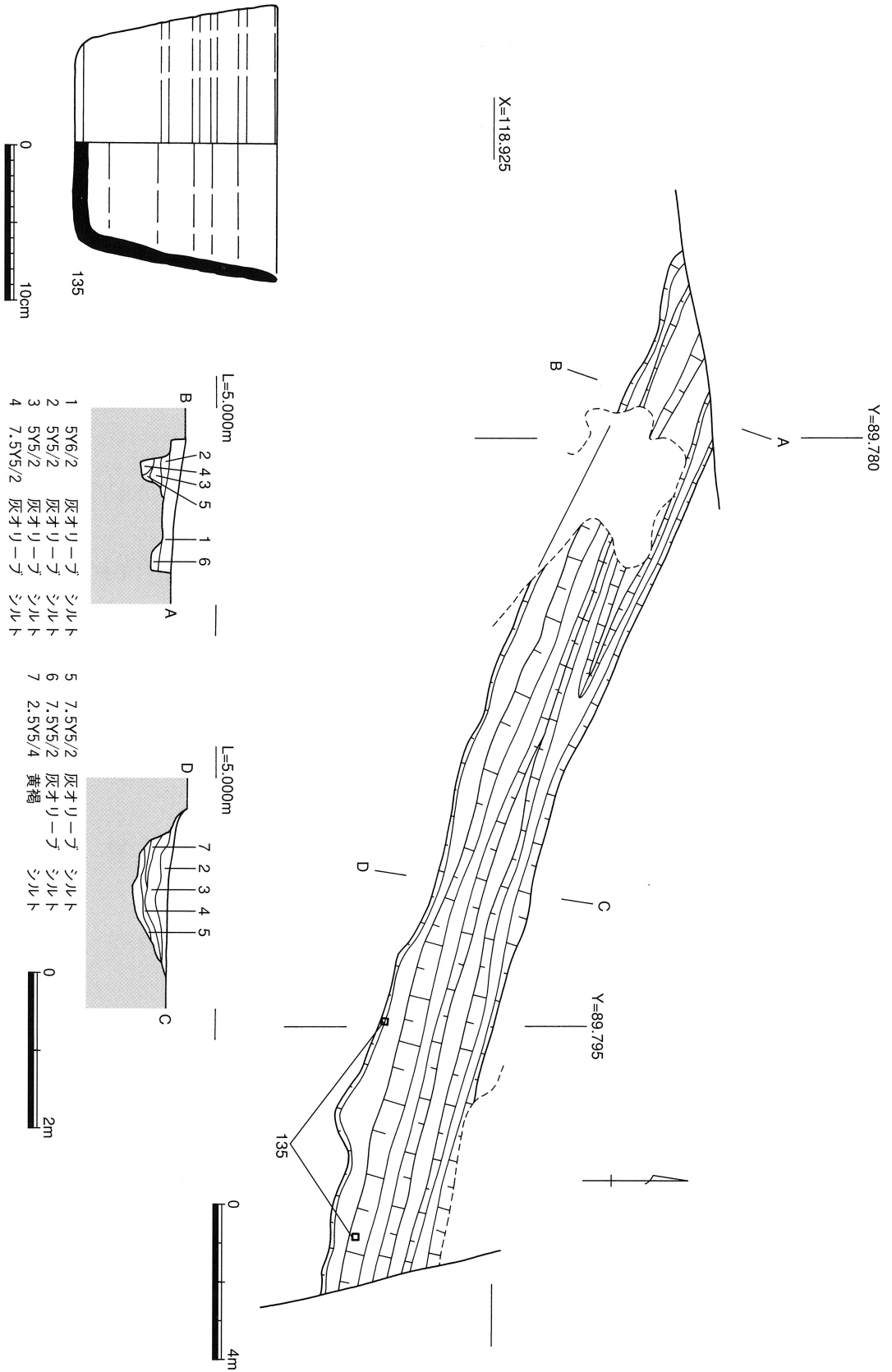
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-17に位置する。

規模と形状

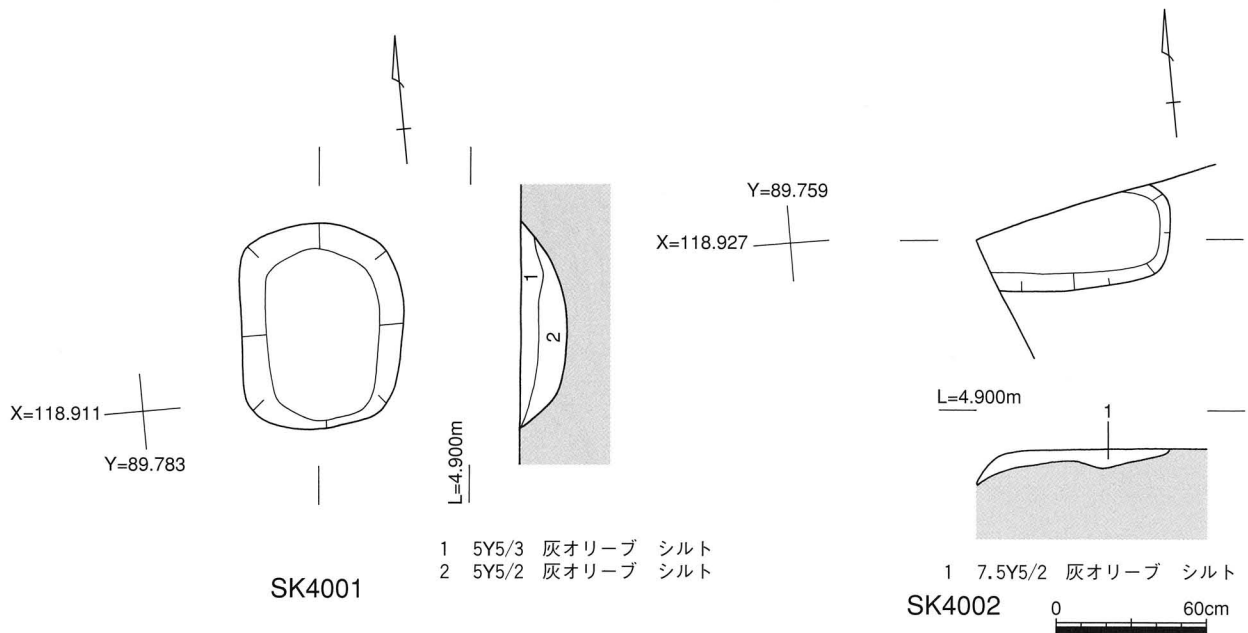
検出長0.82m、最大幅0.68m、最大深度0.17mの楕円形である。



第148図 南区 (2004年度 3区) SD4004平・断面図



第149図 南区(2004年度3区)SD4005平・断面図・遺物出土状況・出土遺物



第150図 南区（2004年度3区）SK4001・SK4002平・断面図

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑（SK4002）（第150図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド F-13に位置する。

規模と形状

検出長0.75m、最大幅0.36m、最大深度0.07mであるが、遺構の半分は調査区外に位置するため形状は不明である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

柱穴（SP4001）（第151図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド E-13に位置する。

規模と形状

検出長0.38m、最大幅0.36m、最大深度0.20mの円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP4002) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-14に位置する。

規模と形状

検出長0.40m、最大幅0.34m、最大深度0.14mの円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

柱穴 (SP4003) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-14に位置する。

規模と形状

検出長0.35m、最大幅0.31m、最大深度0.18mの円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP4004) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-17に位置する。

規模と形状

検出長0.27m、最大幅0.26m、最大深度0.21mの円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP4005) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-16に位置する。

規模と形状

検出長0.31m、最大幅0.31m、最大深度0.12mの円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

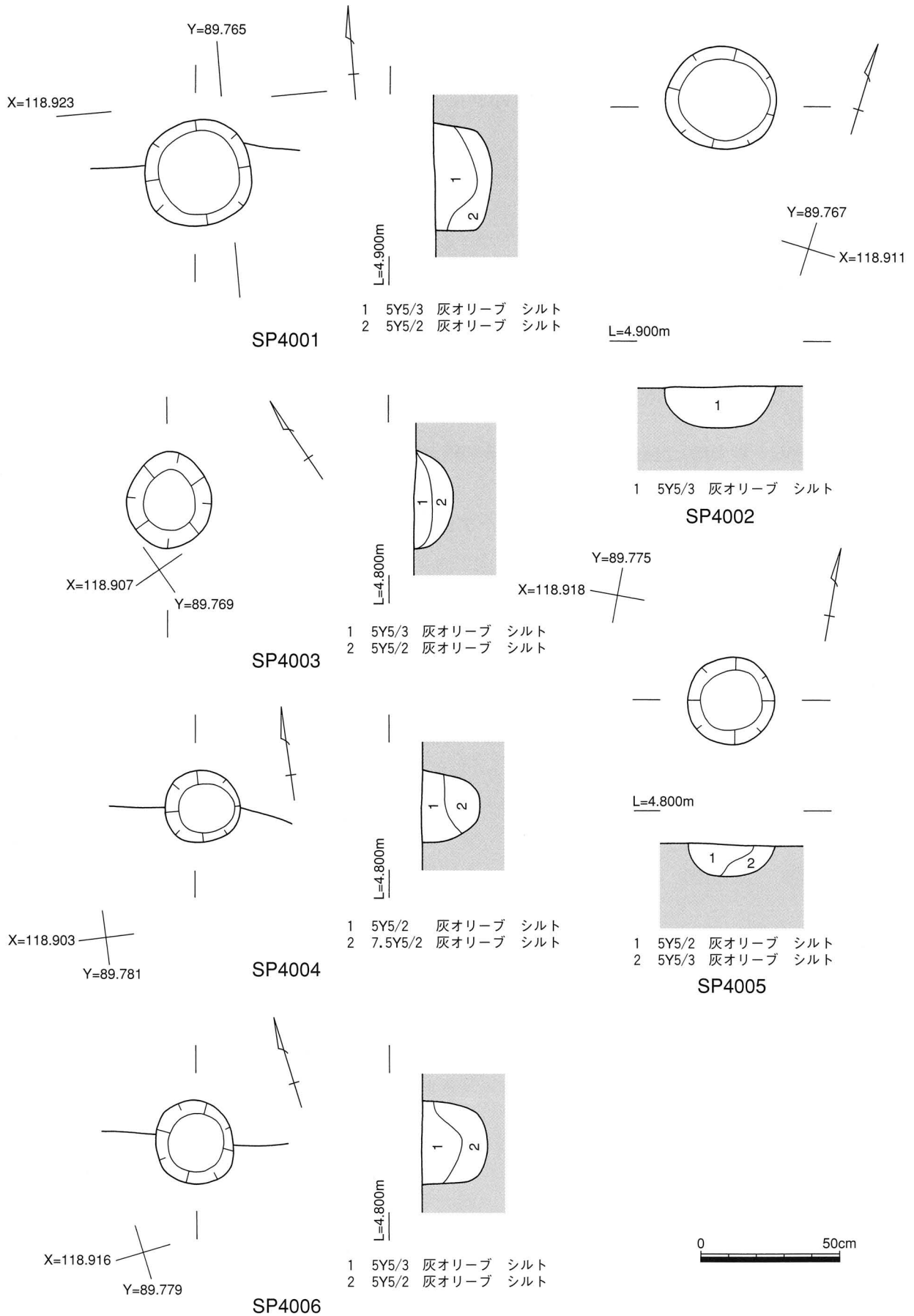
柱穴 (SP4006) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-16に位置する。

規模と形状

検出長0.31m、最大幅0.28m、最大深度0.24mの円形である。



第151図 南区（2004年度3区）SP4001・SP4002・SP4003・SP4004・SP4005・SP4006平・断面図

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST4001) (第152図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-14に位置する。

規模と形状

検出長2.45m、最大幅1.75m、最大深度0.51mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層、6層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST4002) (第152図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-15に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅0.95m、最大深度0.55mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST4003) (第152図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-15に位置する。

規模と形状

検出長1.21m、最大幅1.16m、最大深度0.40mの四角形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST4004) (第152図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-16に位置する。

規模と形状

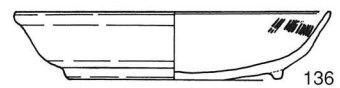
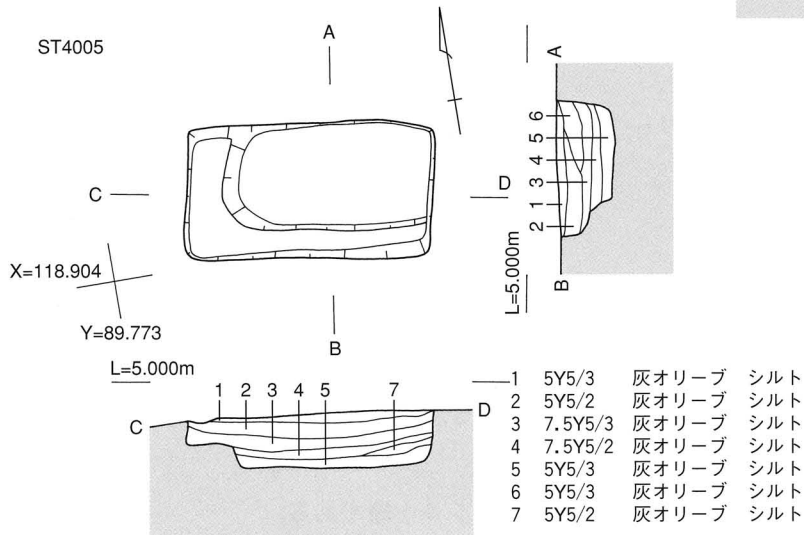
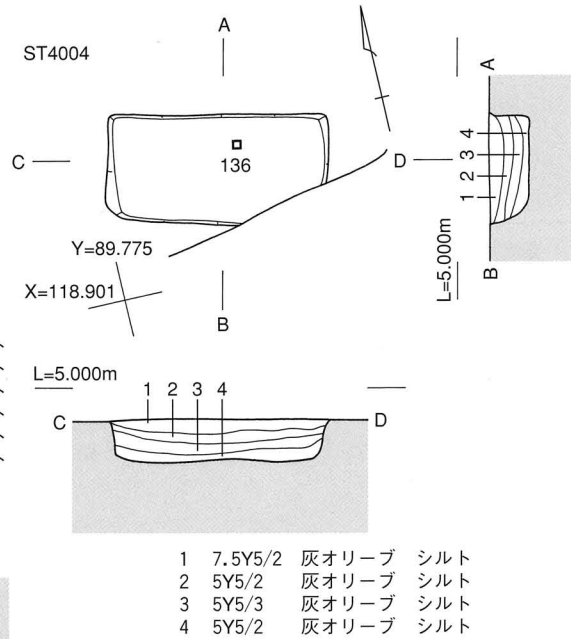
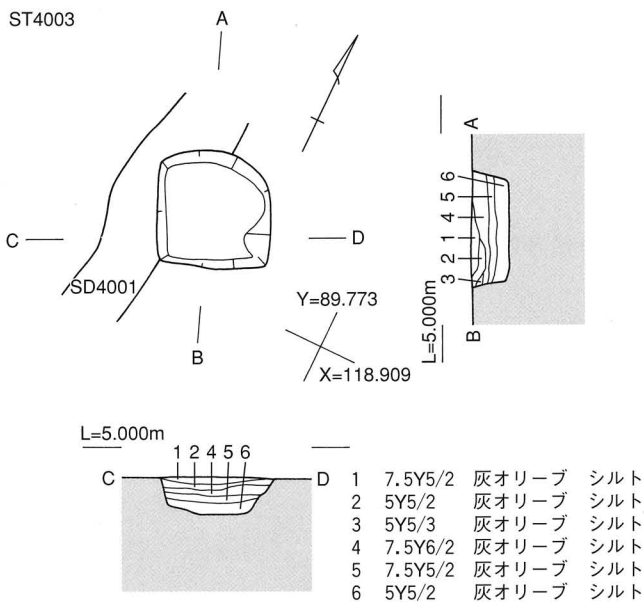
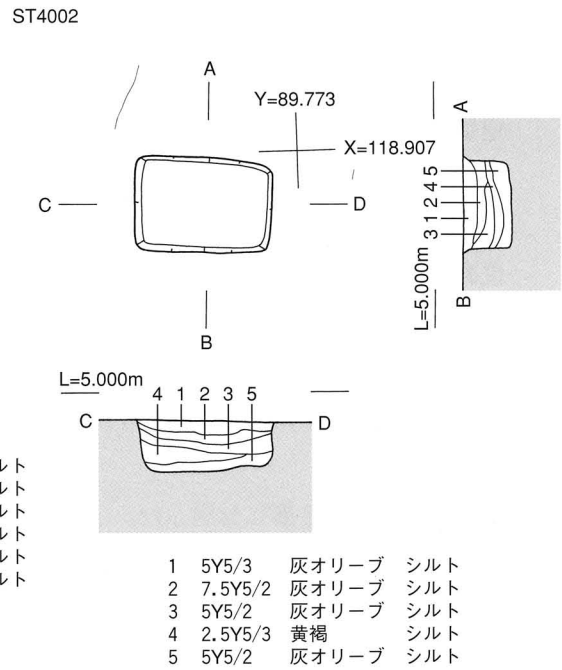
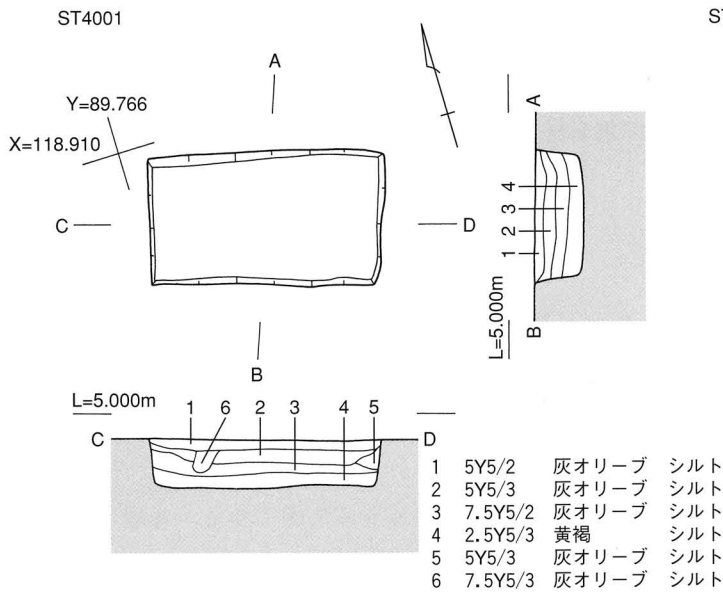
検出長2.30m、最大幅1.15m、最大深度0.42mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

出土遺物・時期

136は土師器の杯である。内面に放射状暗文が一部残存する。時期は奈良時代である。



ST4004出土遺物



第152図 南区(2004年度3区) ST4001・ST4002・ST4003・ST4004・ST4005
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST4004出土遺物

土壌墓 (ST4005) (第152図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-16に位置する。

規模と形状

検出長2.60m、最大幅1.50m、最大深度0.62mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は7層に分層した。すべて灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST4006) (第153図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-16に位置する。

規模と形状

検出長1.10m、最大幅0.95m、最大深度0.60mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層は暗灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST4007) (第153図)

位置

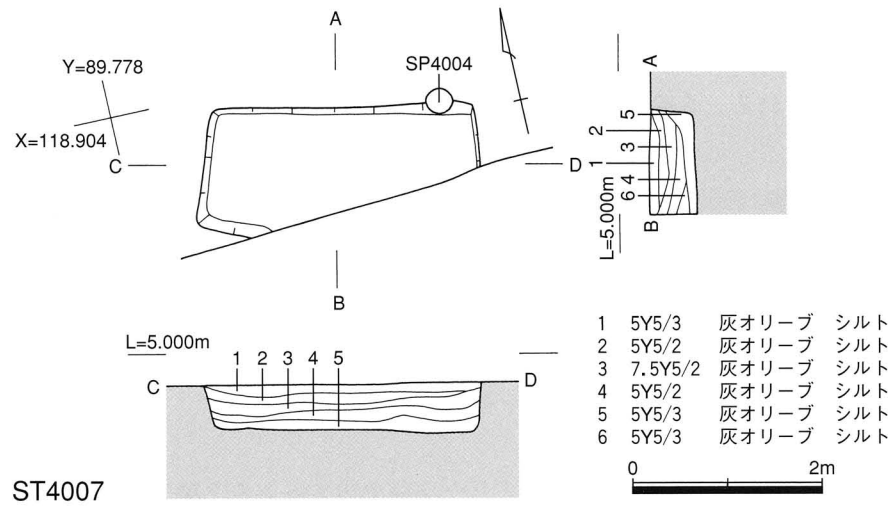
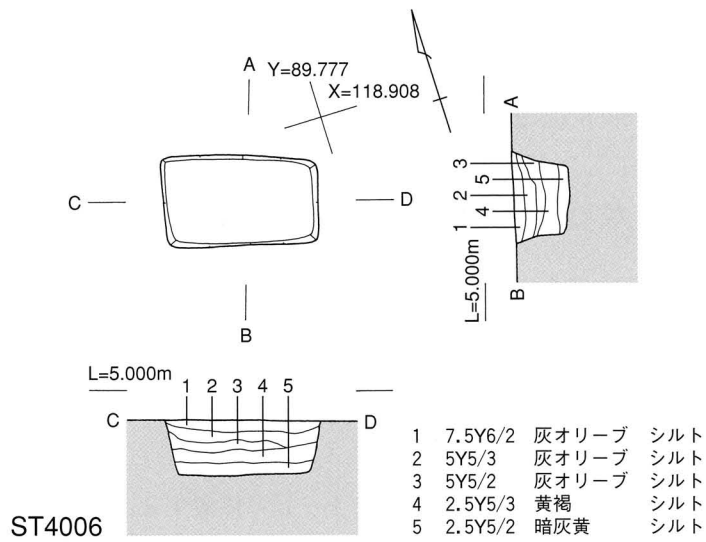
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-17に位置する。

規模と形状

検出長2.90m、最大幅1.40m、最大深度0.55mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第153図 南区 (2004年度 3区) ST4006・ST4007平・断面図

(10) 2004年度 3区 (第5遺構面)

溝 (SD5001) (第155図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-14に位置する。

規模と形状

検出長2.00m、最大幅0.40m、最大深度0.07mの溝である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈する砂質土による単一層である。

溝 (SD5002) (第155図)

位置

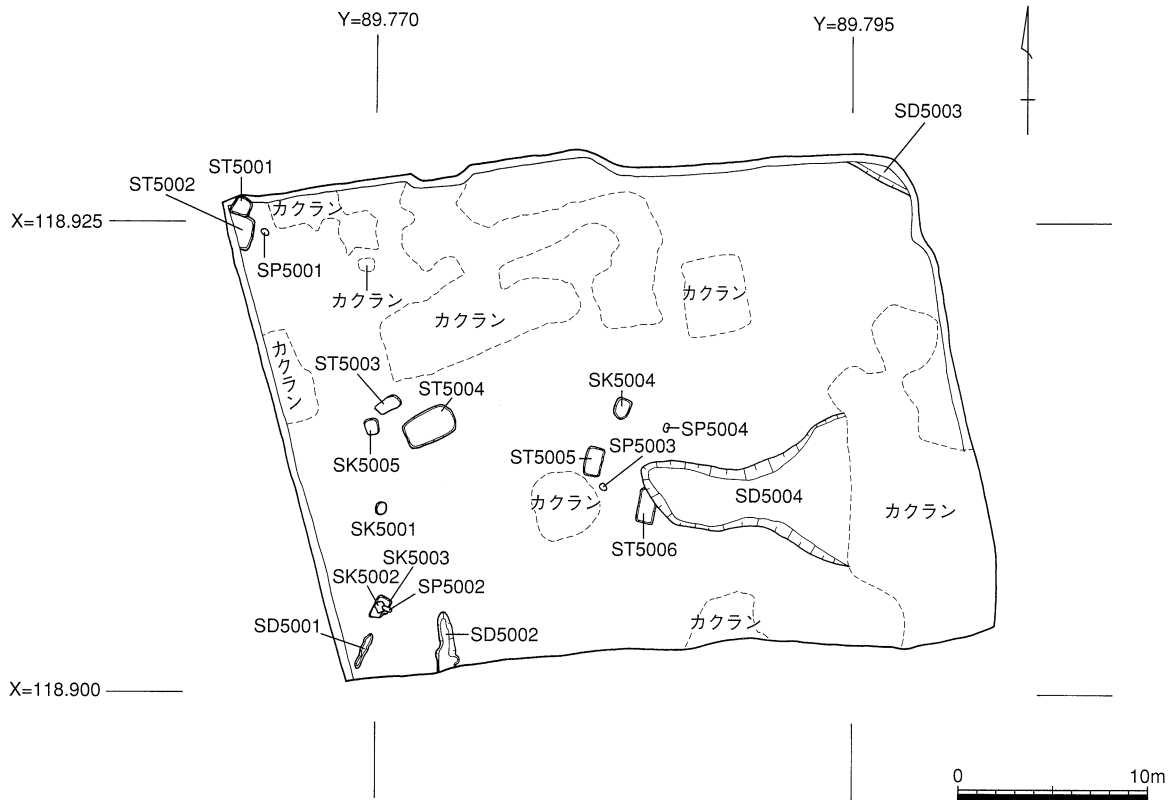
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

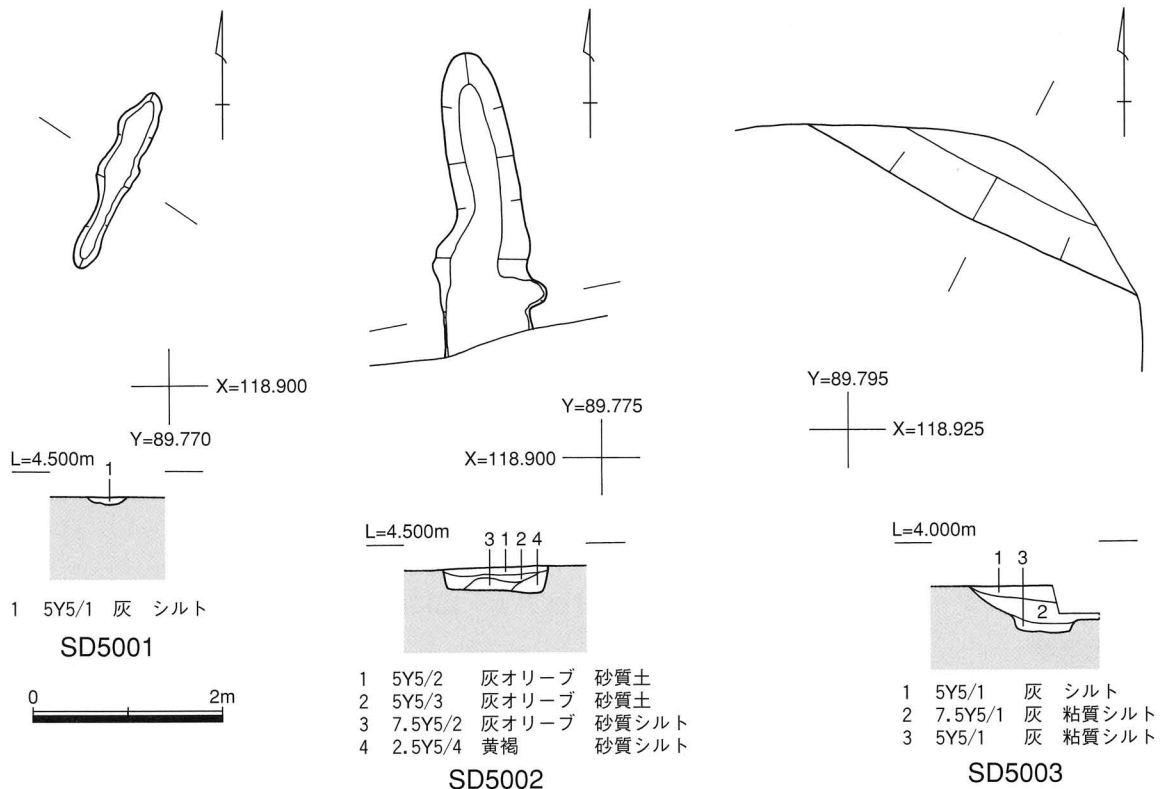
検出長3.05m、最大幅1.10m、最大深度0.27mの溝である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1、2層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。3層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。4層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。



第154図 南区 (2004年度 3区) 第5遺構面 調査区遺構平面図



第155図 南区（2004年度3区）SD5001・SD5002・SD5003平・断面図

溝（SD5003）（第155図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド F-20に位置する。

規模と形状

検出長3.40m、最大幅0.88m、最大深度0.50mの溝である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は灰色を呈するシルト層である。2、3層は灰色を呈する粘質シルト層である。

溝（SD5004）（第156図）

位置

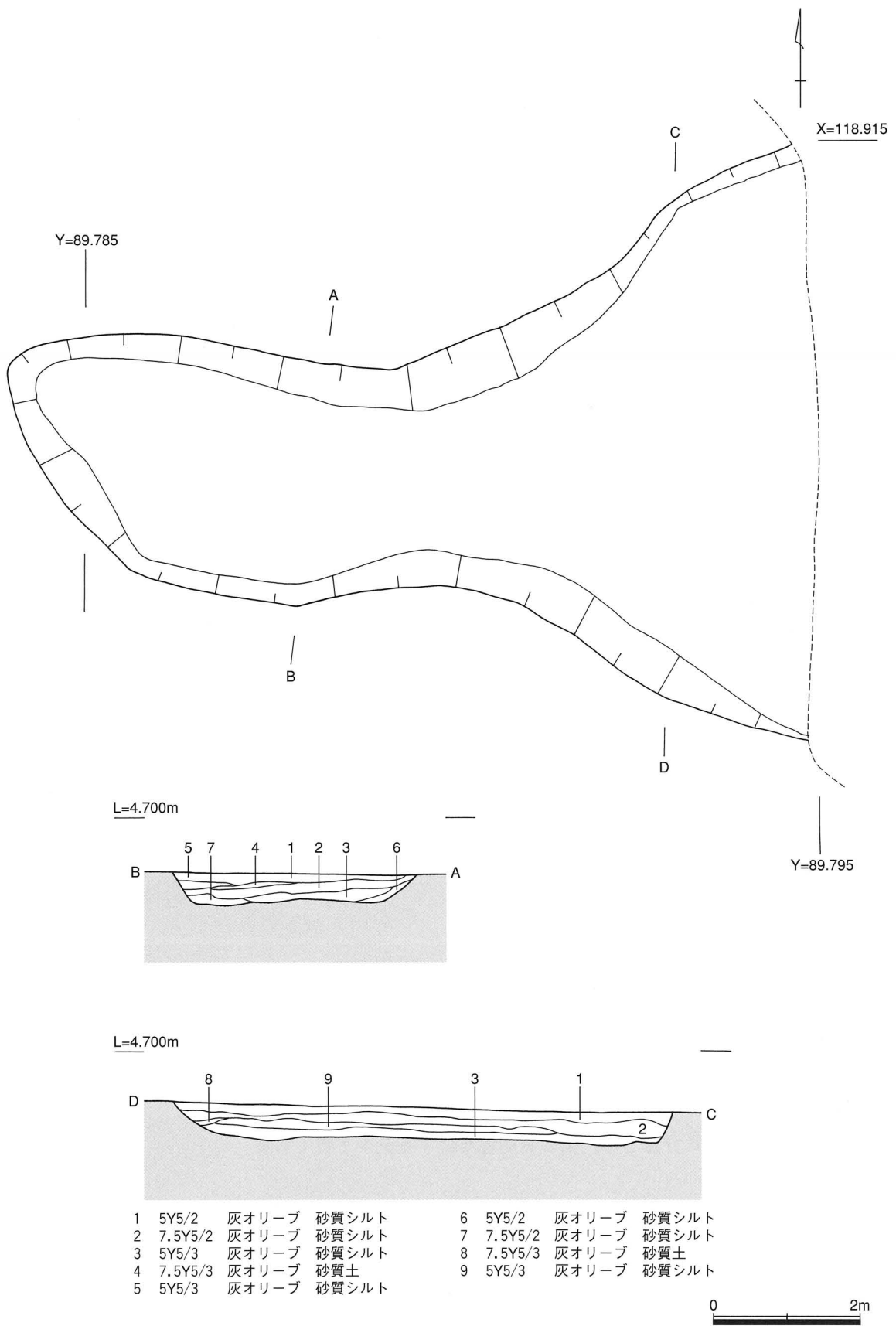
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B、C-17~19に位置する。

規模と形状

検出長11.00m、最大幅7.70m、最大深度0.50mの溝である。

土層

遺構の堆積土は9層に分層した。1層~3層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。5層~7層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。8層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。9層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。



第156図 南区（2004年度3区）SD5004平・断面図

土坑 (SK5001) (第157図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド B-15に位置する。

規模と形状

検出長0.71m、最大幅0.56m、最大深度0.25mの楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。

土坑 (SK5002) (第157図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長0.58m、最大幅0.50m、最大深度0.08mの平面形が、いびつな五角形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ色を呈する砂質シルト層である。2層は灰色を呈する砂質土層である。

土坑 (SK5003) (第157図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長1.20m、最大幅0.81m、最大深度0.14mの平面形が、いびつな六角形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈する砂質シルトによる単一層である。

土坑 (SK5004) (第158図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-17に位置する。

規模と形状

検出長1.13m、最大幅0.78m、最大深度0.37mの楕円形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て黄褐色を呈するシルト層である。

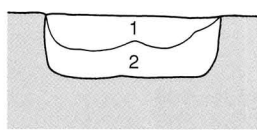
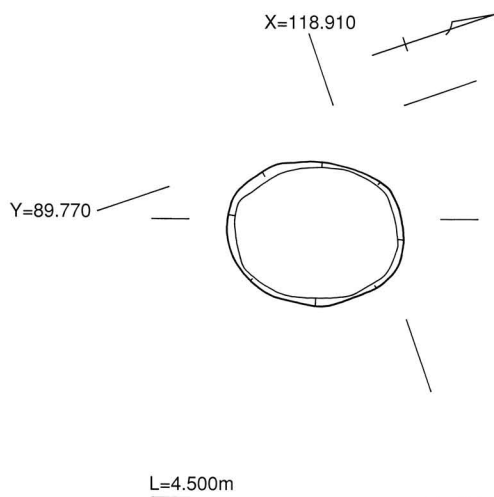
土坑 (SK5005) (第158図)

位置

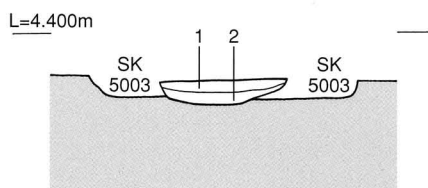
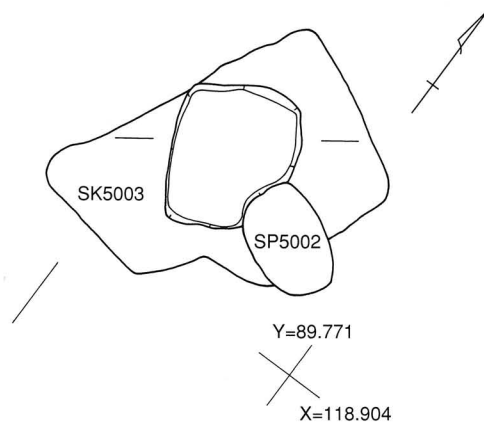
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-14に位置する。

規模と形状

検出長0.83m、最大幅0.71m、最大深度0.35mの四角形である。

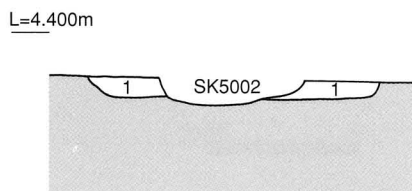
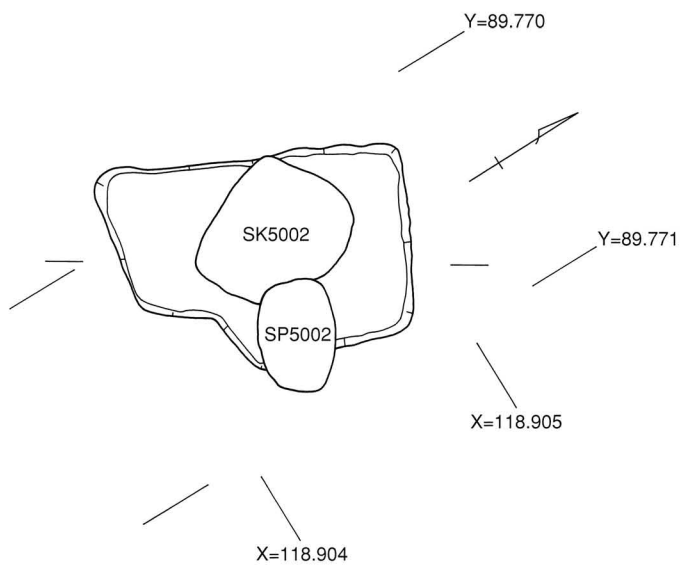


SK5001



- 1 5Y5/4 オリーブ 砂質シルト
- 2 5Y5/1 灰 砂質土

SK5002

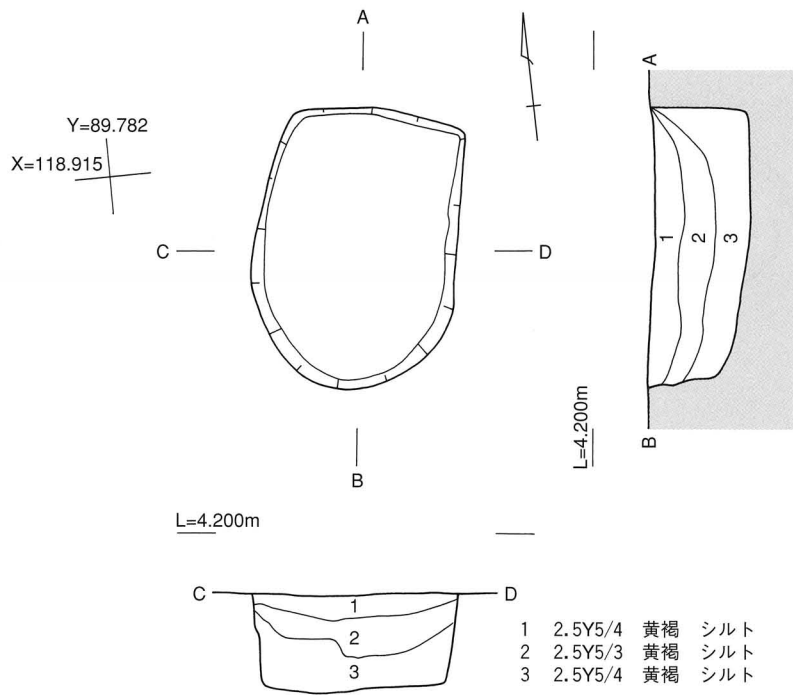


- 1 7.5Y6/1 灰 砂質シルト

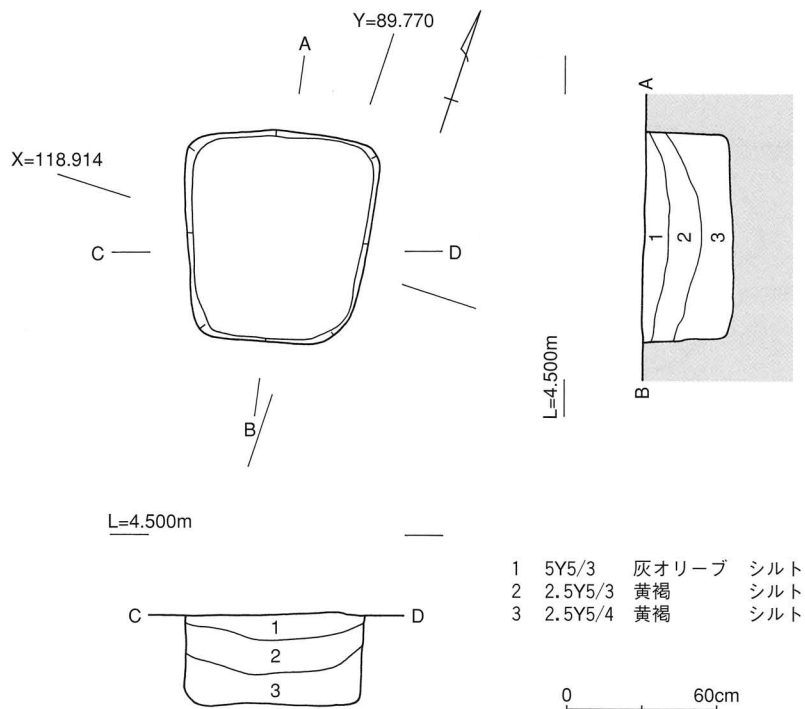
SK5003



第157図 南区（2004年度3区）SK5001・SK5002・SK5003平・断面図



SK5004



SK5005

第158図 南区 (2004年度 3区) SK5004・SK5005平・断面図

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層、3層は黄褐色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP5001) (第159図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド E-13に位置する。

規模と形状

検出長0.52m、最大幅0.36m、最大深度0.18m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。

柱穴 (SP5002) (第159図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長0.46m、最大幅0.30m、最大深度0.07m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質シルトによる単一層である。

柱穴 (SP5003) (第159図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-17に位置する。

規模と形状

検出長0.41m、最大幅0.36m、最大深度0.08m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP5004) (第159図)

位置

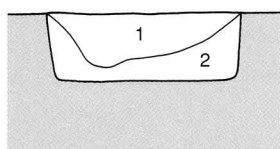
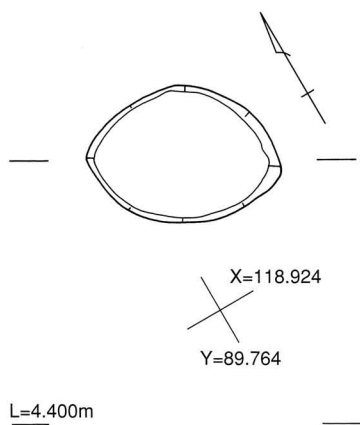
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-18に位置する。

規模と形状

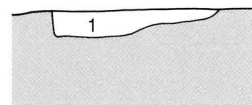
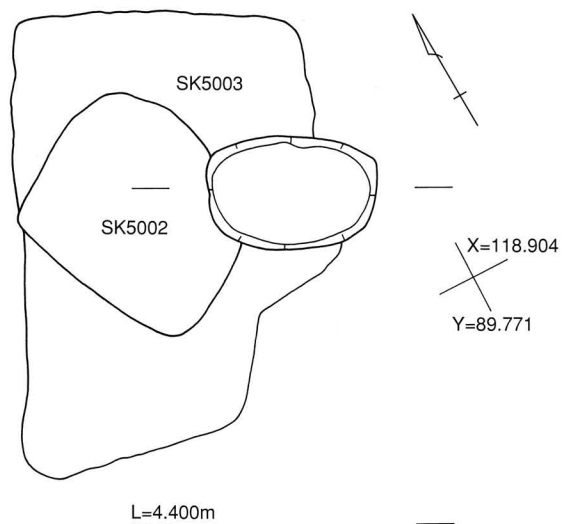
検出長0.45m、最大幅0.33m、最大深度0.28m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。

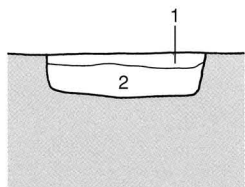
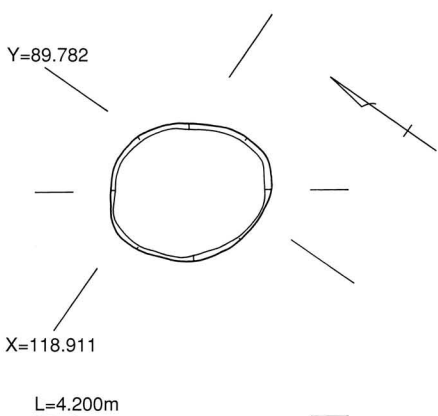


SP5001



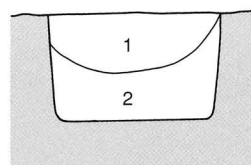
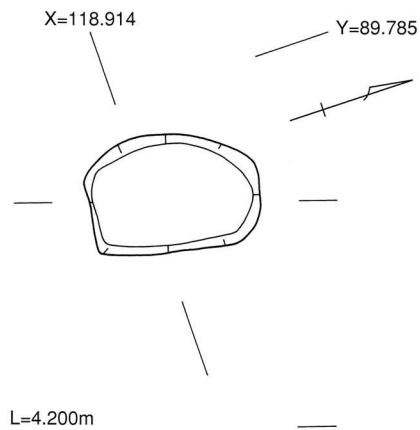
1 5Y5/2 灰オリーブ 砂質シルト

SP5002



1 5Y5/3 灰オリーブ シルト
2 2.5Y5/4 黄褐 シルト

SP5003



SP5004



第159図 南区（2004年度3区）SP5001・SP5002・SP5003・SP5004平・断面図

土壌墓 (ST5001) (第160図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド F-13に位置する。

規模と形状

検出長0.95m、最大幅0.93m、最大深度0.97m の正方形である。

土層

遺構の堆積土は7層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2、3層は黄褐色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層は黄褐色を呈するシルト層である。6層、7層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。

土壌墓 (ST5002) (第160図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド E-13に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅1.40m、最大深度1.01m の台形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層～4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。6層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。

土壌墓 (ST5003) (第160図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド D-15に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.85m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層～5層は黄褐色を呈するシルト層である。

土壌墓 (ST5004) (第160図)

位置

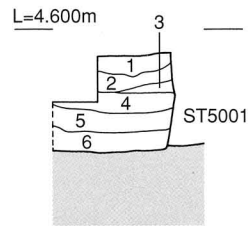
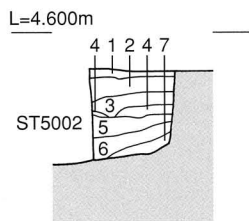
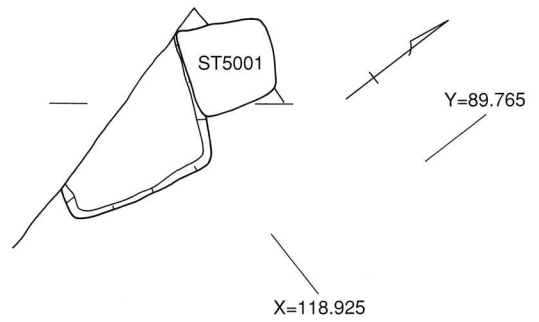
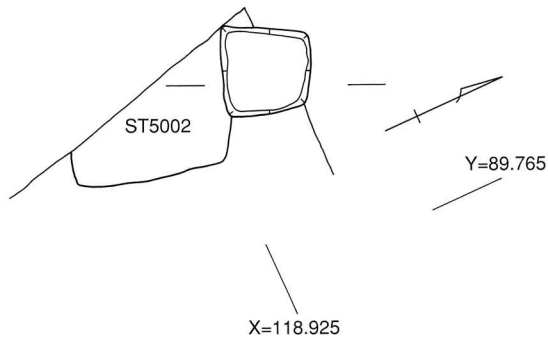
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-Ⅲ、小グリッド C-15に位置する。

規模と形状

検出長2.62m、最大幅1.60m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層は暗オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。

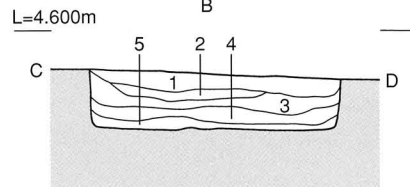
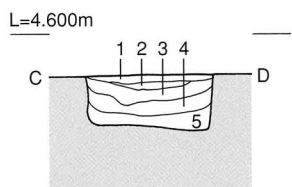
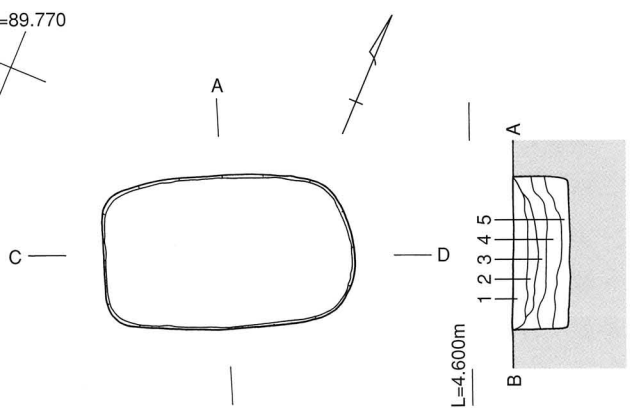
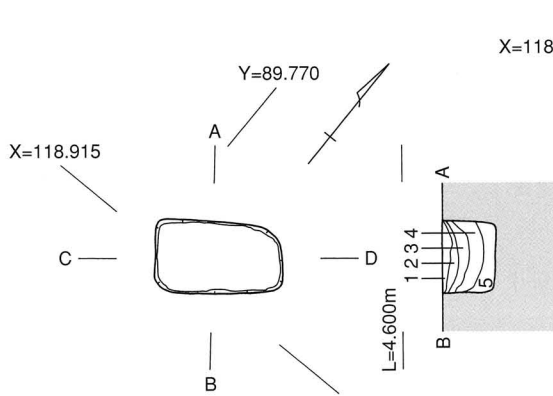


- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | シルト |
| 2 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | シルト |
| 3 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 4 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | シルト |
| 5 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 6 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | 砂質シルト |
| 7 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 砂質シルト |

- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | シルト |
| 2 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 3 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | シルト |
| 4 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 5 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | 砂質シルト |
| 6 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 砂質シルト |

ST5001

ST5002



- | | | | |
|---|---------|-------|-----|
| 1 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | シルト |
| 2 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | シルト |
| 3 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | シルト |
| 4 | 2.5Y5/3 | 黄褐 | シルト |
| 5 | 5Y5/4 | 黄褐 | シルト |

- | | | | |
|---|---------|-------|-------|
| 1 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | シルト |
| 2 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | シルト |
| 3 | 5Y4/3 | 暗オリーブ | シルト |
| 4 | 5Y5/3 | 灰オリーブ | シルト |
| 5 | 2.5Y5/4 | 黄褐 | 砂質シルト |

ST5003

ST5004



第160図 南区 (2004年 3区) ST5001・ST5002・ST5003・ST5004平・断面図